

令和元年度  
教育・研究活動報告書

取組成果のご報告

*For all the students*

～すべての学生生徒のために～

---

福岡工業大学・福岡工業大学短期大学部・福岡工業大学附属城東高等学校



# 全国トップクラスの教育拠点を目指して

本学園の運営につきましては、平素より格別のご理解とご支援をいただき深く感謝申し上げます。

この度の新型コロナウイルス感染拡大によって健康被害、経済的な損失を被った皆様に謹んでお見舞い申し上げます。

さて、我が国の政府は、2040年に必要とされる人材像と高等教育のあるべき姿を明らかにしました。その中で、普遍的な知識・理解と汎用的な技能を文理横断的に身に付けた人材、および時代の変化に合わせて積極的に社会を支え論理的思考を持って社会を改善していく人材を育成することが必要であるとしています。今後の18歳人口の減少による予測不可能な時代の到来を見据えて、数理・データサイエンス等を基盤的能力と捉え、AI・ビッグデータ・ロボティクス等の先端技術の発達による大きな社会変革に対応し、新たな社会をリードする人材を育成することを強く要請されています。

私学については、これらの要請に的確に応えることはもとより、その強固な礎として「財政的自立・自存」も求められています。学齢人口の減少期において、経営改革と教育改革の断行を迫られている状況と言えます。

このような環境の中で、本学園は早期から学校改革の重要性を認識し、経営理念のもとに20年以上にわたって多様な試みを行ってきました。これらの取組は、相応の成果を創出し、「14年連続入学志願者の増加、就職関連指標の高位安定、3設置校全ての財政安定化」につながっています。本報告書の主要な成果としてまとめております。

しかし、私たちは、この現状に満足することなく、いっそうの経営と教育研究の改革・改善を推し進め、「全国トップクラスの教育拠点」を形成し、社会の変革に適応できる強い人材の育成を目指してまいります。

この教育・研究活動報告書は、学生・生徒・保護者の皆様、卒業生、そして学校運営にご支援をいただく企業・地域の皆様に、私どもの教育・研究及び経営・財務の諸活動の取組とその成果について具体的にご説明し、いっそう本学園をご活用いただくことを目的としています。

おって、この報告書を通じた関係の皆様と本学園の双方向のやりとりは、私どもが諸活動を磨き高めるには欠くことのできない貴重な機会であると存じます。どうか忌憚のないご意見を賜りますようお願いいたします。

令和2年8月1日

福岡工業大学・同短期大学部

学 長 下村 輝夫

## INDEX

### I.はじめに

- 1.ごあいさつ(学長メッセージ) …………… 1
- 2.マスタープランの取組状況・成果の概要
  - (1)取組の沿革(年表) …………… 3
  - (2)取組成果の概要  
(教育・研究活動報告書の構成) …… 4

### II.大学の主要な取組成果(マスタープランの取組成果とその外部評価)

- 1.入学志願者・入学者の状況(戦略I) …… 5
- 2.教育力の発揮(戦略II) …………… 7
- 3.研究の高度化(戦略III) …………… 9
- 4.就職力の強化(戦略IV) …………… 11
- 5.グローバル化と地域貢献の推進(戦略V)
  - (1)グローバル化 …………… 13
  - (2)地域貢献 …………… 15
- 6.財政基盤の安定と  
組織ガバナンスの強化(戦略VI) …… 17
- 7.学校運営に対する外部評価 …… 19

### III.ファシリティ・各設置校の状況

- 1.キャンパスの施設・設備 …………… 21
- 2.大学院の取組 …………… 23
- 3.短期大学の取組 …………… 25
- 4.附属城東高校の取組 …………… 27

### IV.学校改革(教育改善・研究高度化・就職支援等)の具体的取組状況

- 1.教育改善の取組 …………… 29
- 2.研究高度化の取組 …………… 31
- 3.就職支援の取組 …………… 33
- 4.ラーニングサポートの取組 …………… 35
- 5.キャンパスライフサポートの取組 …… 37

### V.バックデータ集

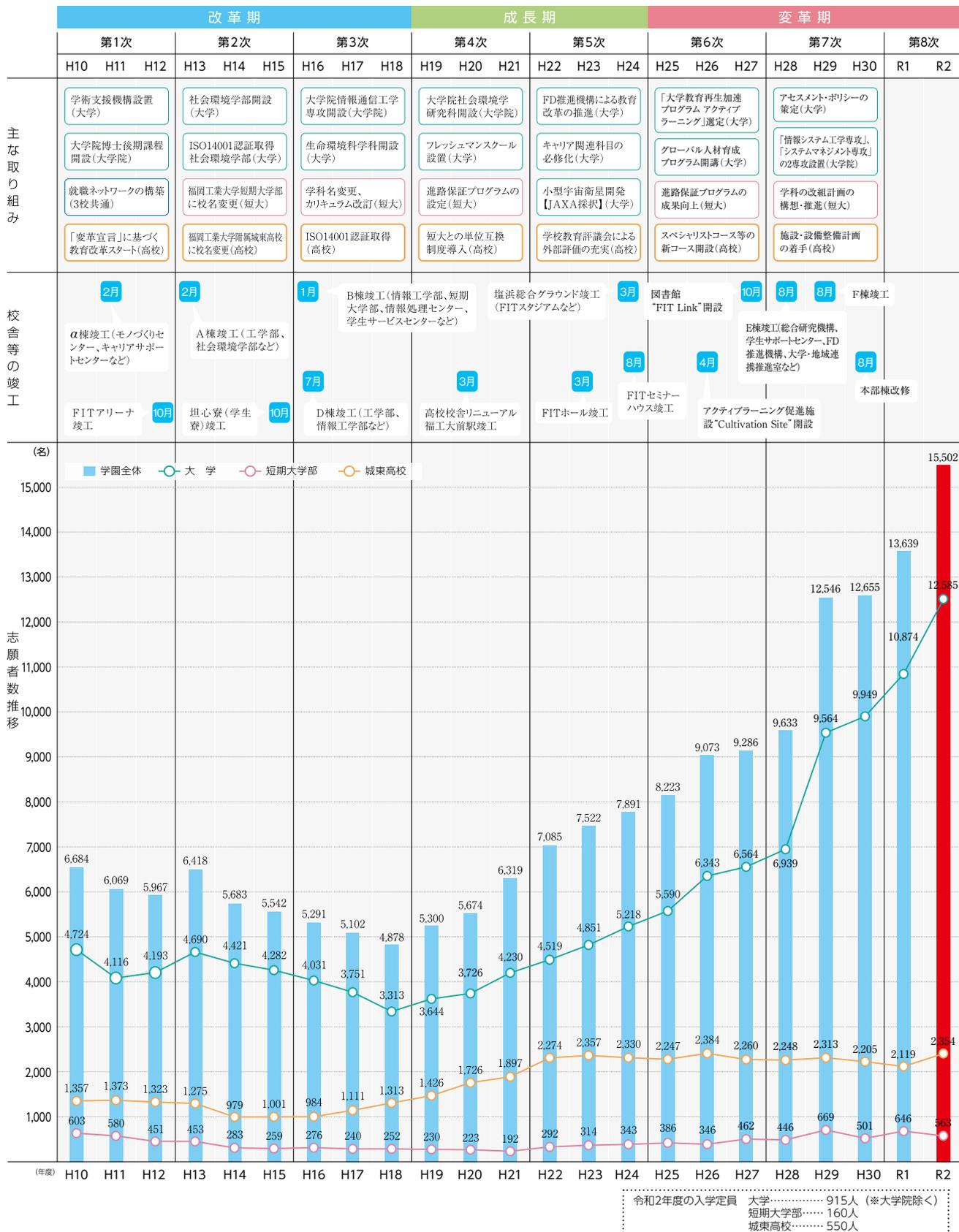
- 1.学生表彰(学会表彰、卒業生表彰、  
課外活動表彰等) …………… 39
- 2.その他、経営・財務、教育・  
研究等諸活動のデータ …………… 41

# マスタープランの取組状況・成果の概要

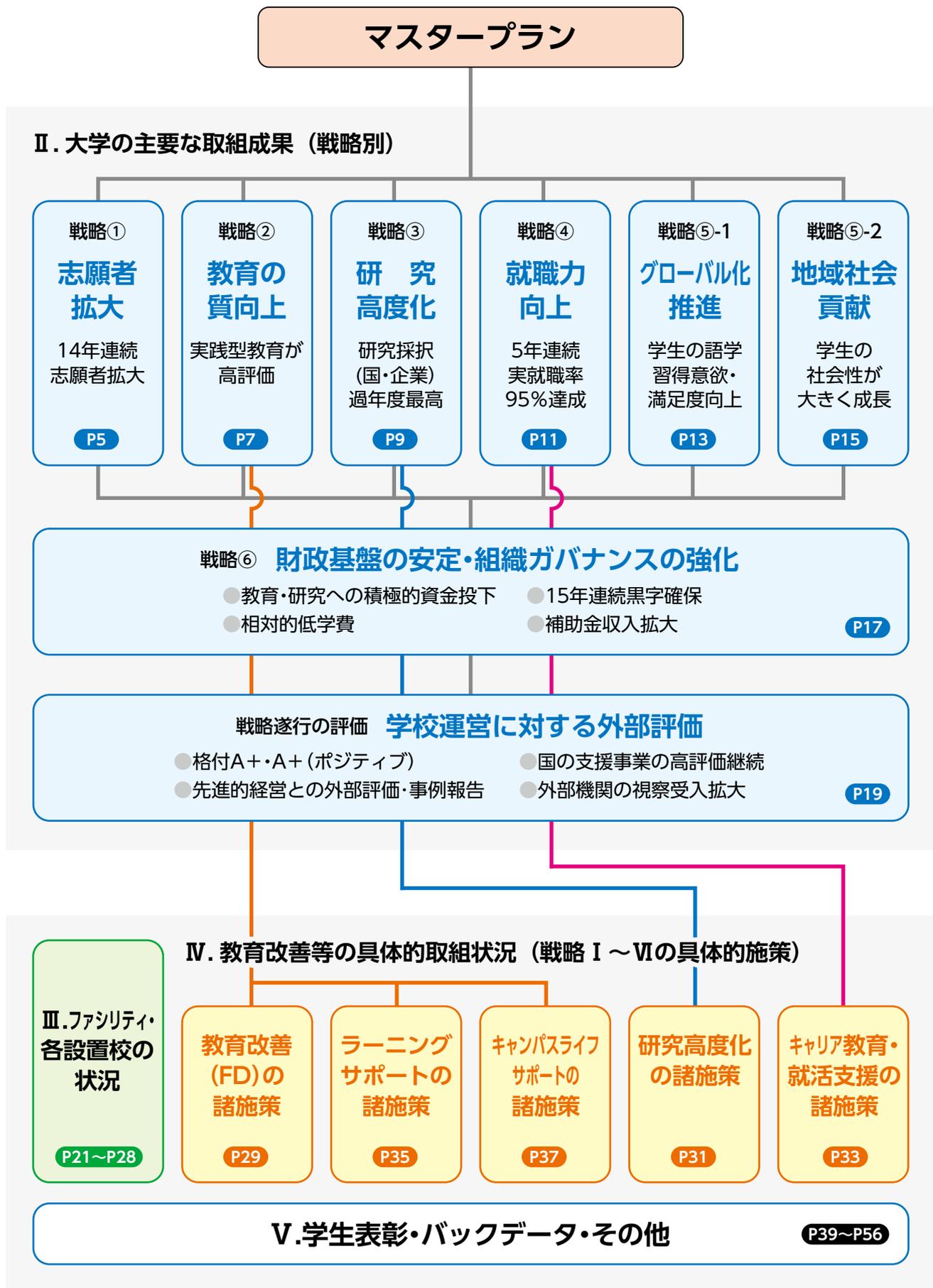
## (1) 取組の沿革(年表)

大学は、14年連続で入学志願者が増加しました。短大も増加傾向であり、安定して志願者を確保しています。高校は、平成16年度以降8年連続で入学志願者が増加、その後、「県下トップクラス」を維持しています。

### ■マスタープランの概要



## (2) 取組成果の概要 (教育・研究活動報告書の構成)

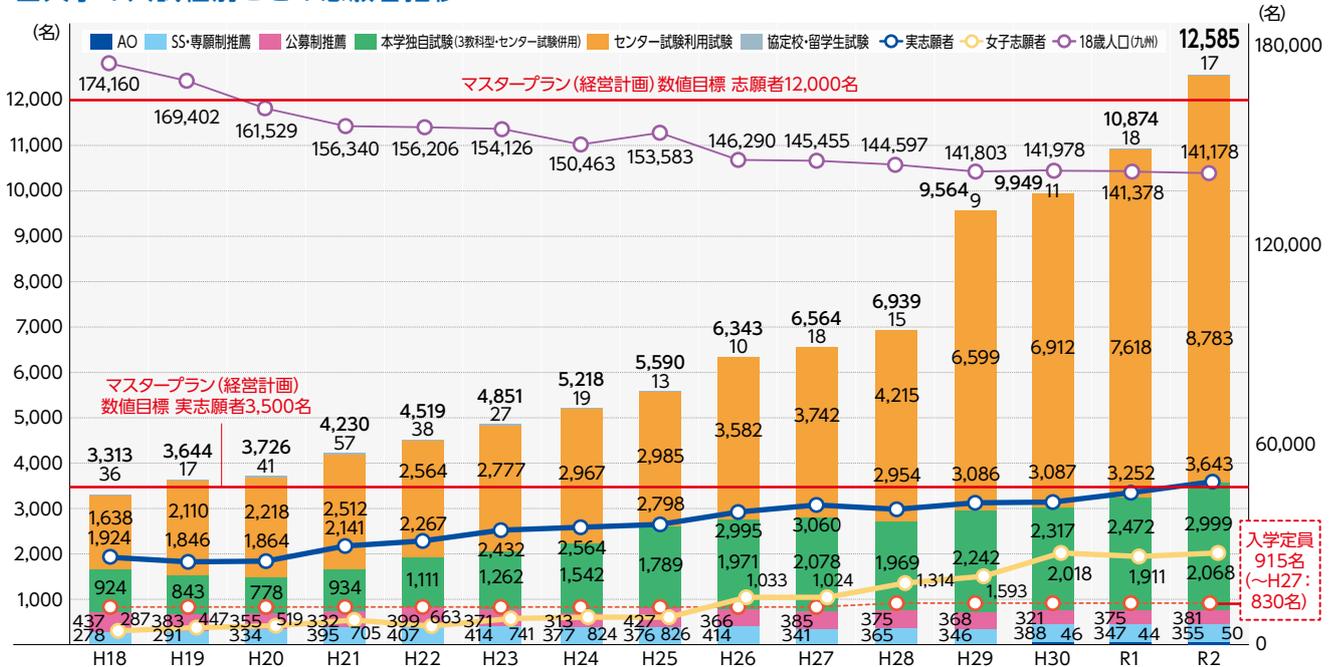


# 1. 入学志願者・入学者の状況(戦略 I)

## 入学志願者は14年連続で増加。この間、大幅(約4倍)に拡大しました。

令和2年度入試は、総志願者数12,585名・志願倍率13.8倍・実志願者数3,643名となり、いずれも過年度最高となりました。これらの指標は14年連続で向上しています。

### ■大学の入試種別ごとの志願者推移

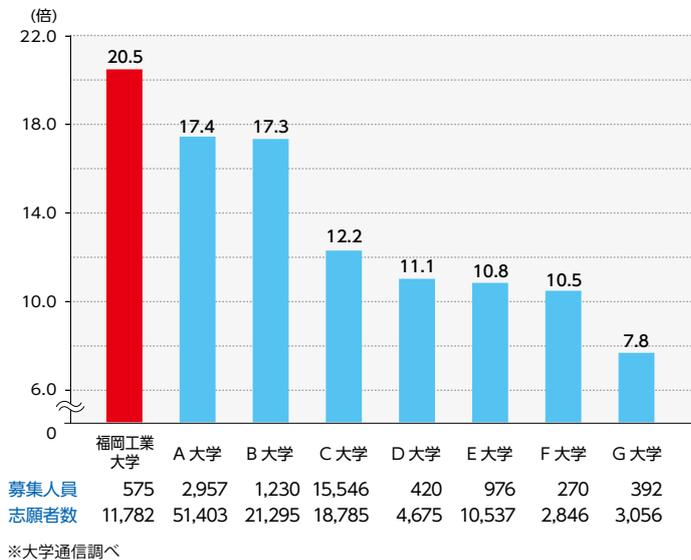


▶ 3学部9学科全てにおいて、所定の入学者を継続・安定的に確保(2年度:1,021名)しています。

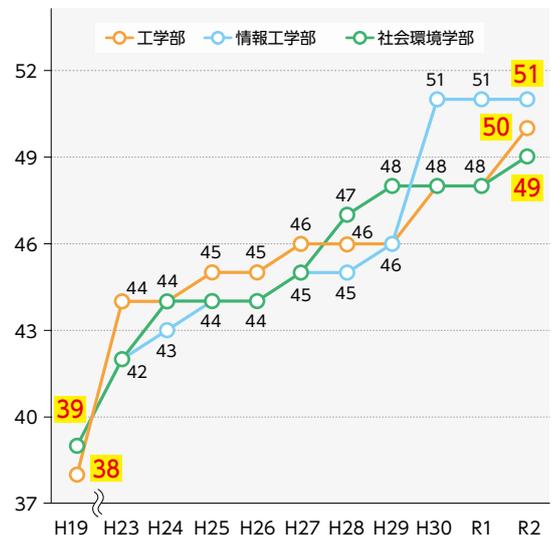
## 一般入試志願者は11,000名に到達。入試の難易度は上昇、入学者学力も向上しました。

一般入試志願者(3教科型・センター試験利用等)は11,799名(前年10,108名)と大幅に増加し、入試難易度は継続して上昇しています。入学者学力も大きく向上しています。

### ■R2年度入試 主な九州地区私立大学志願倍率比較(一般入試)



### ■合格目標偏差値推移(進研模試合格目標偏差値より抜粋)



▶ 一般入試志願者倍率は「九州私大1位」となりました。

# 面倒見の良さ、就職力の高さが高評価。志願者・入学者の出身地は広域化しました。

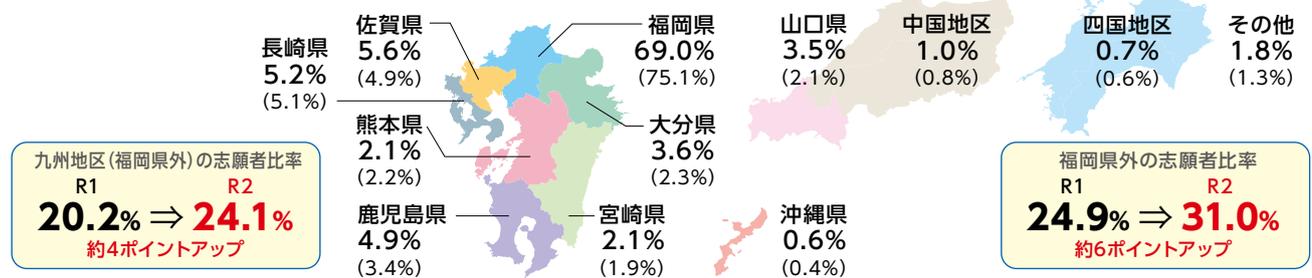
受験生の安定志向・地元志向の高まり、九州・山口地区理工系他大学との競争激化の中で、福岡県はもとより九州各県、山口県や中国・四国地方からの志願者・入学者が増加（広域化）しています。

## ■出身県・地区別志願者・入学者状況推移

年度 県・地区	H30		R1		R2		増減(R1・R2比)		伸び率*(R1・R2比)		
	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	
福岡県	7,487	699	8,168	718	8,685	676	517	▲42	91.9%	96.4%	
福岡県以外	2,462	361	2,706	327	3,900	345	1,194	18	124.5%	108.0%	
内訳	九州地区(福岡県外)	2,050	311	2,194	274	3,035	295	841	21	119.5%	110.2%
	山口県	145	23	223	24	435	28	212	4	168.5%	119.4%
	中国地区(山口県外)	82	8	83	10	121	9	38	▲1	126.0%	92.1%
	四国地区	45	5	66	8	85	1	19	▲7	111.3%	12.8%
	その他	140	14	140	11	224	12	84	1	138.2%	111.7%
合計	9,949	1,060	10,874	1,045	12,585	1,021	1,711	▲24	-	-	

\*各地区の志願者・入学者の、全体に占める割合の伸び率

## ■出身県別志願者の割合(R1-R2比較) 上段：R2 (下段：R1)



▶ 教員と職員が一体となって、模擬・出張講義、研究室公開、高校訪問等の取組を広範・広域に積極化しています。

# 教育・研究活動内容の情報発信を積極化。高校生・保護者等の評価・信頼が向上しています。

教育改善や学生支援の取組状況はもとより、環境問題、災害対策、AIなど社会関心度が高い研究活動とその成果の情報発信を積極化しました。高校生、保護者、高校・塾・予備校教員各位の評価・信頼、興味・関心が高まっています。

## ■研究成果の情報発信 ([「研究NOW!」をプレスリリース])



パブリシティ掲載件数は、約1.5倍に拡大  
(H30:204件、R1:295件)

## ■ステークホルダーからの評価指標等 (全国の高等学校の進路指導教諭が評価する大学)

入学後、生徒を伸ばしてくれる大学 <b>九州私立大学1位</b> (全国29位)	入学後、生徒の満足度が高い大学(工科系大学編) <b>九州私立大学1位</b> (全国8位)
教育力が高い大学(工科系大学編) <b>九州私立大学1位</b> (全国14位)	研究力が高い大学 <b>九州私立大学1位</b> (全国45位)
改革力が高い大学 <b>九州私立大学1位</b> (全国25位)	面倒見が良い大学 <b>九州私立大学1位</b> (全国7位)

(2019年大学通信「全国の高等学校の進路指導教諭へのアンケート調査」)  
大学通信「大学探しランキングブック2019」内「全国の高等学校の進路指導教諭が評価する大学」  
2019年9月15日号「サンデー毎日」内「進路指導教諭が徹底比較!オススメ大学ランキング」

▶ 高大連携課外授業、団体見学・施設貸出、進学相談・入試説明会、在学生保護者説明会など、本学の教育方針、教育・研究内容等を紹介する取組を積極化しています。

## 2. 教育力の発揮(戦略Ⅱ)

実社会に通用性の高い教育内容と実践型教育が「教育力ランキング」で高く評価されました。

「自律的に考え、行動し、様々な分野で創造性を発揮できる人材」を育成するために、全学的なアクティブラーニング型授業(AL)の展開や様々な教育改善活動(FD)に取り組んできました。これらの取組を長年続けてきた結果、「教育力」が高く評価されています。

### ■「THE(Times Higher Education)世界大学ランキング日本版2020

(日本の大学における「教育力」の高さの指標)

**総合\* 九州私大3位**

(1位 立命館アジア太平洋大学、  
2位 西南学院大学)

教育リソース

「どれだけ充実した教育が行われている可能性があるか」

**九州私大3位**

(1位 産業医科大学、2位 久留米大学)

教育充実度

「どれだけ教育への期待が実現されているか」

**九州私大3位**

(1位 立命館アジア太平洋大学、2位 西南学院大学)

教育成果

「どれだけ卒業生が活躍しているか」

**九州私大4位**

(1位 立命館アジア太平洋大学、2位 西南学院大学、3位 九州産業大学)

出典:「THE世界大学ランキング 日本版2020」英国の教育専門誌タイムズ・ハイヤー・エデュケーション(THE)と日本のベネッセグループの協同事業

※「THE世界大学ランキング日本版」は、教育リソース(5項目)、教育充実度(5項目)、教育成果(2項目)、国際性(4項目)の4指標で評価。大学情報、学生調査、高校教員・企業人事・研究者の評判調査により、大学の教育力を総合的に表している。

### ■日経キャリアマガジン「価値ある大学2021年版」

『授業の質の改善に熱心に取り組んでいる大学』ランキング:九州1位

※全上場企業と一部有力未上場企業の人事担当者から見た大学イメージ調査

順位	種別	大学名
1位	国立	東北大学
2位	国立	名古屋大学
3位	国立	京都大学
3位	国立	北海道大学
5位	国立	東京大学
6位	国立	東京工業大学
7位	私立	京都女子大学
8位	国立	香川大学

順位	種別	大学名
9位	私立	広島修道大学
10位	私立	金沢工業大学
11位	国立	広島大学
12位	国立	東京海洋大学
13位	公立	大阪府立大学
14位	国立	横浜国立大学
<b>15位</b>	私立	<b>福岡工業大学</b>

出典:日経キャリアマガジン特別編集

「価値ある大学 2021年版」日経HR / 2020年6月発行

- ▶ AL(Active Learning):学生の意思表示および振り返りを基本的な要素とする能動的な授業・学習形態
- ▶ FD(Faculty Development):教員が授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な取組

## AL型授業を全学的・組織的に展開。国等の評価・積極的支援を受けました。

実社会に通用性の高い実践型人材を育成するために、AL型授業の展開を全学的・組織的に進めています。ALの主要指標(8割以上の教員が、8割以上の授業で、8割以上の学生に対して)は目標達成しています。この取組内容・成果を「工大サミット」等で公表しています。

### ■「AL型授業の推進(平成26年度文部科学省大学教育再生加速プログラム(AP))」の取組状況

ALを導入した  
授業科目数の割合  
全授業科目の **82.8%**



FD cafe「自主性・自己調整学習を促すフィードバック実践」



FD cafe「チームで取り組むカリキュラムマネジメント」

ALを受講する  
学生の割合  
全学生の **89.6%**



AL実践研究会(工学部FD研修会)



第3回工大サミット(R1.11.30本学にて開催)

ALを行う  
専任教員の割合  
全専任教員の **99.3%**

- ▶ 第3回工大サミットは、本学、愛知工大、大阪工大、東北工大、芝浦工大、広島工大に神奈川工科大を加えた7大学が参加・開催。国際社会で活躍できる理工系イノベーション人材の育成を目的とした大学連携です。

## 教育内容・方法の改善・開発を組織的・系統的に継続して実施

FD推進機構で教育改善を推進、各学部等で教育改善のPDCAを実践しています。また、学科等の特別予算(特定目的の強化・集中予算)による教育・研究改善取組は審査会や成果発表会等で共有し、組織的改善につなげています。

### ■教育改善PDCAの取組



工学部「グローバルPBL実施報告会」



情報工学部「教育業績賞受賞報告会」



令和元年度FDer認定(江口教授・工学部)右から2人目



教学特別予算審査会(毎年3月)・成果報告会(毎年8月)

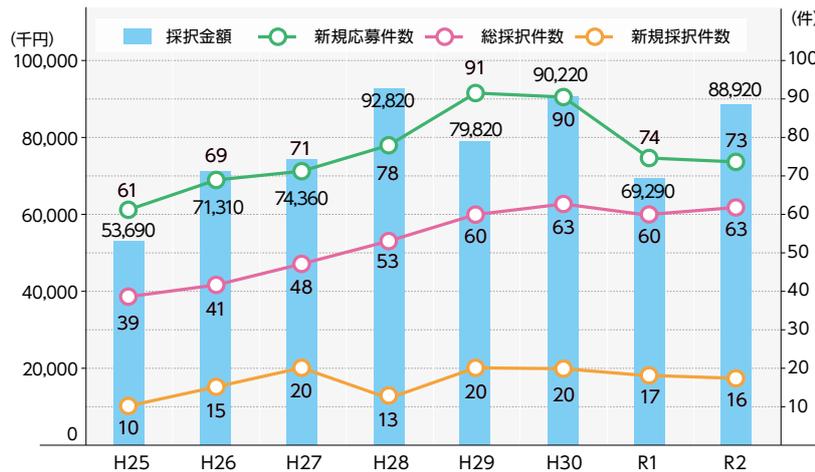
- ▶ 教育改善の具体的取組内容等はP29を参照してください。

# 3. 研究の高度化(戦略Ⅲ)

研究助成採択実績は過年度最高。国・地域・産業界の高い評価・協力を礎にして、社会の様々な課題解決に貢献しています。

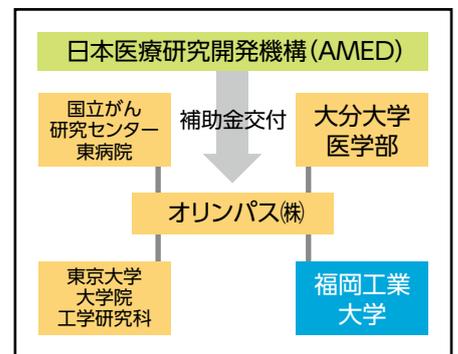
国・地域・産業界における課題を的確に把握し、実社会ニーズに対応した研究活動を推進しています。これらの取組成果は、近年の研究助成採択実績の継続的向上として結実しています。

## ■ 科研費\*採択推移(短期大学部含む)

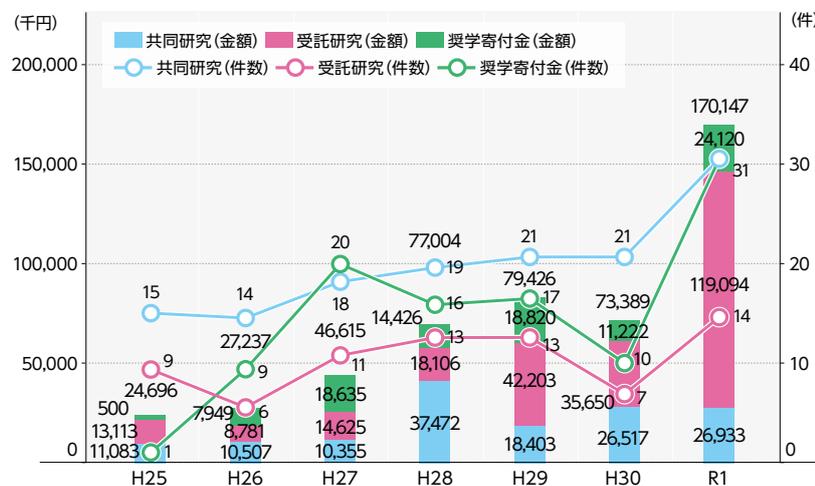


## ■ 内視鏡AI手術支援を目指す開発研究事業に総額42億円の助成決定

・コンソーシアムの概要  
 〈目的〉医師の負担軽減、内視鏡手術のAI支援技術開発



## ■ 外部研究資金の取得実績推移



日本医療研究開発機構(AMED)から総額42億円(うち、本学への助成額は総額2.7億円)の助成が決定(R1年度から5年間)



AIシステムを用いて手術を行う様子

## ■ 各種の研究評価指標ランキング

〈総合的指標〉

国際共著論文の割合(2015-2019年度)

**九州1位**  
(全国13位)

朝日新聞出版 AERA ムック「大学ランキング 2021 年度版」

研究力が高い工科大学

**九州私学1位**  
(全国14位)

大学通信「大学探しランキングブック 2020」

〈分野別指標〉

論文被引用度指数

「コンピュータ科学分野」  
**九州1位**  
(全国5位)

朝日新聞出版 AERA ムック「大学ランキング 2021 年度版」

特許出願数上位技術分野

「機械的金属加工、金属の抜き打ち等」  
**九州1位**  
(全国2位)

一社 日本経済団体連合会、経済産業省、文部科学省「大学ファクトブック 2020」(R2.6.30)

特許出願数上位技術分野

「情報記憶」  
**九州1位**  
(全国6位)

一社 日本経済団体連合会、経済産業省、文部科学省「大学ファクトブック 2020」(R2.6.30)

▶ \* 科研費(科学研究費)助成は、我が国の学術研究を飛躍的に発展させることを目的とする競争的資金であり、独創的・先駆的な研究を助成する制度です。

## 先進的研究装置・設備を積極導入・活用。高度な研究活動をサポート

国・地域・産業界にわたって、広く社会で貢献する技術開発の拠点として、先進的な研究施設・装置等の導入・活用を積極化しました。

### ■オープンラボ(5室)



### ■リサーチcommons



### ■エレクトロニクス研究所計測センター



### ■近年整備した主な研究装置



PPMS(物理特性測定システム)  
用途: 低温・高磁場領域での自動測定



三次元光学プロファイラー  
用途: 精密機械、半導体、金属、薄膜加工



視線追跡システム  
用途: 人間工学、WEB評価、購買分析

- ▶ オープンラボ: 学内外研究者・研究開発企業が参画・駐在し、特定プロジェクト(科学研究費補助金等競争的資金・産学連携経費による大型プロジェクト、若手研究者プロジェクト、企業等との共同研究等)を遂行するスペースとして機能しています。

## 大型・重層的な研究支援制度(財政的支援制度)を確立。多様な研究活動をサポート

多様な研究活動に資する研究支援制度を重層的に整備しています。多様化する社会ニーズに的確・スピーディな対応が実現し、外部評価の向上(外部研究費採択の継続的増加)につながっています。

### ■研究者に対し、研究経費を支援する制度(3種)

制度等名称	制度の趣旨
研究スタートアップ支援制度	新任教員の研究室立ち上げ、出産・育児等ライフイベント等からの復帰など、円滑な研究スタートアップをサポート
若手グループ研究支援制度	若手研究者のグループ研究、研究高度化をサポート
研究高度化支援制度	卓越した研究の創出や大型外部資金の採択に向けた研究を重点的にサポート

### ■取組に対し、研究経費を支援する制度(4種)

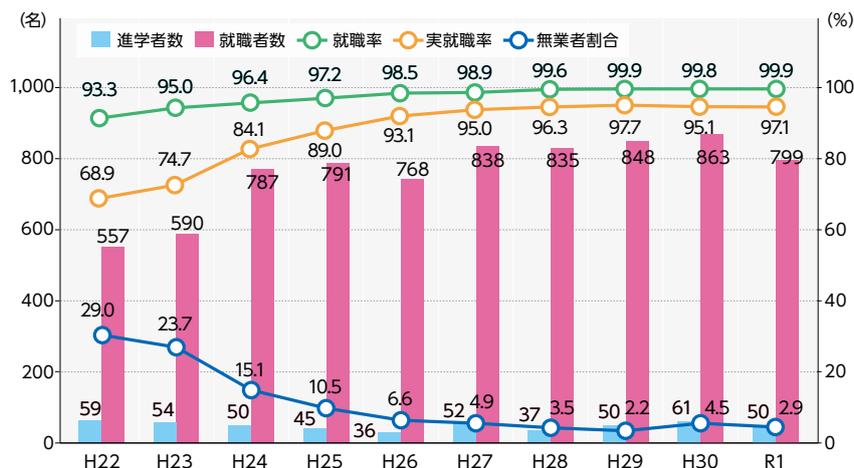
制度等名称	制度の趣旨
科研費リトライ支援制度	科研費申請及び採択を奨励し、さらなる研究力の向上をサポート
学術論文作成支援制度	学術論文数の増加を目指し作成経費等関連経費をサポート
研究計画書作成支援制度	外部資金の獲得増加を目指し、研究計画の作成・立案をサポート
国際学会発表支援制度	研究のプレゼンスアップを目指し、海外で催される学会への積極的な参画をサポート

## 4. 就職力の強化(戦略Ⅳ)

外部・企業の学生の評価は一段と向上。実就職率は5年連続で95%(計画目標)を達成しています。

「自ら考え行動し、多様な分野で創造性を発揮できる実践型人材」の育成を目指しています。初年次からのキャリア教育に加えて、様々な就職支援プログラムを実践し、数値目標を達成、質的充実・学生満足度が向上しました。

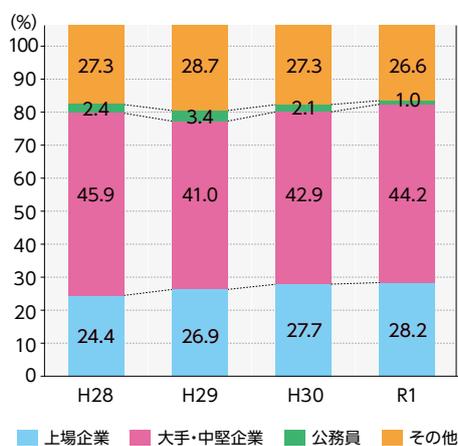
### ■進路決定状況推移



就職率\*1  
**99.9%**  
実就職率\*2  
**97.1%**

\*1 就職率=内定者数÷就職希望者数×100  
\*2 実就職率=内定者数÷(卒業生-大学院進学者数)×100  
(大学における進学者は大学院進学者に限る)

### ■企業規模別就職割合



上場企業・  
大手・中堅企業  
就職シェア率\*3  
**72.4%**

\*3 大手・中堅企業は資本金3億円以上  
もしくは従業員数300名以上

### ■日経キャリアマガジン「価値ある大学2021年版」

『採用を増やしたい大学』  
ランキング：全国1位

順位	分類	大学名	割合(%)
1位	私立	福岡工業大学	65
2位	私立	文教大学	63
3位	国立	宇都宮大学	61
4位	国立	香川大学	59
4位	国立	九州工業大学	59
4位	国立	筑波大学	59
4位	国立	東京農工大学	59
4位	国立	名古屋大学	59
9位	私立	東京工科大学	58
10位	国立	愛媛大学	57
10位	私立	千葉工業大学	57
12位	国立	豊橋技術科学大学	56
12位	公立	愛知県立大学	56
14位	国立	岩手大学	55
14位	国立	金沢大学	55
14位	国立	福井大学	55
14位	国立	三重大学	55
14位	私立	金沢工業大学	55

『就職支援に熱心に取り組んでいる大学』  
ランキング：全国2位、九州1位

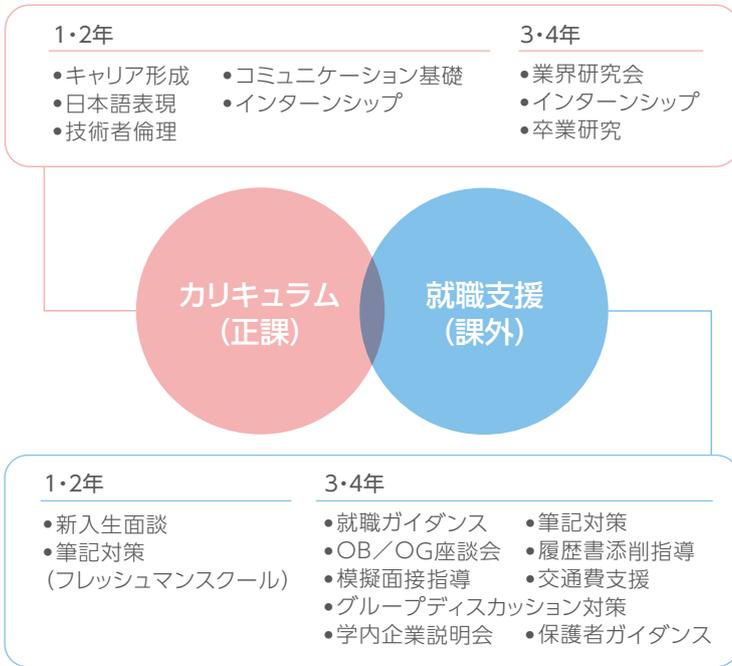
順位	分類	大学名	得点
1位	国立	名古屋工業大学	9.11
2位	私立	福岡工業大学	8.93
3位	私立	東京工芸大学	8.70
4位	私立	千葉商科大学	8.58
5位	私立	金沢工業大学	8.52
6位	私立	文教大学	8.41
7位	私立	広島修道大学	8.39
8位	国立	東京海洋大学	8.34
9位	私立	九州産業大学	8.32
10位	私立	大阪経済大学	8.30
10位	私立	国士舘大学	8.30
12位	私立	日本工業大学	8.27
13位	私立	神奈川工科大学	8.23
14位	私立	関西外国語大学	8.18
15位	私立	昭和女子大学	8.15

全上場企業と一部有力未上場企業の人事担当者から見た大学イメージ調査

# 正課・課外のキャリア教育を高度化し、学生の就活・就業力は向上

1年次から体系的なキャリア教育を実施。とりわけ、正課の「課題解決型インターンシップ」と課外の「グループディスカッション講座」は、学生の主体性、課題解決力、表現力の向上に大きく貢献しました。

## ■ 正課・課外で行うキャリア教育の連関



## ■ 課題解決型インターンシップ



都城市 日本情報クリエイト(株)での演習(課題「都城市の新卒就職者増加」)



古賀市 「多文化共生」に関する課題をインタビュー形式でヒアリングする様子

# 企業ネットワークを拡大、学内合同企業説明会の大規模開催

企業ネットワークを強化・拡大し、産業界との交流・連携を拡充。西日本有数の大規模な学内合同企業説明会を開催。約1,000社の企業の協力を得て8日間の長期日程で学生の就活を強力にサポートしました。

## ■ 学内合同企業説明会参加企業数、求人企業数推移



## ■ 学内合同企業説明会



参加学生数:5,687名(延べ数)

## ■ 学内合同企業説明会参加企業への内定・就職割合推移



## ■ 企業交流会でのポスターセッション



東京・大阪・福岡の上場大手・中堅企業52社が参加

## 5. グローバル化と地域貢献の推進(戦略V) (1) グローバル化

**グローバル化教育プログラムを拡大・充実させています。  
当年度は、国外就業の語学力・マインドの育成に注力しました。**

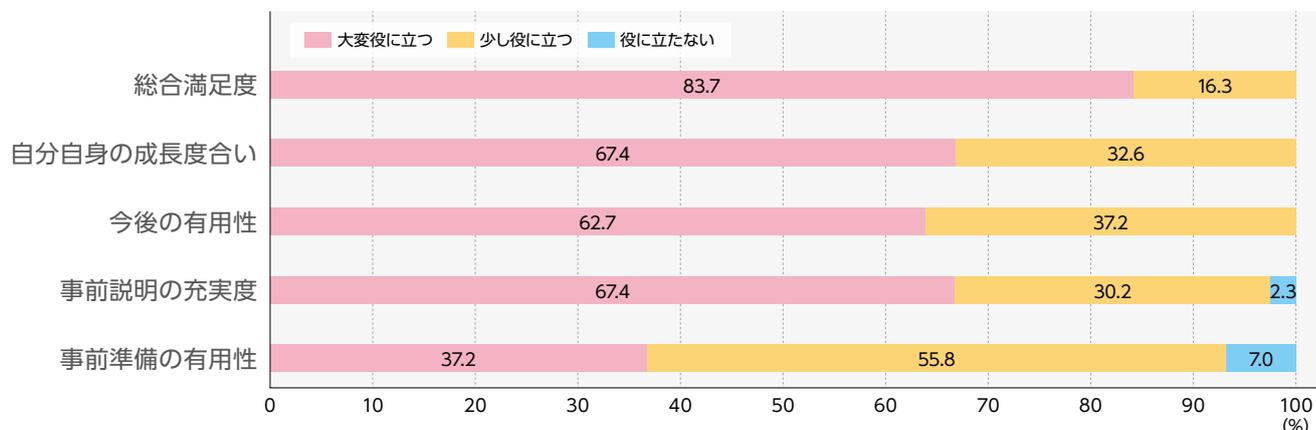
グローバル人材育成を推進する組織・体制の整備を進め、グローバル化ニーズに対応しています。教員・職員一体となった取組を通じて、学生の学習意欲・能力の向上に向けた様々なプログラムを実践しています。

### ■海外派遣プログラム

プログラム	滞在期間	渡航先・研修先
STEP(Short Term Experience Program)	5～9日間	シンガポール、中国、ハワイなど
INTER(Intensive Training for English Learner Program)	19日間	フィリピンセブ島 語学学校
FLEX(Foreign Language Exploration)	17日間	ニュージーランド カンタベリー大学附属英語学校
GATE(Global Academy of Technological English Program)	14日間	フィリピン Brighture English Academy
タイ短期派遣研修(Peer Practical Internship Program)	13日間	現地法人など
US-Japan Forum グローバルイノベーション研修	10日間	アメリカ カリフォルニア州 企業・大学など
US-Japan Forum グローバルプロ養成プログラム	30日間	アメリカ カリフォルニア州 企業・大学など

※コロナウイルス感染拡大に伴い派遣中止したプログラムを含み記載

### ■STEPプログラム参加者アンケート結果



### ■Global Project Based Learning (海外における課題解決型学習)



タイキングモンクット工科大学とのライントレースロボット試験走行の様子



カナダブリティッシュコロンビア大学との混成チームによるワークショップの様子



▶ グローバルPBL (gPBL) プログラムは、海外協定校等の学生と本学学生が、双方の専門知識や技能を主体的に活用して、具体的課題の解決を目指す正規カリキュラムです。このプログラムは日本学生支援機構 (JASSO) の海外留学支援制度 (協定派遣) に採択・支援を受けています。

## ネイティブレッスン・サポートなど、グローバル化教育プログラムを多様化

ネイティブスタッフによって語学力のレッスン・サポートを強化するとともに、グローバルステューデントラウンジの学習環境を改善しました。グローバルPBLプログラムの学習成果の向上に貢献しています。

### ■グローバルステューデントラウンジを活用した取組の様子



### ■英語学習支援チャンネルの画面



### ■国際学会発表前準備の様子



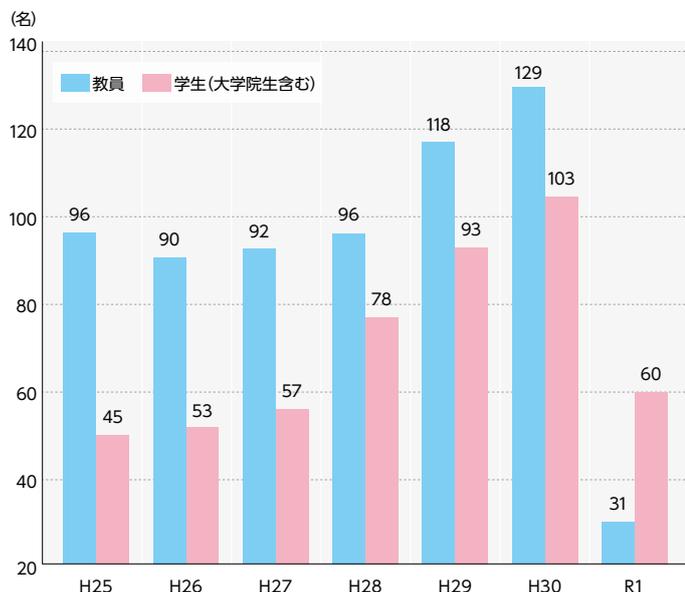
### 英語・英会話指導回数上位の取組

- ①マンツーマンレッスン 257回 ②論文校閲・翻訳 155回 ③海外研修事前レッスン 69回  
④スピーチコンテスト事前レッスン 46回 ⑤グループレッスン 19回

## 8か国24校の海外大学に対して学生・教員を派遣・招致

キングモンクット工科大学(タイ)、慶星大学校(韓国)、南京理工大学(中国)、シンガポール国立大学(シンガポール)等、多くの国・大学との間で派遣・招致を行いました。外国人教員・学生との交流を通じて、語学力・グローバルマインドの育成に努めました。

### ■国外への教員・学生派遣の状況



タイキングモンクット工科大学との3種のロボットと空気圧機器を使用した共同ワークショップの様子

▶ 当年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け派遣教員・学生数が減少しました。

## 5. グローバル化と地域貢献の推進(戦略V) (2) 地域貢献

### 地域連携活動を通じて「実践型人材」を育成し、「FIT-POINT」制度で学生の成長を確認しています。

地域社会と連携し、大学として地域の課題解決や活性化を図りつつ、能動的に地域に貢献する人材の育成を目指しています。当年度は、「FIT-POINT」制度の導入を始め、地域連携活動による主体的学びの促進やそれらの評価を試み、相応の成果を確認しました。

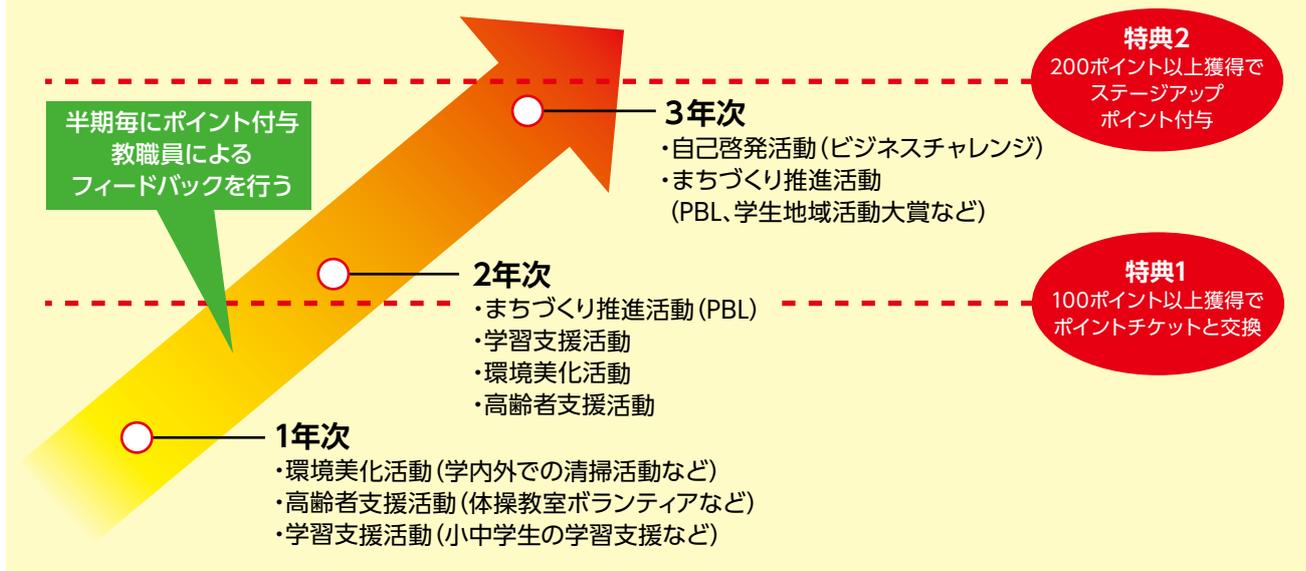
#### ■「FIT-POINT」制度概要

<目的> 正課外で社会貢献活動に取り組む学生のモチベーションアップと活動の可視化

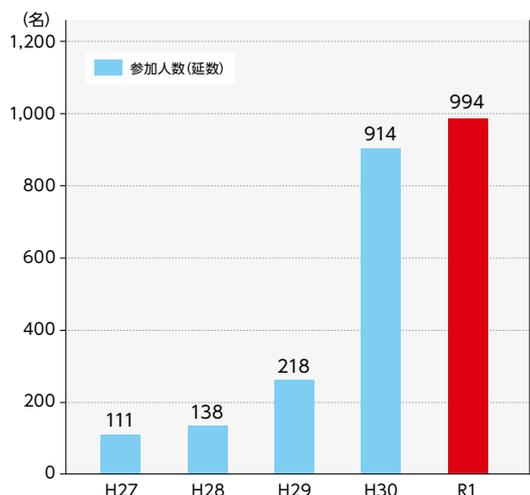
<内容> (1) 本学指定の課外活動への参加学生に活動内容、難易度、活動期間を勘案したポイントを付与  
(2) 一定以上のポイントを獲得した学生には更なる主体的学びに向けた教育サービスを還元

#### 「FIT-POINT」制度運用イメージ

学生の課外活動履歴を一元管理し「ポイント付与という動機づけ」を行うことで在学中の課外活動を通じた学生の「主体的学び」を拡大、発展させていきます。



#### ■地域貢献活動参加学生数(延数)推移



#### ■「FIT-POINT」100ポイント以上獲得学生の活動実績

所属学科	ポイント数	活動内容
情報工学	620	古賀市「学童指導員」62回活動
生命環境	360	古賀市「学童指導員」36回活動
情報工学	310	古賀市「学童指導員」31回活動
情報通信	260	MICE×グローバル人材研修 他
情報通信	250	MICE×グローバル人材研修 他
生命環境	190	古賀市「学習支援アシスタント」19回活動
生命環境	140	古賀市「学童指導員」14回活動
生命環境	100	古賀市「学童指導員」10回活動
社会環境	100	東部地域大学連携共同開講科目「SDGsを学ぶ」受講
システムマネジメント	100	東部地域大学連携共同開講科目「SDGsを学ぶ」受講

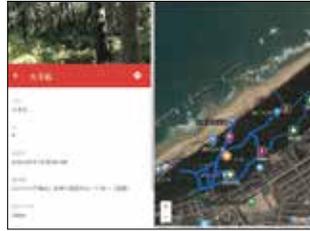
## 地域と連携したPBL (課題設定・解決型学習) の取組みを積極化

近隣自治体等と包括的連携協定を締結し、ゼミナールや実習科目においてPBLを導入しています。学生が主体的に地域社会の課題解決に取り組み、地域貢献や実践的学習につながっています。

### ■ 新宮町との取組



観光振興を目的に「樫の松原デジタルマップ」を作製。現地調査の様子(社会環境・上杉研究室)



完成したグーグルマップ

### ■ 島原市との取組



観光振興アプリ「島原カオクラベ」(武将との顔類似アプリ)の開発(情報システム・山本研究室)



アプリを体験する観光客

### ■ 医介学連携の取組



立花小学校ICT体験授業の様子



福岡和白病院体操教室ボランティアの様子

### ■ 福津市との取組



課題「若い世代に読まれる『広報ふくつ』を目指して」。市民アンケート調査の様子



松田副市长(左)、原崎市長(左から2人目)と本学学生

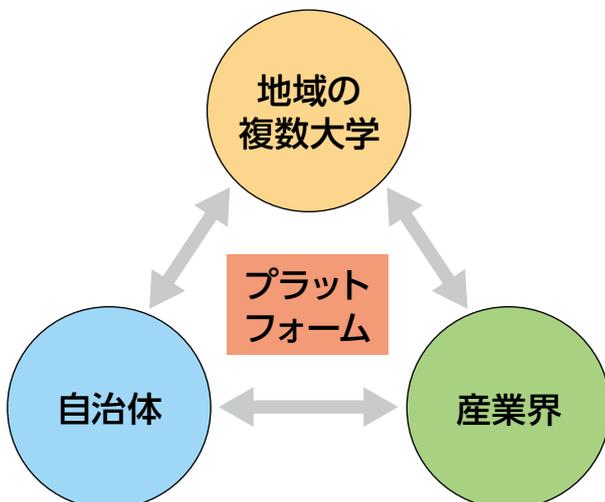
## 「福岡未来創造プラットフォーム」に参画し、地域経済活性化へ積極的にアプローチ

「福岡未来創造プラットフォーム」の「地域人材育成WG」担当として福岡市の持続的発展に必要な人材育成プログラム策定を所管しました。また、当該プラットフォーム関連事業に積極的な関与・協力を行いました。

### ■ 「福岡未来創造プラットフォーム」の概要

<目的>

プラットフォームで地域全体と高等教育の振興



### ■ 福岡副都心クリスマスマーケット



東区香椎エリア会場の設営・企画立 同会場での交流の様子  
案・運営サポート



### ■ 地域活動大賞 (学生プロジェクト活動)



シスマネPBL新宮町プロジェクト  
審査員特別賞受賞



福岡県警プロジェクト

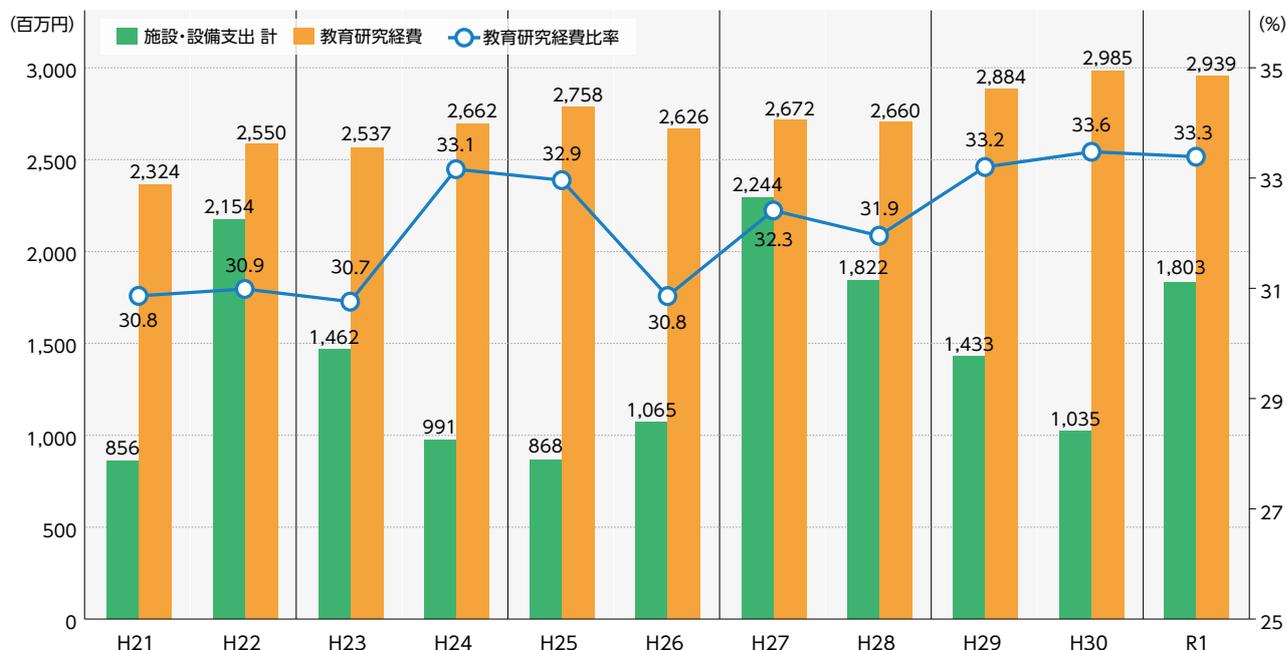
▶ 当プラットフォーム事業での、私大等改革総合支援事業(地域連携方式の活性化事業)の採択を目指しています。

## 6. 財政基盤の安定と組織ガバナンスの強化(戦略VI)

健全財政を礎にして、教育・研究活動への積極的な資金投下を継続しています。

経営・財政運営の基本方針は、「健全財政を堅持しつつ、教育・研究活動へ積極的に資金投下する」ことです。これに沿って、学費の教育・研究活動への最大還元を継続しています。

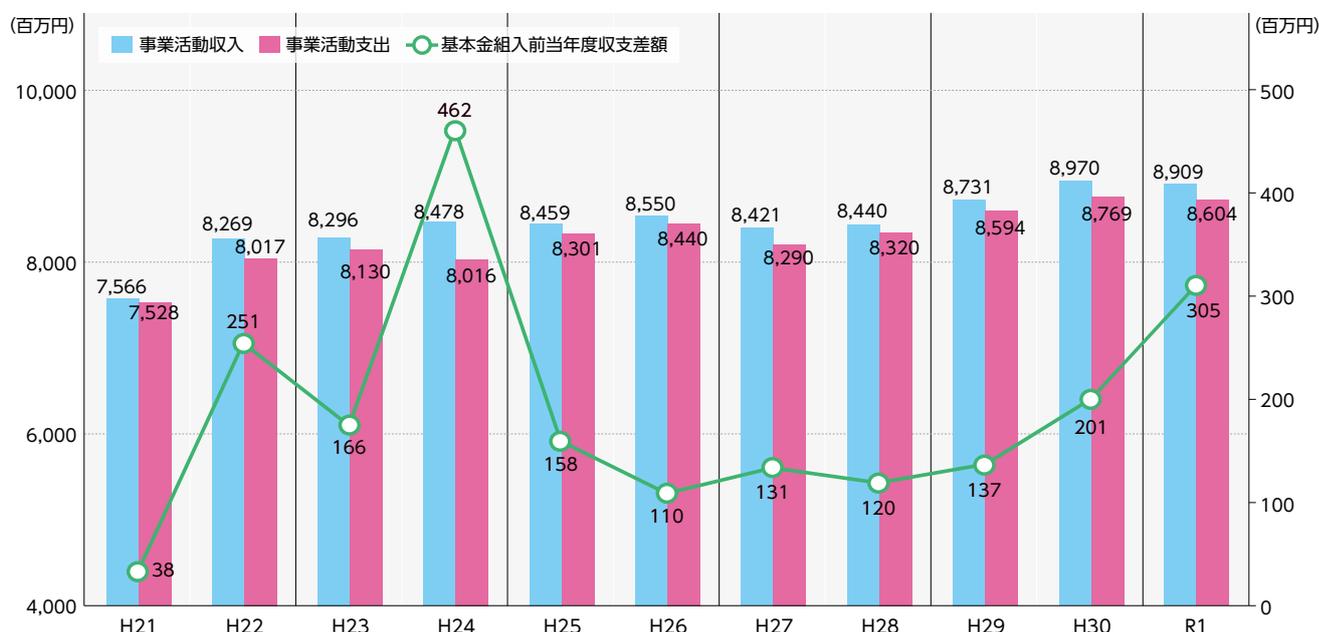
### ■施設・設備支出、教育研究経費(比率)推移



15年連続で計画どおりの収支差額プラス(黒字)を計上しています。

PDCAによる経営管理の仕組みによって計画実現性を高めています。経営の効率化・安定化を実現し、積極的資金投下と安定財政を高次でバランスさせ、15年連続で計画どおりの黒字を計上しました。

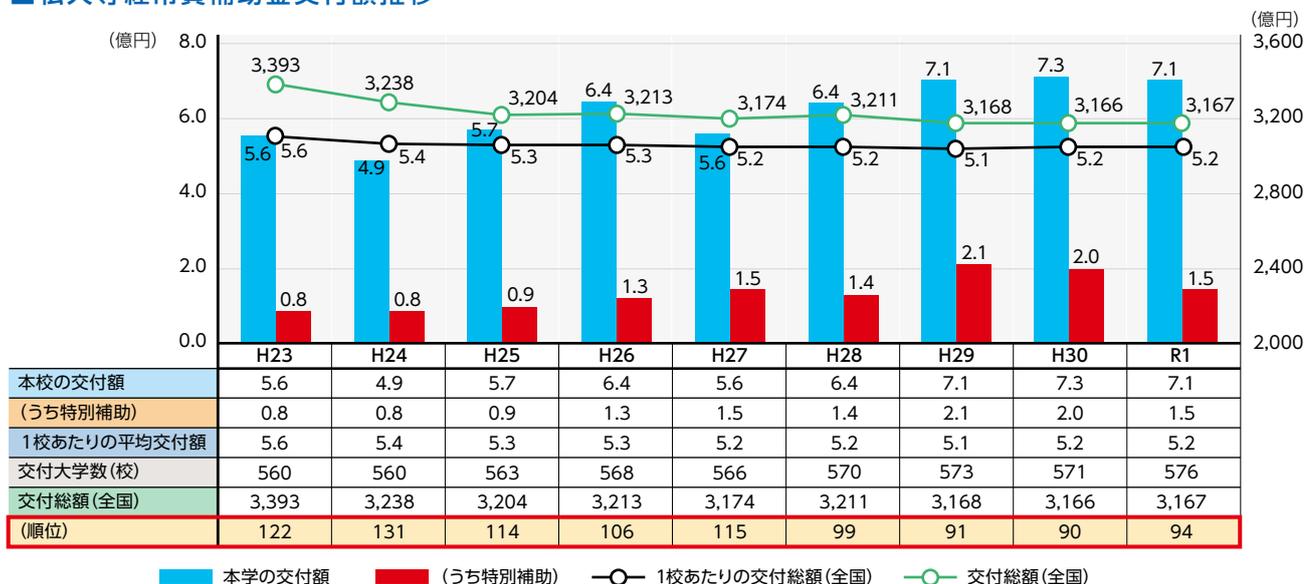
### ■基本金組入前当年度収支差額推移



# 国等の助成事業(社会ニーズ)との適合度合いを高め、補助金は高水準を維持しました。

全国私立大学等の経常費補助金が減少する中、私学行政の求めに沿って教育・研究活動や学校運営の改善を積極的に進めることによって、経常費補助金は高い水準を維持しました。

## ■私大等経常費補助金交付額推移

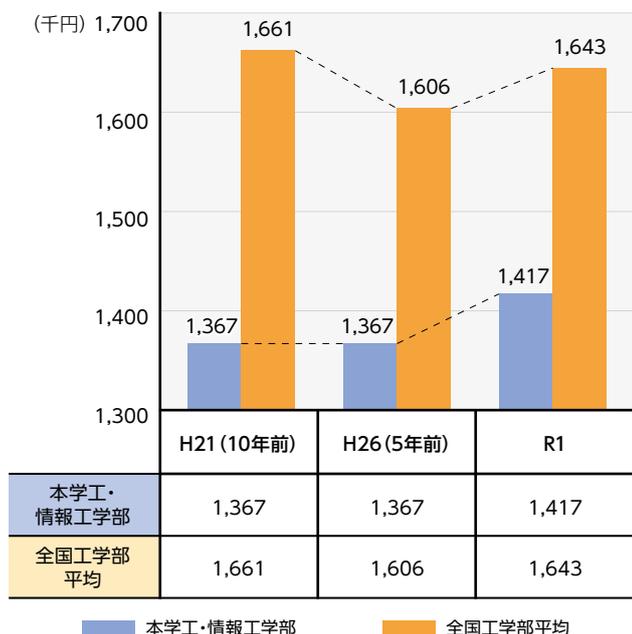


▶ 補助金交付順位は学校改革取組の活発さに比例する傾向があります。本学の順位は、141位/480校(15年度)から、90位/571校(30年度)に上昇し、安定しています。

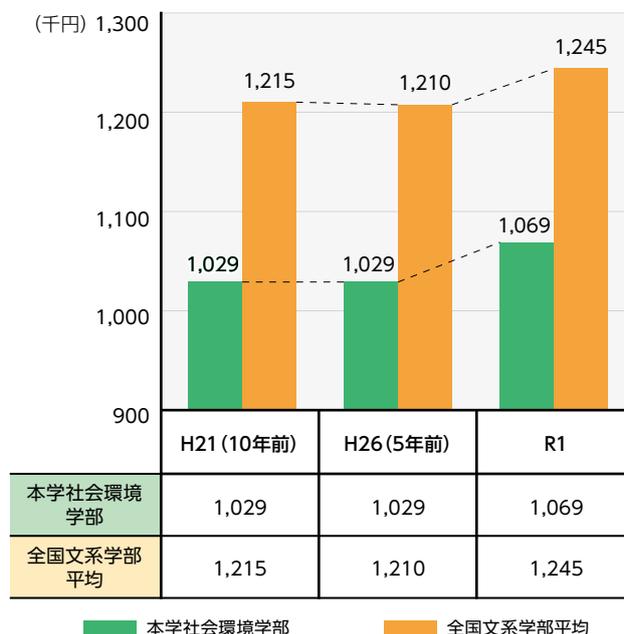
# 全国屈指の低学費を維持。経済的理由での退学等を抑制しています。

全国屈指の低学費で保護者の経済的負担を軽減しています。また、修学期間中の経済的困窮に柔軟に対応(独自奨学制度・分割納入対応等)し、経済的理由による退学等は極めて低い水準にあります。

## ■大学・学部の学費の相対比較(工学部・情報工学部)



## ■大学・学部の学費の相対比較(社会環境学部)



# 7. 学校運営に対する外部評価

## 経営・財政運営について格付会社(R&I、JCR)の評価はさらに向上しました。

学園運営のいっそうの改革・改善を推進するため、第三者の視点・外部評価を重視し、格付会社2社の評価を受けています。そこで、積極的・効率的な施設・設備投資や、事業計画と予算の連動性の高さ、予算管理精度の高さ等が高く評価されています。

■ 格付会社2社からの評価 (R&I: (株)格付投資情報センター、JCR: (株)日本格付研究所)



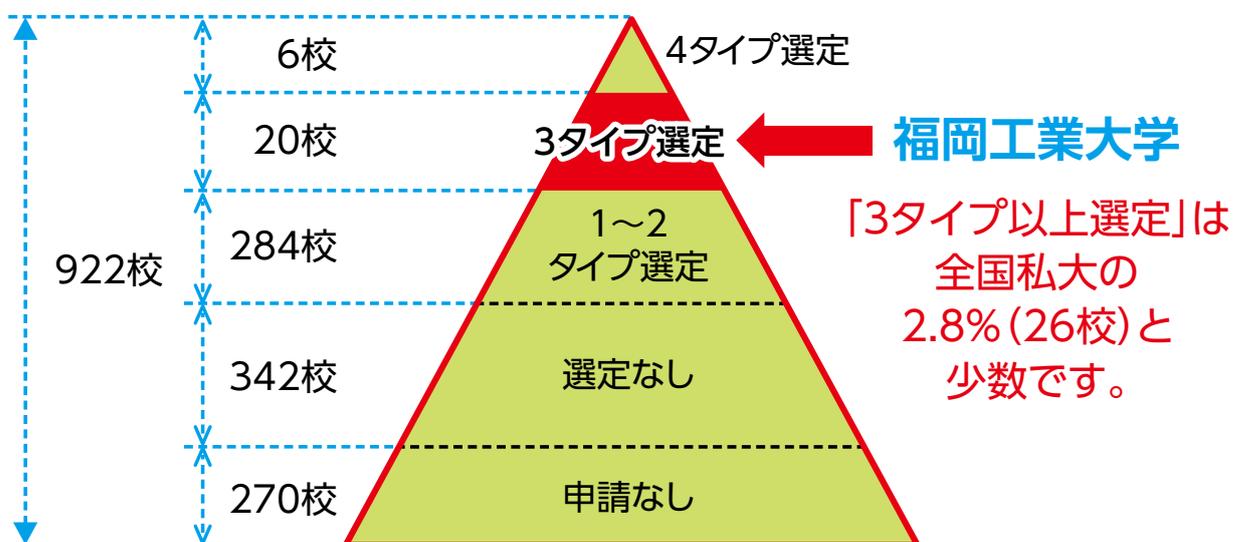
### 格付評価のポイント

- ・教職員全てがMPの策定過程に参画し、経営理念や経営方針を共有し一丸となって取り組み経営改革を進め効果を上げている。
- ・MP・APIは、トップダウンとボトムアップが円滑に融合した計画である。高レベルで確立された運営システムである。
- ・PDCAサイクルの実効性は高く、経営のスピード感に定評がある。これまでの改革の成果は、志願者数増、就職実績向上、事業活動収支差額安定推移、外部研究資金増等に表れている。
- ・教育・研究への積極的な資金投下を行いつつ、健全財政を両立させる運営ポリシーに変化はない。コスト意識が浸透しており、キャッシュインフロー、アウトフローの質が良い。
- ・学校法人の特性を咀嚼し、厳格な予算統制がなされており高く評価できる。教育・研究と財務は表裏一体であることが真に理解されていなければならぬ。

## 私立大学等改革総合支援事業に3タイプ選定。継続して良好な選定結果となっています。

学校改革の積極・実質性に応じて交付される当補助事業の選定は継続して良好です。補助制度・基準の変更下、引き続き適応(教育・研究活動の高度化・実質化)しているとして高く評価できます。

■ 文部科学省私立大学等改革総合支援事業(タイプ1~4)の全国の選定状況



▶ 私立大学等改革総合支援事業: 文部科学省と日本私立学校振興・共済事業団が一体となって、積極的に学校改革に取り組む大学等を評価・選定・支援するものです。この事業を一体的・統合的に推進することを本学の教育改革・改善の基本的な考え方としています。

# 経営・財政の管理手法について、学校経営研究誌・研究者から高く評価されています。

経営管理の仕組みやその成果が、日本私立学校振興・共済事業団や日本私立大学協会等の関係団体、全国の教育関係者・大学行政の研究者等から高く評価され、多くの学校経営研究誌等で紹介されています。

## ■ 本学の経営・財政の管理手法が好事例とし紹介された一例（総数約60誌）

<p><b>「大学経営強化の事例集」</b> 文部科学省委託研究において、本学の経営計画およびその実行計画の管理運営システムについて、数少ない好事例として紹介されました。 (平成19年3月)</p>	<p><b>「大学外組織評価研究会」</b> (独)大学改革支援・学位授与機構の研究で、本学の経営管理システム、特に様々な取り組みの評価活動について、他大学に重要な示唆を与えたとして評価されました。 (平成21年3月)</p>	<p><b>「大学評価・学位研究」</b> 本学のPDCAの一環として行う事業評価・改善の手法が、非営利組織の経営論の権威であるピーター・F・ドラッカーの経営理論との対比によって評価されました。 (平成22年3月)</p>			
<p><b>「学校法人」</b> 経営計画をサポートする財政計画と予算管理の役割について、セミナー講演の抄録が新春号巻頭で掲載されました。 (平成28年1月)</p>	<p><b>「私大振興検討会議「議論のまとめ」</b> 28年10月に、文部科学省「私立大学等の振興に関する検討会議」の席に学園の常務理事が招致され、経営改革事例を報告した議論のまとめが公表されました。 (平成29年5月)</p>	<p><b>「大学改革を成功に導く特色ある取組事例集」</b> 中期経営計画を軸とした経営管理システムと情報共有による教職協働での改革の実践が好事例として紹介されました。 (平成31年2月)</p>			
<p><b>「私大経営システムの分析」</b> (平成19年11月)</p>	<p><b>「学校法人」</b> (平成20年2月)</p>	<p><b>「私学経営」</b> (平成20年3月)</p>	<p><b>「私立高等学校のこれからの考える」</b> (平成20年3月)</p>	<p><b>「学校法人」</b> (平成20年7月)</p>	<p><b>「カレッジマネジメント」</b> (平成21年5月)</p>
<p><b>「カレッジマネジメント」</b> (平成23年1月)</p>	<p><b>「大学経営の評価システム」</b> (平成24年3月)</p>	<p><b>「中長期経営システムの確立、強化に向けて」</b> (平成25年2月)</p>	<p><b>「大学マネジメント改革」</b> (平成26年3月)</p>	<p><b>「大学・短大の経営事例集～経営基盤強化のために」</b> (平成29年3月)</p>	<p><b>「私学経営」</b> (平成29年5月)</p>

# 本学の学校運営等について、行政・私学団体等、外部機関の視察等が拡大しました。

施設・設備への積極投資と財務運営（教育・研究の改善・高度化を主目的とする予算制度）の両立が行政機関や他の教育機関等から高く評価され、事例報告や視察受入が拡大しています。

## ■ 事例報告の一例

発表日	発表機関等	テーマ
H28.10.13	日本私立学校振興・共済事業団 私学スタッフセミナー	大学職員の役割について～大学ニーズの高度化・多様化に対応する職務～
H28.10.24	文部科学省 私立大学等の振興に関する検討会議	「経営強化・財務面の体質強化」の取組事例報告
H29.2.23	日本私立大学協会 私立大学経営問題協議会	経営的視点で見た募集戦略
H29.10.6	日本私立大学協会 私立大学経営問題協議会	経営管理の仕組みに内包する2つのIR～IR（調査分析・情報公表）活動の概要～
H29.11.10	一般社団法人日本能率協会 大学マネジメント改革総合大会	中期経営計画を実現するマネジメントシステム
H30.12.15	東京大学大学院教育学研究科 「大学経営・政策各論」講義	経営戦略としての財務運営～学校運営における財政計画の重要性～
H31.4.19	地域科学研究会 高等教育情報センター	「経営視点で見る情報公開」～マネジメントシステムに組み込んだ情報公開～
R1.6.25	文部科学省私学部高等教育局 私学部勉強会	経営計画の実効性向上のトライアル～経営計画と財政計画・財務の連関～
R1.9.20.27	公益社団法人私学経営研究会	学校運営を活性化させる人事・人件費施策～組織活性化と人件費安定化の両立～

## ■ 活発化する外部教育行政関係団体等視察の状況

来訪日	来訪者	来訪目的	来訪日	来訪者	来訪目的
H29.2.2	日本私立大学協会 私学高等教育研究所	IRに関するヒアリング調査	H30.6.28	文部科学省 私学助成課長	(H29.6訪問時の追加ヒアリング)
H29.6.27	文部科学省 私学助成課長	私学助成の効果に関するヒアリング	H30.7.27	桜美林大学 (元私学事業団)	PDCAによる財政運営についてヒアリング
H29.6.29	学校法人鶴学園 広島工業大学 企画室	経営計画の実質・実効化方策についてヒアリング	H30.8.23	学校法人明星学園 法人本部理事長室	学校運営の可視化に関するヒアリング
H29.9.1	大学行政管理学会 事務局長他	理事会ガバナンス等に関するヒアリング	H30.9.28	文部科学省 大学振興課長	教育改革・研究高度化に関するヒアリング
H29.11.17	共立女子大学 法人本部	マネジメント・ガバナンスに関するヒアリング	H30.10.12	私学事業団 経営情報センター長	経営計画・財政計画に関するヒアリング
H30.1.23	西南学院大学 経営企画室	経営・教学運営の可視化に関するヒアリング	H30.10.12	学校法人明星学園 学長補佐	教育改善全般に関するヒアリング
H30.2.23	文部科学省 私学助成課長	私学助成の効果に関するヒアリング	H31.1.22	学校法人関西学院 総合企画部長	経営計画、目標管理に関する意見交換
H30.4.20	学校法人桃山学院 (元私学事業団)	PDCAによる経営・教学管理についてヒアリング	H31.3.7	学校法人東亜大学 学園事務局長他	経営計画・財政計画に関するヒアリング
H30.4.27	文部科学省 私学部参事官	理事会ガバナンス等に関するヒアリング	R1.10.2	千葉商科大学 常務理事 他	経営計画・財政計画に関するヒアリング
H30.6.6	愛知工業大学 法人本部	経営計画の実質・実効化方策についてヒアリング	R1.11.22	関西地区32私立大学 施設関係部局職員	キャンパスの景観、清掃等施設管理、最新設備等見学

# 1. キャンパスの施設・設備

**キャンパス全域の教育・研究環境高度化が進展。諸活動が活発化しています。**

「全国トップクラスの教育拠点」形成に向け、AI型授業拡大・ICT高機能化・研究高度化・学生サービス機能向上を主眼として、教育・研究環境高度化を進展させています。教育・研究活動はもとより、地域交流や学術・文化・スポーツ等の諸活動もいっそう活発化しています。



■ 国際交流会館



■ 新宮総合グラウンド・坦心寮  
(男子寮)



■ E棟 平成28年8月竣工



■ F棟 平成29年8月竣工

■ 附属城東高校

■ A棟

■ B棟

■ C棟

■ α棟

■ コスモス寮(女子寮)



■ 高校体育館

■ 和臼グラウンド

■ 大学クラブハウス

■ FITアリーナ

■ FITアリーナWESTコート

■ おとめが池

■ 本部棟

■ D棟

■ FITホール



■ α棟



■ D棟

■ フットサル場・  
スケートリンク

■ 塩浜総合  
グラウンド

■ 屋内練習場



▶ ホームページに掲載している「googleストリートビュー」や「バーチャルキャンパス」で、実際の施設・設備の様子を見ることができます。

## キャンパスライフサポート施設が充実。文化・スポーツ・地域交流が活発化

文化・スポーツ・地域交流施設としてアリーナ、ホール、スタジアム、セミナーハウス等を、大学生生活サポート施設としてウエストコート、相撲場、BBQ施設等を設置しています。



FITアリーナ



FITホール



FITスタジアム



FITセミナーハウス



FIT Link (図書館)



エクステンションセンター



モノづくりセンター



B棟学生ラウンジ



FITアリーナウエストコート



相撲場



FIT BBQ



音とモノづくりの歴史資料館  
(令和元年度改装)

▶ 学生・教職員の要望や日常・周期点検結果を整備計画に反映しています。施設・設備の安全性・機能性・利便性等は向上し、学生・教職員、地域の方に活用されています。

## 附属城東高校の学び舎をリニューアル。キャンパス全域を「主体的な学び」に総合

高校の施設・設備整備計画をはじめキャンパス全域を「アクティブラーニング」をコンセプトとして総合しています。学校改革(主体的な学び、学びの質向上、教育指導力向上、ICT教育高度化等)の推進力を高めています。

### ■ 高校施設・設備整備計画の概要

#### 5つの総合的目標

- ① 学びの質を高める教育環境の創出
- ② 心身の健康の保持増進が可能な体育施設の整備
- ③ 教育・指導力を向上させる空間の整備
- ④ 情報リテラシーを育成するICT教育の高度化
- ⑤ 学校生活の安全性・快適性の向上

#### 7つの整備内容

整備内容	整備の目的・期待される効果等
① 1号館(教育棟)新設	グループ学習やコミュニケーション活発化
② 体育館新設	多目的施設の整備、課外活動の活発化
③ 横断歩道橋新設	生徒移動の安全性確保
④ 既存施設改修	主体的学修促進
⑤ グラウンド人工芝化	正課・課外活動の充実等
⑥ 外構・前庭・中庭整備	生徒・教員の寛ぎスペース確保等
⑦ 駅からの通学路の改善	良好な景観の構築、通路幅拡幅で安全性確保



1号館外観



体育館外観



ラーニングコモンズ



体育館メインフロア

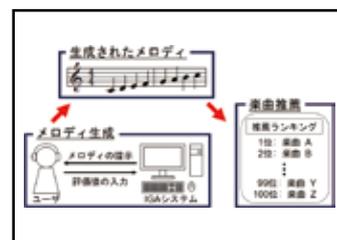
▶ 令和2年8月に新1号館(職員室、アクティブラーニングスペース等)、同年12月に新体育館(地上4階建)が竣工予定です。

## 2. 大学院の取組

高度な研究者・専門的職業人を育成・輩出。進路決定状況は高位安定。約9割が上場、大手・中堅企業へ就職しました。

卓越した研究者(国等のプロジェクトに参画)の研究指導、国内外企業・研究所等との外部連携プログラムによる研究活動、教員・職員一体でのキャリア教育を積極化しています。研究成果の国内外学会等での高い評価や、良好な進路決定状況(就職率100%・実就職率95.5%)など相応の成果が生じています。

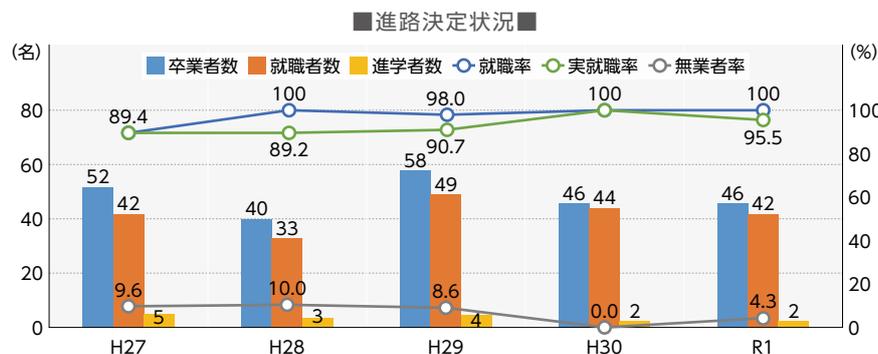
### ■学会表彰を受けた研究内容紹介(一部抜粋)



情報通信工学専攻 藤崎研究室  
 若本 拓己さん(嘉穂高校)  
 映像情報メディア学会「優秀研究発表賞」受賞  
 研究テーマ:「気象データを用いたKa帯マルチビーム型衛星放送システムのビーム制御法の検討—レーダーアメダス降水データの有効性の評価」  
 研究概要:高速大容量通信を目指す次世代の衛星放送システムでは降雨の影響が大幅に大きくなるため高度な降雨対策技術の導入が必須となる。本取組では、マルチビーム衛星を用いた次世代衛星放送システムを対象に、地上での気象状況をもとに衛星から照射される電力を適応的に制御する手法を研究。

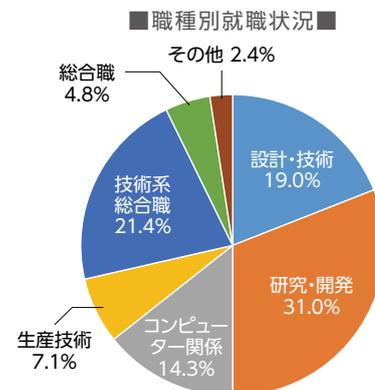
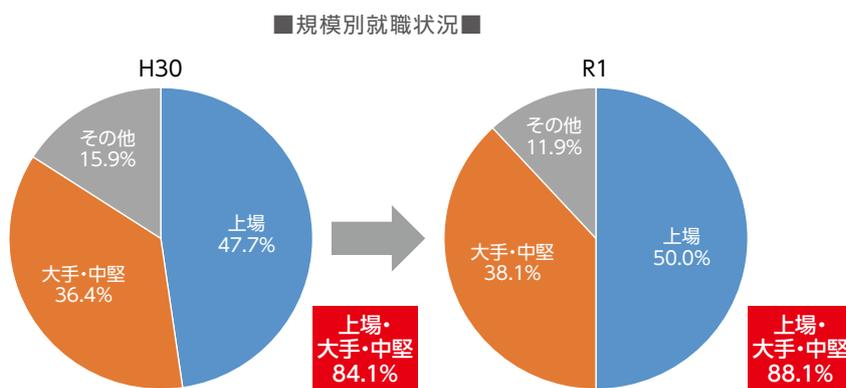
情報工学専攻 福本研究室  
 山口 絃希さん(防府高校)  
 ISIS2019&ICBAKE2019「Best Paper Award」受賞  
 研究テーマ:「A Music Recommendation based on Melody Creation by Interactive Genetic Algorithm with User's Intervention」  
 研究概要:対話型進化計算の一種である対話型遺伝アルゴリズムを用いて各ユーザの好みにあったメロディの生成を行った後、コンテンツベースフィルタリングを用いて、生成されたメロディの類似部分を含む楽曲を推薦する手法を研究。

### ■大学院生の就職状況



就職率 100%  
 実就職率 95.5%

修了者数 46名  
 就職希望者 44名  
 就職者数 42名  
 進学者 2名



▶ 上場企業や大手・中堅企業(資本金3億円以上または従業員300人以上)への就職率が約9割に上昇。研究・開発職への採用も増加しました。

# 産業界との交流を拡大、キャリア形成・就活支援を積極化

学生の多様な就業ニーズに応え、様々なキャリア形成・就活支援を行っています。特に、上場大手企業への就職を目指す学生を支援する「トップアップ講座」や「教員帯同型企業訪問」などを実施し企業との交流・連携を拡大しています。

## ■ 大学院トップアップ講座

令和元年度実績  
受講者22名の進路決定状況

就職率 **100%**

上場・大手・中堅  
企業への就職 **21名**

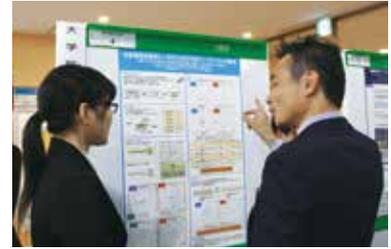


トップアップ講座の様子

## ■ 指導教員帯同型企業訪問

教員帯同型企業訪問実績

訪問企業
トヨタテクニカルディベロップメント(株)
シスメックス(株)
住友ゴム工業(株)
マンダム(株)
(株)荏原製作所
(株)共和電業
日本無線(株)
(株)ケーヒン
東芝機械(株)
トーカロ(株)



企業交流会での大学院生によるポスターセッション



指導教員帯同型企業訪問(シスメックス(株))

- ▶ 令和元年度の主な就職先(東証一部上場)：京セラ(株)、シャープ(株)、(株)ジャステック、(株)大気社、日本コムシス(株)、酒井重工業(株)、サクサ(株)、(株)タムラ製作所、三菱自動車工業(株)、総合警備保障(株)、スズキ(株)、マツダ(株)、中国電力(株)

# 「大学院修学支援事業」で大学院への進学や在学中の学びをサポート

研究意欲旺盛な学生が、経済的な理由で大学院進学を断念することがないように、本学独自の様々な経済支援方でサポートしています。

## ■ 独自修学支援制度の概要

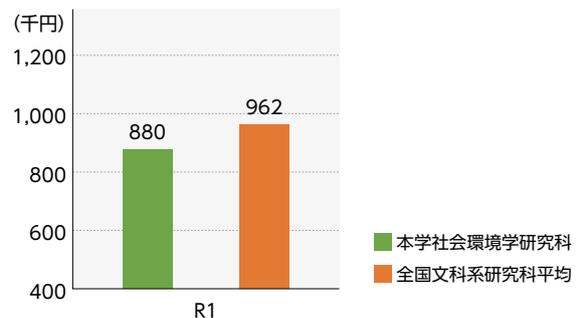
対象	採用人数	支援内容
学業特別奨学生制度	各学年9名	授業料の半額を補助
奨励金支給制度	各専攻1学年当たり2名	毎月80,000円を支給
学会出席旅費等補助制度	全員	学会参加に必要な費用のほぼ全額を補助

年間授業料が半額免除となる「学業特別奨学生制度」や毎月8万円の奨励金を支給する「奨励金支給制度」を設けています。

## ■ 大学院(工学研究科)の学費の相对比较(入学金含む)



## ■ 大学院(社会環境学研究科)の学費の相对比较(入学金含む)



理工系研究科で「全国5指」に入る低学費施策で修学を支援しています。

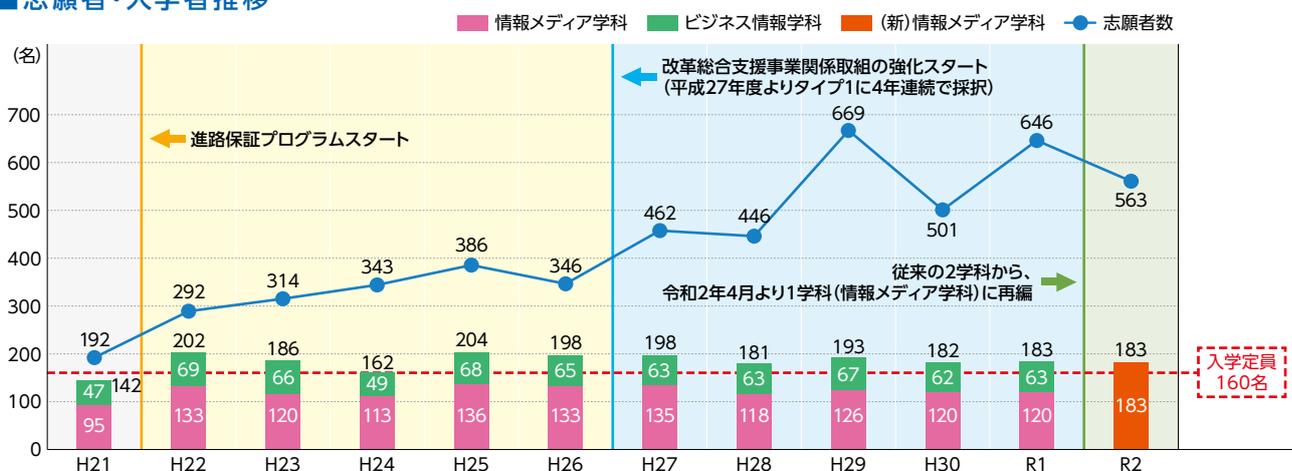
- ▶ 奨学制度や低学費施策の他、国内外で開催される学会へ参加するための旅費や宿泊費などを支給する「学会出席旅費等補助制度」でサポートしています。

### 3. 短期大学部の取組

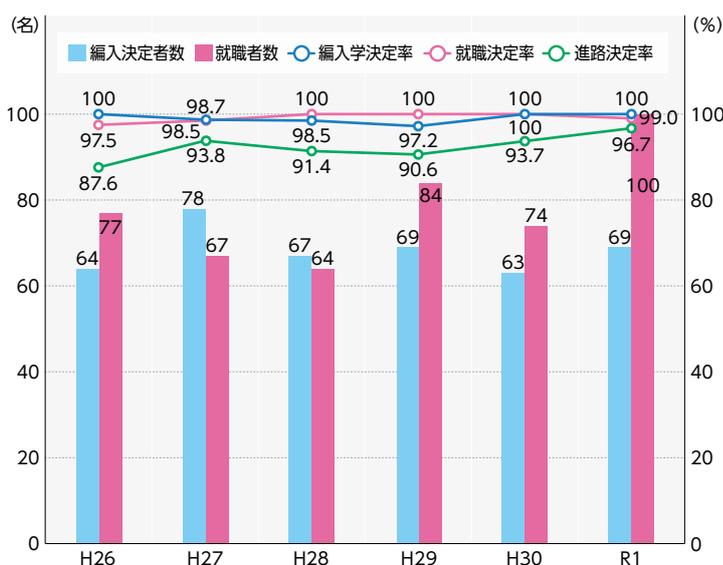
入学志願者は大幅増加、入学者確保も安定的。  
進路決定率は過年度最高となりました。

教職員一人ひとりが、学生一人ひとりに「親身になって」「親代わりに」「厳しく」関わる、その教育スタイルや学生の成長が企業や地域等から評価され、安定的な入学者確保や過年度最高の進路決定率に表れています。丁寧な教育を基盤とした好循環が生じています。

#### ■ 志願者・入学者推移



#### ■ 進路決定状況推移



編入学決定率 **100%**  
就職決定率 **99.0%**  
進路決定率 **96.7%**

	H26	H27	H28	H29	H30	R1
卒業者数	169	162	151	171	159	181
編入決定者数	64	78	67	69	63	69
就職者数	77	67	64	84	74	100
進路決定者数	148	152	138	155	149	175
編入学決定率	100%	98.7%	98.5%	97.2%	100%	100%
就職決定率	97.5%	98.5%	100%	100%	100%	99.0%
進路決定率	87.6%	93.8%	91.4%	90.6%	93.7%	96.7%

#### ▶ <1学科(情報メディア学科)2コースに再編(令和2年4月)>

次世代ICT社会を支える人材育成を目指し学科再編を行いました。その具体的な方法として、プログラミング教育を軸とした1,200時間の情報系科目の配置、実社会での運用を想定した課題解決型学習科目の充実など大幅な転換を図りました。

## 社会人基礎力育成カリキュラムを個別指導により徹底。就職率はほぼ100%

「社会人基礎力を育成する課題解決型プログラム」「学生カルテを活用した教職員間の情報共有」など、本学の特徴を活かした個別指導の徹底により高い就職実績を実現しました。

### ■ 就職教育プログラム

希望職種別キャリア教育、ゼミ単位の特別支援、就職に有用な資格取得支援など

	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期	就職支援
共通プログラム	業界研究	履歴書添削・面接の指導 能力適性検査(SPI)対策		検定対策講座 卒業研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>●キャリア系科目の充実</li> <li>●学内企業説明会の開催</li> <li>●SPI試験対策講座の開講</li> <li>●面接指導・訓練</li> <li>●インターンシップのカリキュラム化</li> <li>●履歴書・エントリーシートの添削</li> <li>●資格取得の促進</li> <li>●遠方交通費支援 他</li> </ul>
情報系・メディア系プログラム	専門基礎 修得	ITパスポート CGエンジニア検定 マルチメディア検定 取得	基本情報技術者 取得	卒業研究	
ビジネス系プログラム	専門基礎 修得	秘書検定3級 医療事務3級 取得	日商簿記3級 秘書検定2級 ITパスポート 取得	日商簿記2級 秘書検定準1級 取得	

▶ 過去3か年の主な就職先: JR九州システムソリューションズ(株)、(株)YE DIGITAL、ANAテレマート(株)、不二精機(株)、(株)アクティオ、(株)USEN-NEXT HOLDINGS、岩田産業(株)、(株)福岡中央銀行、エコ電子工業(株)、GMOインターネット(株)、コネクシオ(株)、日本ステリ(株)など

## 編入教育プログラムを充実、4年制大学(編入学)希望者の合格実績は100%を達成

約4割の学生が4年制大学への編入を目指します。編入先大学に対応したプログラムを多数用意しており、希望大学別試験対策講座や面接指導を徹底して行ったことが成果として結実しました。

### ■ 編入教育プログラム

英語、数学、物理、小論文などの集中課外講座、個別添削指導、外部試験(TOEICなど)活用など

	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期	編入支援
国公立大学(理系・文系)プログラム	正規科目 先取り履修	基礎講座(物理・数学・英語)	志望校別 編入対策講座(物理・数学・専門・英語・TOEIC)	弱点強化講座(編入先別)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●編入支援室の設置</li> <li>●編入支援スタッフの常駐</li> <li>●編入説明会の実施</li> <li>●志望大学別課外講座の実施</li> <li>●長期休暇課外講座の実施</li> <li>●面接指導・訓練</li> <li>●個別口頭質問対策</li> <li>●志望理由書の添削</li> <li>●志望大学別個別指導</li> <li>●正規科目によるサポート</li> <li>●近郊大学編入説明会の実施</li> <li>●遠方交通費支援 他</li> </ul>
福岡工業大学プログラム	基礎講座	工学部 科目等履修生	情報工学部・社会環境学部 科目等履修生	編入対策講座(学科毎) 直前対策講座(学科毎) 直前対策講座(社会環境学科) 弱点強化講座(学科毎)	
私立大学(理系・文系)プログラム	基礎講座	志望校 選択ガイダンス	直前対策講座(志望校別)		

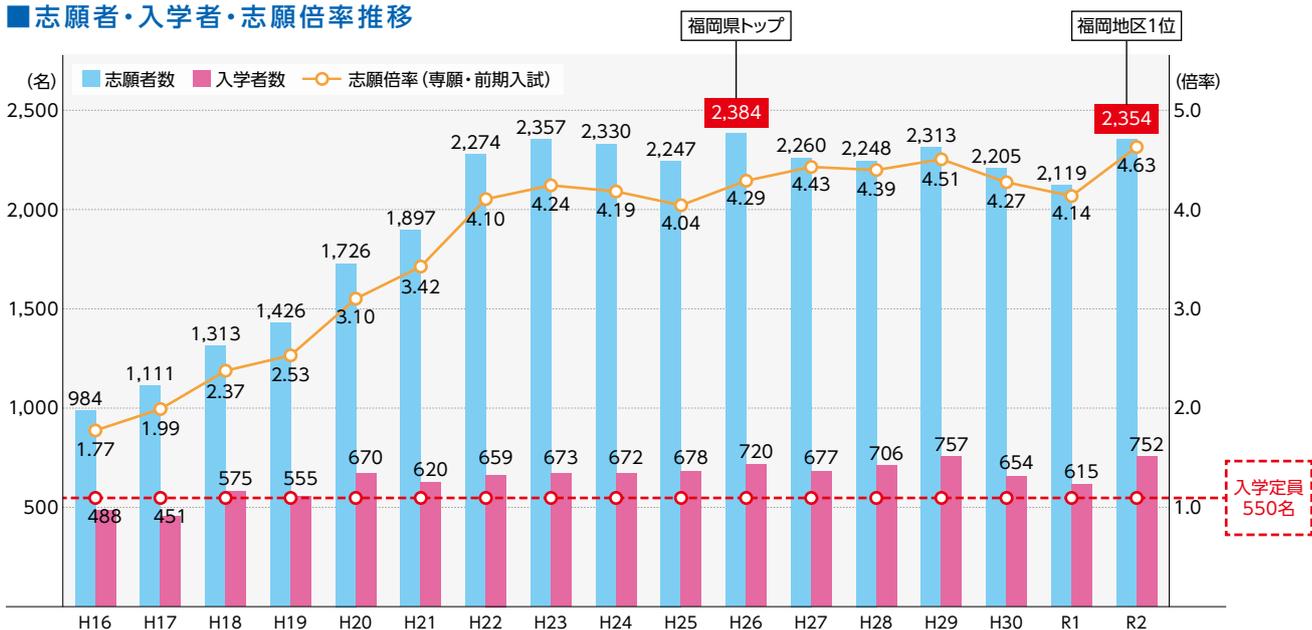
▶ 令和元年度編入合格者数一覧(国公立大学): 徳島大学2名、佐賀大学2名、琉球大学2名、九州工業大学、鹿児島大学、大分大学、香川大学、北九州市立大学、広島大学、高知大学各1名、合計13名

# 4. 附属城東高校の取組

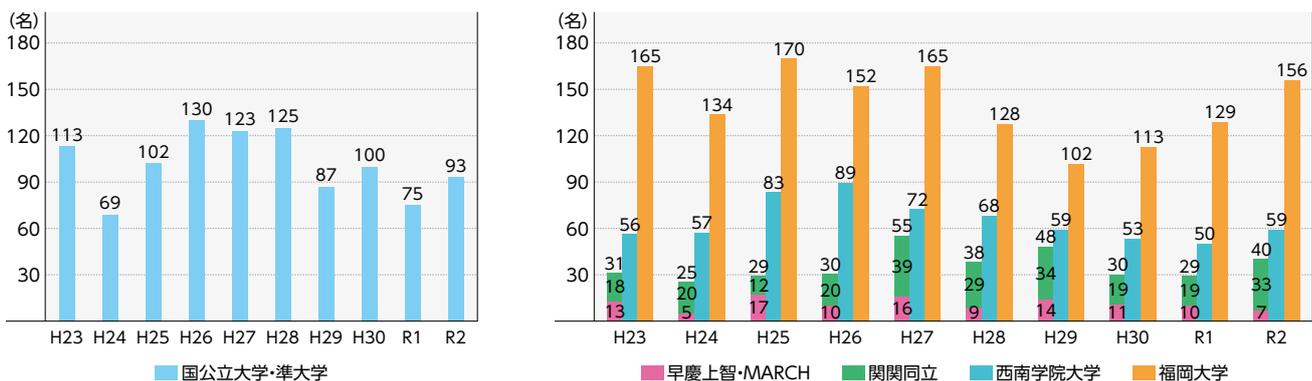
入学志願者・志願倍率は「県下トップクラス」で推移、入学者も安定確保。進学・就職状況は高位安定的に推移しています。

入学志願者は、改革元年（平成12年）以降着実に増加し高水準を維持しています。令和2年度入試は2,354名を確保し、志願倍率も「福岡地区第1位」となりました。国公立・難関私大等の進学実績や就職実績も良好な水準を維持（就職率は7年連続100%）しています。

## ■ 志願者・入学者・志願倍率推移



## ■ 合格者推移



## ■ 就職状況推移

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
就職対象者	77	73	69	50	72	84	68	77	89	103
就職希望者	77	73	69	50	72	84	68	77	89	103
就職希望率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
就職者	77	73	68	50	72	84	68	77	89	103
就職率	100%	100%	98.6%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

就職対象者：卒業者数－進学者数

▶ 全国の私立高校の6割が入学定員を確保できない中、入学定員（550名）を平成18年以降15年連続で安定的に確保しています。

## 進学・就職成績向上対策、キャリア教育がいっそう充実・積極化

早朝・放課後学習会、難関大特別学習会等や、資格取得支援、模擬面接等の進学・就職成績向上対策を実施しました。また、キャリア教育、環境教育、ボランティア体験、海外研修等、実体験教育を積極化しています。

### ■ 進学・就職対策、キャリア教育の様子



校内大学説明会の様子



九州大学模擬講義での活発な意見交換の様子



英語プレゼンコンテスト「FedEx Express/Junior Achievement ITC」出場  
三重野朱璃さん(古賀北中学)、丸山侅奈さん(福岡教育大学附属福岡中学)



電気科・電子情報科 IT塾の様子



難関国家資格「基本情報技術者試験」に合格(合格率16.9%)  
木原遼介さん(箱崎清松中学)



インターンシップの様子

▶ 国公立大学にⅡ類クラス18名、工業科スペシャリストコース8名が合格と実績が大きく向上しています。資格取得の合格実績(1,963名)も着実に増加しています。

## 生徒の主体性、実行力を育成。生徒会活動・課外活動が活発化

生徒会活動や部活動は、人間性・社会性を育む重要な教育の機会と考えています。生徒は協働し、目標達成や課題解決に向けて主体的・実践的に取り組み、その活動はいっそう活発化しています。

### ■ 活発な生徒会活動・部活動の様子



環境委員会を中心に行う校内清掃活動の様子



ラブアースクリーン活動(和白干潟清掃)の様子



東北復興支援特産品販売の様子(ボランティア部)



ダンス部 G20財務相・中央銀行総裁会議歓迎レセプションでの演技の様子



令和元年度インターハイベスト8  
写真)第72回全日本バレーボール高等学校選手権大会福岡県大会(準優勝)



第45回九州地区高等学校野球大会出場  
(県大会準優勝)

▶ 部活動は、当年度も学術・文化からスポーツまで優秀な成績を修めています。

# 1. 教育改善の取組

## 教育の質保証に向けて、アセスメントポリシーに基づく評価を実施

授業の質保証を主目的とするアセスメントポリシー（学修成果の評価・改善の方針）に基づいて、①大学全体②学部・学科③授業科目④学生の各レベルで、授業内容・方法等を評価し、「授業点検書」の作成等により教育改善につなげています。

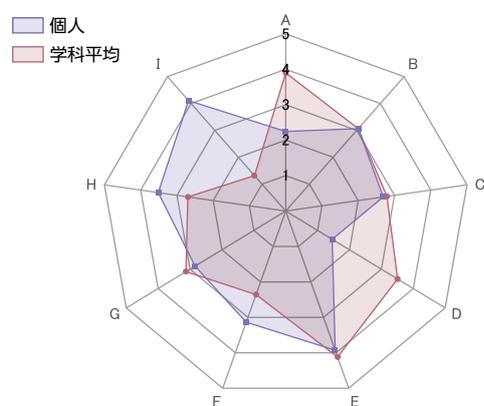
### ■アセスメントの項目と指標

項目と指標 レベル	カリキュラムポリシー（CP）に 則した学修が進められているか	ディプロマポリシー（DP）の修得状況
大学	GPA、成績評価分布、修得単位数、IRコンソーシアム学生調査、退学率・休学率 等	卒業時調査、卒業生調査、企業調査、就職率、就職先状況データ 等
学部・学科 (カリキュラム)	GPA、成績評価分布、修得単位数、IRコンソーシアム学生調査、退学率・休学率、授業アンケート、資格取得者数 等	卒業時調査、卒業生調査、企業調査、就職率、就職先状況データ、DP達成度集計、主体性ルーブリック集計 等
授業科目	成績評価分布、授業アンケート、学習履歴（ポートフォリオ）	DP達成度集計、主体性ルーブリック集計 等
学生	成績評価、GPA、学習履歴（ポートフォリオ） 等	卒業研究等の成績評価、GPA、修得単位数、DP達成度集計、主体性ルーブリック評価 等

## 主体的な学習をポートフォリオ（学習記録・到達度自己評価等）の活用で積極サポート

学習効果をより高めるためには、学生が目標設定しそれに向かって自己調整学習へと進むように支援する必要があります。FIT-AIMによって学修成果の可視化を行い、学生レベルのアセスメントの一部として教育点検に活用することを検討しています。

### ■学習ポートフォリオ（FIT-AIM レーダーチャートの例）



【学修成果の可視化に関する機能を追加】  
R1年度前期からFIT-AIMにレーダーチャートとして表示  
[DPポイント(仮称)] = (修得単位数 × GP × GP関与度)  
の合計 ÷ (修得単位数 × GP関与度) の合計

知識・学力	DPポイント(例)	
	(個人)	(学科)
A 地球的観点から多面的に物事を考える能力とその素養	2.3	4.0
B 技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、及び社会に対して負っている責任に対する理解	3.1	3.1
C 数学及び自然科学(人文社会科学)に関する知識とそれらを応用する能力	2.7	2.7
D 当該分野において必要とされる専門知識とそれらを応用する能力	1.6	3.5
E 種々の科学技術、情報及び知識を活用して社会の要求を解決するためのデザイン能力	3.9	4.2
F 論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力	3.2	2.4
G 自主的、継続的に学習する能力	3.0	3.2
H 与えられた制約の中で計画的に仕事を進め、まとめる能力	3.7	2.8
I チームで仕事をするための能力	4.1	1.5

(5点満点)

▶ 自己調整学習：学生が目標を設定し、その達成のために自らモニタリングしながら調整していくという能動的な学習

# 授業改善に、学生の力(学修成果、提案・意見)を積極的に活用

AI導入科目については、事前研修を受けた先輩学生(クラスサポーター(CS))を採用し、受講生の理解度向上につなげています。また、教育技術開発グループの教員と連携して学生FDスタッフの提案・意見を授業改善に取り入れています。

## ■学生による教育改善活動の様子



クラスサポーター(CS)研修



学生FD(FIT-join) 学生発案型授業「Join→connect『楽しい学び』とは?」

## ■学生FD(FIT-join)の活動実績

時期	内容
H31.1月～4月	新入生オリエンテーションの企画運営
R1.5.27	R1年度活動計画について、教職学で確認・共有
R1.8月～10月	教員インタビュー・授業参観実施
R1.10.9	学生は発案型授業「Join→connect」開催
R1.10.28	「FIT-AIM利用状況ヒアリング」実施 FIT-AIMの授業の振り返り機能に関する意見交換会
R1.11月	一般学生に「授業の満足度や生活面での不安・不満に関するアンケート実施(235名回答)」
R1.12月	学生FD広報誌「Future Design 学生とともに、先生とともに創る」Vol.3発行
R2.2月	「FIT学生団体サミット」開催
R2.2.25	FD教職学ミーティング(活動報告及び意見交換)

▶ CSは、AI型授業において、教員を補助し、受講する学生の理解が進むように助言・サポートを行っています。また、CS活動を通して自身の学習深化や成長につながっていることが確認されています。(29年度CS追跡調査)

# 推薦入学者の入学前教育と、入学後の基礎学力補完教育を充実

推薦入学者を対象に、入学までの学習習慣維持と基礎学力補強を目的とした入学前教育を実施しています。また、新入生の学習サポートとして、1年間の課外カリキュラムを実施し、大学での学びの基本姿勢を身に付けさせています。

## ■入学前教育の概要

1. 目的	入学までの学習習慣の維持と基礎学力の補強・向上
2. 学習期間	約2ヶ月(1月～3月)
3. 対象者	推薦入試合格者(約500名)
4. 実施科目	工学部・情報工学部:数学(物理:希望者) 社会環境学部:日本語表現・小論文(英語、数学:希望者)
5. 実施形態	e-learning等により自宅等で学習(スマートフォン、タブレットでの学習も可能)

## ■フレッシュマンスクールの特徴



## ■入学前教育e-learning実施フロー



※学習結果データは、各学科で初年次教育に活用する。

## 2. 研究高度化の取組

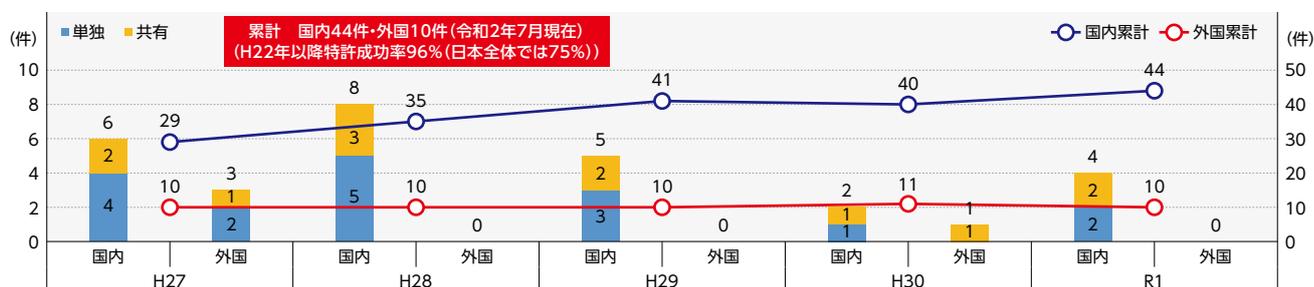
### 産業界・地域に向けて研究情報(研究成果、研究技術)の公開・発信を積極化

国・地域・産業界との実用化研究の進展に伴い、研究成果の権利化(特許登録)が拡大しています。実用化技術(特許情報等)の公開・発信等を通じて、産業界の発展に広く貢献しています。

#### 令和元年度に特許登録された研究成果(国内3件、外国1件)

No.	特許番号(登録日)	発明者	共有者	発明の名称
1	6544518(2019/6/28)	電気工学科 北川 二郎 教授	(株)フィノビット	ネオジウム回収方法
2	4169217(2008/7/22)	(株)ハイドロデバイス(2019年8月に特許権譲受)		水素発生材料の製造方法
3	6615970(2019/11/15)	情報システム工学科 山越 健弘 准教授		血圧推定装置および血圧推定プログラム
4	6638915(2020/1/7)	知能機械工学科 加藤 友規 准教授 他	東芝機械(株)	主軸ヘッド昇降装置および工作機械

#### ■ 本学が権利を保有する特許取得状況推移(企業との共有を含む(国内・外国))



- ▶ 技術相談、実用化・事業化ニーズの高まりに対応するため、専任のコーディネータを配置し、特許実施許諾への橋渡しを丁寧に行っています。

### 社会参画・実践型研究を重視。学生研究・PBL(課題解決型学習)支援によって萌芽的研究を育成

学生研究・PBL等によって、実社会を研究フィールドとした実践型研究を積極化しています。これに伴い、独自のゲームアプリ開発や手術の安全性向上等をめざす萌芽的な研究活動が進展しています。

#### ■ 「i-Tech LAB.」(情報モノづくりセンター)で行う学生研究・PBL活動 ＜「九州アプリチャレンジ・キャラバン」参加を通じた実践型教育活動の様子＞



クラウドアプリ開発入門講座の様子



写真上) 情報システム工学科チームメンバー  
写真下) 九州アプリチャレンジ・キャラバン2019コンテストの様子

- ▶ 「i-Tech LAB.」(情報モノづくりセンター): PBL活動を通じて、学生の独創的な発想を活かす技術開発拠点として、研究活動をさらに活発化させています。

# 自然災害リスクに対して、「地域防災の高度化」を推進する研究が進展

近年、地域を襲う未曾有の災害が相次いでいることに対応し、防災・減災に関する研究を加速させています。地域防災の研究拠点として、本学の役割がますます拡大しています。

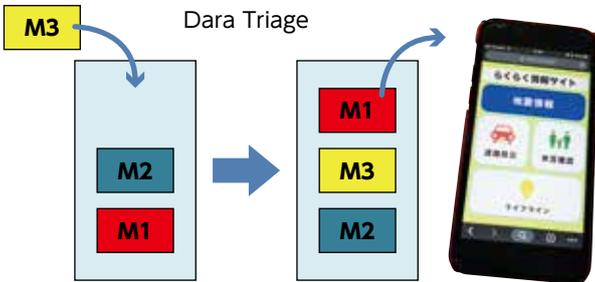
## ■ 地域防災に関する主な研究例



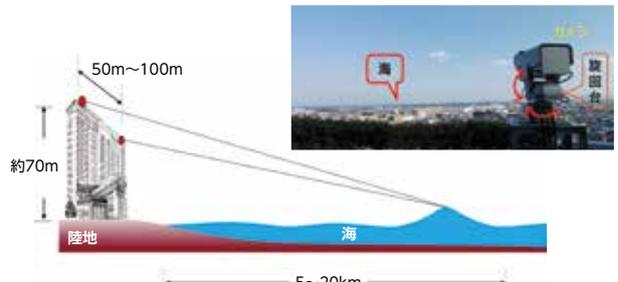
IoT洪水予測: 従前の1/10のコストで河川の水位計測



災害情報共有システム: 対策本部で災害情報の重要度・時系列判定



データトリアージ: 危険度の高い被災者順に優先治療



センチ単位の津波予測: 3D画像解析とAIによりセンチ単位の津波予知

# 文部科学省の大型プロジェクト研究事業に数多く採択、研究成果の実用化を促進

医療技術への応用が期待されるナノ素材を活用した研究や大規模津波予測技術研究の開発など、研究成果の実用化に向けて学部横断でプロジェクト研究を進めています。

## ■ 文部科学省大型研究補助事業の近年の採択状況

### ■ 研究テーマ: 物質・エネルギーデバイス研究センター整備事業

■ 採択年度: 平成27年度

#### ■ 期待される用途や効果

無機ナノシートを複合化した新開発素材によるウェアラブル端末や歩行・波力発電への展開が期待される革新的エネルギーデバイスの開発



### ■ 研究テーマ: 先端計測技術研究センター整備事業

■ 採択年度: 平成25年度

#### ■ 期待される用途や効果

マイクロ波レーダー計測と画像センサ計測を組み合わせた4次元総合解析による津波予測システムの開発



### ■ 研究テーマ: ハイテクリサーチセンター整備事業

■ 採択年度: 平成17年度

#### ■ 期待される用途や効果

微生物とオゾン分解フィルターを組み合わせた排水浄化システムを開発し、酒類製造プロセス等で発生する廃棄物浄化に活用



### ■ 研究テーマ: 次世代マイクロ/ナノ金型開発センター整備事業

■ 採択年度: 平成16年度

#### ■ 期待される用途や効果

ナノレベルの精密加工技術を開発し、自動車産業等で求められる精密金型製作に活用

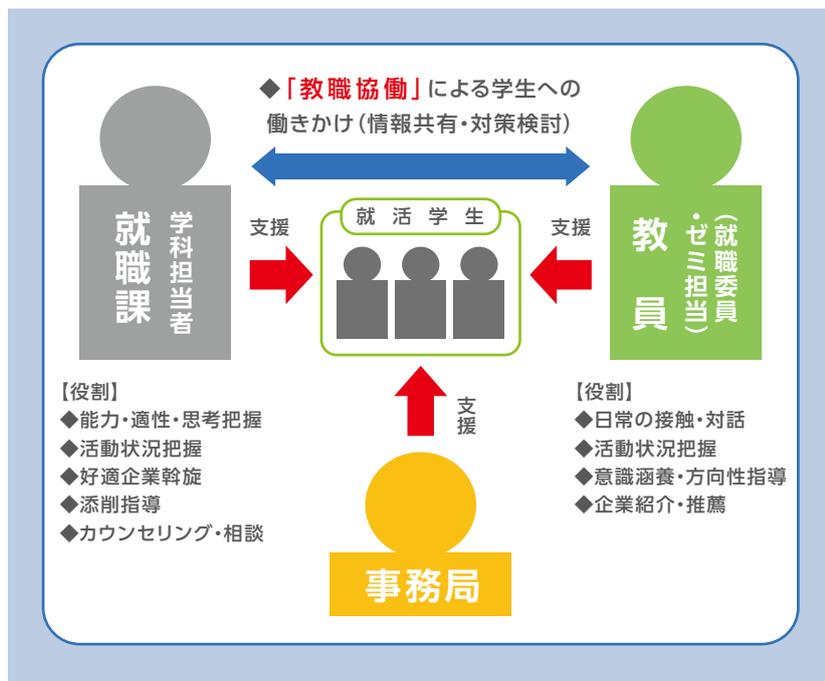


# 3. 就職支援の取組

## 「学科別の個別指導」で、初年次から就職決定までのきめ細やかに就活サポート

学科別に専属相談員を配置し、就職カウンセリング、職業適性・能力判断、企業分析、エントリーシート・履歴書指導、準備学習・面接指導等のサポートを実施しています。

### ■「個」に重点を置いた就職支援体制



### ■個別指導の様子



学科別個別指導の様子



学生一人ひとりとの面談

## 多様な就活支援プログラムですべての就活学生をサポート

上場大手企業志望学生向けのトップアップ講座の開催や就活交通費支援、保護者向けのガイダンス開催など多彩なプログラムで、学生の夢の実現を教職員全員で後押ししています。

### ■学生向け支援講座



面接対策講座や業界研究セミナー等様々な就活対策講座を実施

### ■保護者向けガイダンス



大学3年生、大学院・短大1年生の保護者を対象に就活期の保護者サポートのあり方や就職事情などをガイダンス

### ■就活交通費支援

- 青地区: 37,000円
- 緑地区: 30,000円
- 黄地区: 24,000円
- ピンク地区: 7,000円
- オレンジ地区: 20,000円

就職活動の際の交通費支援や卒業後のサポート等を実施

### ■便利なセカンドキャンパス



就職活動中の拠点として、東京・大阪・広島・福岡の4都市にセカンドキャンパスを設置

## キャリア教育型(課題解決型・業界リサーチ型等)インターンシップを積極化

正課で「インターンシップI・II」を開講し、就業に対する積極性を高めています。特に、企業や自治体等の現実的課題に取り組む「課題解決型インターンシップ」等を積極化し、学生のキャリア形成意欲を醸成しています。

### ■就業力育成プログラムのカリキュラム

	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
志向する力	キャリア形成							
共働する力	日本語表現法	コミュニケーション基礎						
解決する力			技術者倫理					
実践する力			就業実習				卒業研究	
				特定専門科目				

### ■課題解決型インターンシップ



(株)福岡情報ビジネスセンターでの実習(課題「システム開発プロジェクト」の推進)



課題解決型インターンシップ成果報告会の様子

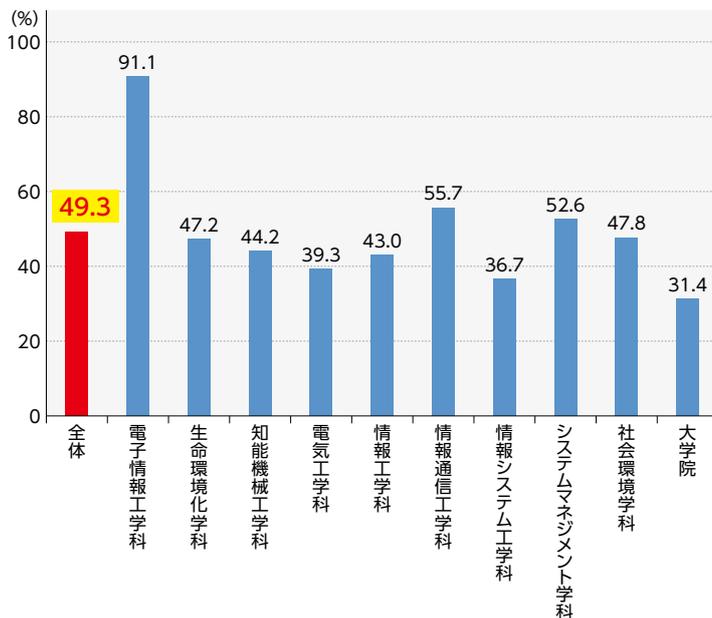


成果報告会での学生発表の様子

## 採用接続型(学生・企業マッチング型)インターンシップを積極化

企業による短期インターンシップの増加に伴い、正課外でガイダンス等を実施しています。就職活動の早期化・短期化に対応するため、積極的な参加を促しています。

### ■夏季インターンシップ参加率



### ■インターンシップフェアの様子



▶ 夏季インターンシップ参加率は49.3%(前年比11.4%向上)。そのうち84.5%の学生がインターンシップ参加企業を受験しています。

## 4. ラーニングサポートの取組

### 学修環境(グループ・個人学修、ディスカッション、調査・研究)を多様・高機能化

高度ICTを活用した先進的図書館「FIT Link」は、従来の図書館機能に加えて、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーションなど多様な学修スタイルに対応しています。

#### ■先進的図書館「FIT Link」フロア構成



FIT Link 5F  
Silent Floor

高度な調査・研究に集中するための「超静穏環境」を整備

#### FIT Link 4F Quiet Floor

パーソナルな学習環境として、「静穏」な学習空間を整備



FIT Link 3F  
Active Floor

アクティブラーニングの拡大に向けて、透明性・開放性の高い学習空間を整備

- 利用者数は、延19万人(改装前の約2倍)
- 電子図書アクセス数 延21万回(改装前の約2倍)

JDreamⅢ(科学技術振興機構)、CiNii(国立情報学研究所)、TKCローイブラリー((株)TKC)、日経テレコン21(日本経済新聞社)など、研究DBや企業DBの利用が大幅に伸びています。

#### ■グループワークエリア(3F)



授業課題・資格取得対策、コミュニケーションづくりなどに活用

#### ■クリエイティブ・ブース(3F)



高度ICT・電子メディアを操作して情報処理・編集、プレゼンテーション資料作成などに活用

### ICT教育環境(学内LAN、高機能PC、最新ソフトウェア)を高度化

IoT、AI、ビッグデータなどの新たな技術に対応するために、全学共用情報基盤設備と学内ネットワークの全面リニューアル(30年度)を行いました。学生に最新のICT教育環境を提供しています。

#### ■最新のテクノロジーを駆使した新しい教育系情報基盤システム



超高速ネットワークサーバー



最先端PC教室(B22教室)



同左(B23教室)



同左(B24教室)



クリエイティブ・ラボ



IT commons1



IT commons2



プリントステーション

30年度に最新高性能PC464台導入、講義支援機能強化、学内無線LAN増設、学生用クラウドメールサービスなどの情報環境整備を実施しました。

▶ このほか、学修支援システム(学修到達度点検評価)の改良、情報導入教育として情報セキュリティ講習(ハンドブックも作成)などを実施しました。

## 学生の知的探究心に対応し、実体験・創作活動のサポートを強化

学生のニーズに対応し、新たに4つの公募プロジェクトを加えて10プロジェクトが活動しています。学生主体のモノづくりプロジェクト活動(自主研究・創作活動・地域貢献活動等)を強力にサポートしています。

### ■モノづくりセンタープロジェクト

10プロジェクト  
学生 123名  
が登録

- ソーラーカー
- ロボットコンテスト
- ロボット相撲
- 二足歩行ロボット
- 手作りアクセサリ
- 4輪2輪メンテピット
- 新規 ●Air Hockey Robot開発
- 新規 ●レゴからくり
- 新規 ●ドロップレットジェネレーター制作
- 新規 ●臨床材料用力学的評価シミュレーション改良



4輪2輪メンテピット



2速歩行ロボット



Air Hockey Robot開発



ロボット相撲

## 学生の自己啓発意欲に対応し、スキル・キャリアアップサポート(資格取得支援)を実効化

学科独自の難関国家資格対策講座や、エクステンションセンターでの約60講座(TOEIC講座、公務員講座、IT関連講座、環境・流通系講座、SPI講座等、資格取得や就職対策等(正規課程と連携))を開講して、学生の啓発意欲に応えています。

### ■主な資格取得の状況(令和元年度)

資格・試験名	合格者数
第3種電気主任技術者	3
電気通信主任技術者(伝送交換)	1
工事担当者(AI・DD総合種)	2
水質関係第1種公害防止管理者	2
第1種電気工事士	1
第1級陸上無線技術士	12
第1級陸上特殊無線技士	25
第3級海上特殊無線技士	24
危険物取扱者甲種	2
危険物取扱者乙種4類	11
応用情報技術者試験	2
基本情報技術者試験	26
情報セキュリティマネジメント	1
情報処理安全確保支援士	1
ITパスポート	39
バイオ技術者試験中級	8
CCNA	2
CCENT	3
webクリエイター検定上級	15
Microsoft Office Specialist(Word)	96
Microsoft Office Specialist(Excel)	105
eco検定	3

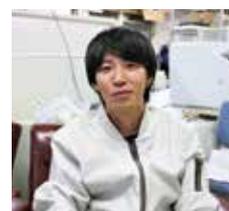
### ■エクステンションセンターの7つのメリット

- 1 学内ダブルスクールによる、時間・交通費の節約
- 2 合格実績の高い講師招聘による、確実な資格の取得
- 3 生涯学習支援の一環として、受講料は安価
- 4 エントリー資格から難関資格まで、多彩に用意
- 5 団体受験会場として、普段の授業と同じ環境で受験が可能
- 6 受験料の割引が適用可能
- 7 過去3年以内の卒業生は、在学生と同じ受講料で受講が可能

### ■第3種電気主任技術者3名合格(電気工学科)



小山智寛さん(福岡舞鶴高校)



中川原優太さん(大牟田高校)



岩崎修平さん(三養基高校)

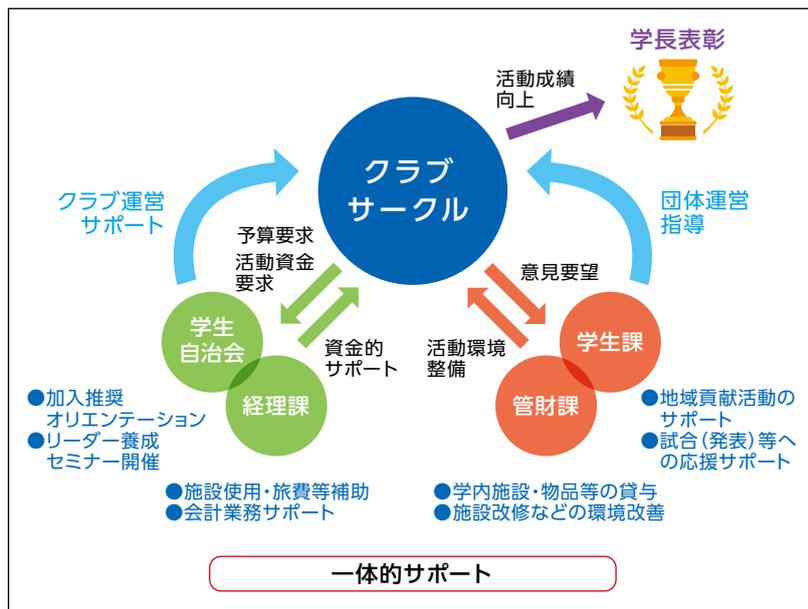
▶ 資格取得の合格実績の詳細は、P52「バックデータ集」を参照してください。

# 5.キャンパスライフサポートの取組

## クラブ・サークル活動も重要な学習の機会として、積極的にサポート

学術・文化・スポーツ活動等の課外活動も重要な学習の機会と捉え、積極的にサポートしています。学生の多様な要望を的確に把握し、活動環境の改善に努めています。

### ■クラブ・サークル活性化の枠組み



### ■クラブ・サークル表彰の様子



吹奏楽部 第67回全日本吹奏楽コンクール  
大学の部 銀賞受賞

### ■クラブ・サークルヒアリングの様子



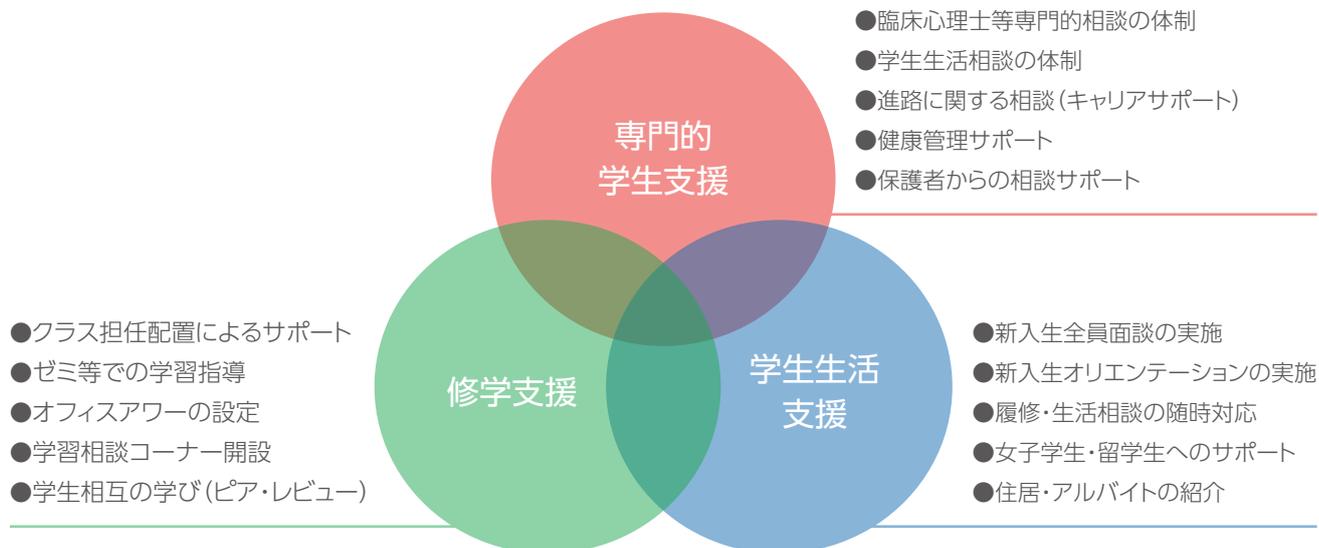
全クラブ・サークル(約60団体)のヒアリングを実施

▶ 各クラブ・サークルの加入者数(詳細)は、P52、表彰結果は、P39・40を参照。

## さまざまな悩み・不安に、親身に寄り添うカウンセリングサポート

学生生活や修学上の悩み・不安に対し助言・指導するカウンセリング制度を設けています。また、入学時健康診断や履修登録時Web健康調査等をもとに、早期の問題把握・サポートにも努めています。

### ■学生生活サポートの内容(取組例)



▶ 教職員対象の研修会等(学生相談室スタッフミーティング(週1回)、新入生全員面談事前説明会、障がい学生支援研修会など)を行い、学生対応スキルの向上を図っています。

## 学修・キャンパスライフ・就活・大学院進学を一体的にワンストップサポート

学生課、教務課、大学院事務室及び就職課を「学生サポートセンター」としてE棟に一体的に配置。学生の学修、学生生活、就職、大学院進学まで、親身なサポートを継続しています。

### ■ 学生サポートセンター（E棟）など学生生活をサポートする施設の充実



約50人の学生課、教務課、大学院事務室及び就職課スタッフが対応するサポートデスク・カウンター&コモンズ(E棟2階)



就職活動の個別指導の様子(E棟2階)



寛ぎ・コミュニケーションのためのデッキ(E棟2階学生広場)



コンビニ(セブンイレブン)を設置し充実した学生生活をサポート(B棟1階)



「デリシャス&ヘルシー」に配慮したカフェテリア(レストラン・カフェ)(C棟1階)



遊歩道&屋外カフェテラス(B棟)

▶ キャンパス全域のラーニングコモンズ化、課外教育施設のリニューアルも進め、快適性・利便性が格段に向上しました。

## 学業・スポーツ・芸術活動優秀者、経済的困窮者等を育英・サポート

学業・特技優秀者のいっそうの精励や、経済的に修学が困難な学生の支援等を目的とする奨学制度を設けています。また、国の高等教育修学支援新制度の趣旨に適う経済的なサポートも行っています。

### ■ 本学独自奨学制度

<p>1</p> <p>入試成績の上位者に対し授業料を免除 (全額もしくは半額)</p> 	<p>2</p> <p>入学後の学業優秀者に対し授業料を半額免除</p> 	<p>3</p> <p>スポーツ等の優秀者に対し授業料などを免除</p> 
<p>4</p> <p>学生表彰制度 (学術・文化・スポーツ・社会貢献・地域貢献などの分野で活躍した学生を、学長が表彰する制度)</p> 	<p>5</p> <p>海外派遣プログラムの渡航費用を一部補助</p> 	<p>6</p> <p>課外活動(クラブ、サークル)の活動費をサポート</p> 
<p>7</p> <p>経済的に修学困難な学生に対し授業料を半額免除</p> 	<p>8</p> <p>働きながら学ぶ学内ワークスタディ支援制度</p> 	<p>9</p> <p>アルバイト(学内・学外)紹介</p> 

▶ 上記とは別に、経済的理由により学費納入が困難な場合、一定の範囲で柔軟に延納・分納を認めるなど、学生・ご父母に親身に寄り添う相談・支援体制を構築しています。



上期学生表彰



下期学生表彰

〈学会表彰〉令和元年度卒業証書・学位授与者

■大学院

佐藤 拓広(工学研究科 博士後期課程 知能情報システム工学専攻、嘉穂東高校)

The 24th ISAROB 2019 Young Author Award  
日本ロボット学会ヒューマンセントリックロボティクス研究専門委員会 第11回若手研究会 優秀講演賞

CUKA MIRALDA(工学研究科 博士後期課程 知能情報システム工学専攻、アルバニア)

CISIS 2017 Best Paper Award

安部 裕人(工学研究科 修士課程 電子情報工学専攻、筑前高校)

ICEAST Best Paper Award

桑原 京華(工学研究科 修士課程 電子情報工学専攻、博多青松高校)

ICIEE2019 Best Presentation Award

中國 亮汰(工学研究科 修士課程 電子情報工学専攻、筑前高校)

電子情報通信学会九州支部学生大会 学生会講演奨励賞

佐世 美帆(工学研究科 修士課程 生命環境化学専攻、福翔高校)

AOGS2019 Best Student Poster Award

島崎 皓平(工学研究科 修士課程 知能機械工学専攻、甲南高校)

ICEAST 2019 Best Paper Award

程 恒通(工学研究科 修士課程 知能機械工学専攻、中国)

日本機械学会 三浦賞

坂野 匠(工学研究科 修士課程 電気工学専攻、香住丘高校)

電気学会 2019年電気学会優秀論文発表賞A  
電気学会 2019年電気学会九州支部長賞

平野 雅貴(工学研究科 修士課程 電気工学専攻、鳥栖高校)

第72回電気・情報関係学会九州支部連合大会  
令和元年度優秀論文発表賞B賞

山口 紘希(工学研究科 修士課程 情報工学専攻、防府高校)

ISIS 2019 & ICBAKE 2019 Best Paper Award

岩本 拓巳(工学研究科 修士課程 情報通信工学専攻、嘉穂高校)

映像情報メディア学会 放送技術研究会学生発表部門優秀賞(2019年1月)

映像情報メディア学会 優秀研究発表賞(2019年12月)

映像情報メディア学会 放送技術研究会学生発表部門優秀賞(2020年1月)

電子情報通信学会 九州支部学術奨励賞

東中 直樹(工学研究科 修士課程 情報通信工学専攻、嘉穂高校)

第26回電子情報通信学会九州支部学生会講演会 学生会講演奨励賞

白石 亮太(工学研究科 修士課程 システムマネジメント専攻、福岡工業高校)

ISIS 2019 & ICBAKE 2019 Best Presentation Award

■大学

元丸 尚士(工学部 電子情報工学科、筑紫台高校)

電子情報通信学会 九州支部 成績優秀賞

柴田 亮(工学部 電子情報工学科、城東高校)

国際会議 CPESE2019  
Best Presentation Award

高橋 直夢(工学部 生命環境化学科、福岡舞鶴高校)

表面技術協会九州支部 優秀学生賞

有吉 達哉(工学部 生命環境化学科、中津南高校)

日本金属学会・日本鉄鋼協会 九州支部長賞

坂本 遼介(工学部 生命環境化学科、博多青松高校)

日本金属学会・日本鉄鋼協会 九州支部長賞

松島 蓮(工学部 生命環境化学科、糸島高校)

九州MMIJ Outstanding Student Award

吉田 結音(工学部 知能機械工学科、鞍手高校)

日本機械学会 畠山賞

加塩 拓弘(工学部 電気工学科、川内商工高校)

電気学会 九州支部長賞

武藤 拓也(情報工学部 情報工学科、佐賀北高校)

電子情報通信学会 九州支部 成績優秀賞

小松 拓矢(情報工学部 情報通信工学科、唐津西高校)

電子情報通信学会 九州支部 成績優秀賞

藤 桜(情報工学部 情報システム工学科、博多青松高校)

電子情報通信学会 九州支部 成績優秀賞

藤原 七海(情報工学部 システムマネジメント学科、北筑高校)  
電子情報通信学会 九州支部 成績優秀賞

西村 優花(情報工学部 システムマネジメント学科、延岡高校)  
日本経営工学会優秀学生賞

## ■短大

亀山 由自(情報メディア学科、新宮高校)  
電気学会 九州支部長賞

## 〈卒業時学業成績優秀者〉

古川 貴之(工学部 電子情報工学科、高等学校卒業程度認定試験)

高橋 直夢(工学部 生命環境化学科、福岡舞鶴高校)

吉田 結音(工学部 知能機械工学科、鞍手高校)

高山 滉平(工学部 電気工学科、博多青松高校)

武藤 拓也(情報工学部 情報工学科、佐賀北高校)

徳富 洸季(情報工学部 情報通信工学科、出水中央高校)

藤 桜(情報工学部 情報システム工学科、博多青松高校)

西村 優花(情報工学部 システムマネジメント学科、延岡高校)

新山 益朗(社会環境学部 社会環境学科、武岡台高校)

## 〈学生表彰〉

### ■個人表彰(上期)

安部 裕人(工学研究科 修士課程 電子情報工学専攻、筑前高校)

国際会議THE 5TH INTERNATIONAL CONFERENCE ON ENGINEERING, APPLIED SCIENCES AND TECHNOLOGY (ICEAST2019) Best Paper Award

桑原 京華(工学研究科 修士課程 電子情報工学専攻、博多青松高校)

国際会議2020 9th International Conference on Information and Electronics Engineering (ICIEE2019) Best Presentation Award

葛島 航大(情報工学部 情報システム工学科、長崎海星高校)  
日本機械学会九州学生会第50回学生員卒業研究発表講演会 優秀講演賞

牧野 励弥(情報工学部 情報工学科、小倉南高校)  
第4回九州学生トランポリン競技選手権大会 優勝  
第54回日本学生トランポリン競技選手権大会 第4位

戸田 智稀(情報工学部 情報工学科、北九州高校)  
第4回九州学生トランポリン競技選手権大会 準優勝

### ■個人表彰(下期)

柴田 亮(工学部 電子情報工学科、城東高校)  
国際会議CPESE2019(The 6th International Conference on Power and Energy Systems Engineering) Best Presentation Award

山口 絃希(修士課程 工学研究科 情報工学専攻、防府高校)  
国際会議ISIS2019&ICBAKE2019 Best Paper Award

池尻 晃基(修士課程 工学研究科 情報システム工学専攻、朝倉高校)  
2020年日本生体医工学会九州支部学術講演会 研究奨励賞

下條 華蓮(社会環境学部 社会環境学科、城東高校)  
第33回九州学生女子柔道体重別選手権大会 63kg級第2位

大久保 智裕(情報工学部 情報システム工学科、杵築高校)  
ASO OPEN TAEKWONDO CHAMPIONSHIPS 2019 一般男子58kg級の部 第3位(テコンドー部)

## ■団体表彰(上期)

ラグビー部  
第57回木元杯 九州セブンズ 準優勝  
2019 SEOUL SEVENS RUGBY FESTIVAL 2 Place (準優勝)

女子柔道部  
第28回九州学生女子柔道優勝大会(3人制) 優勝

アイスホッケー部  
第22回福岡県学生アイスホッケー選手権大会 優勝  
第37回九州学生アイスホッケー選手権大会 準優勝

準硬式野球部  
第69回九州地区大学体育大会 第2位

吹奏楽団  
第35回福岡県吹奏楽コンクール 大学の部 金賞  
第64回九州吹奏楽コンクール 大学の部 金賞

## ■団体表彰(下期)

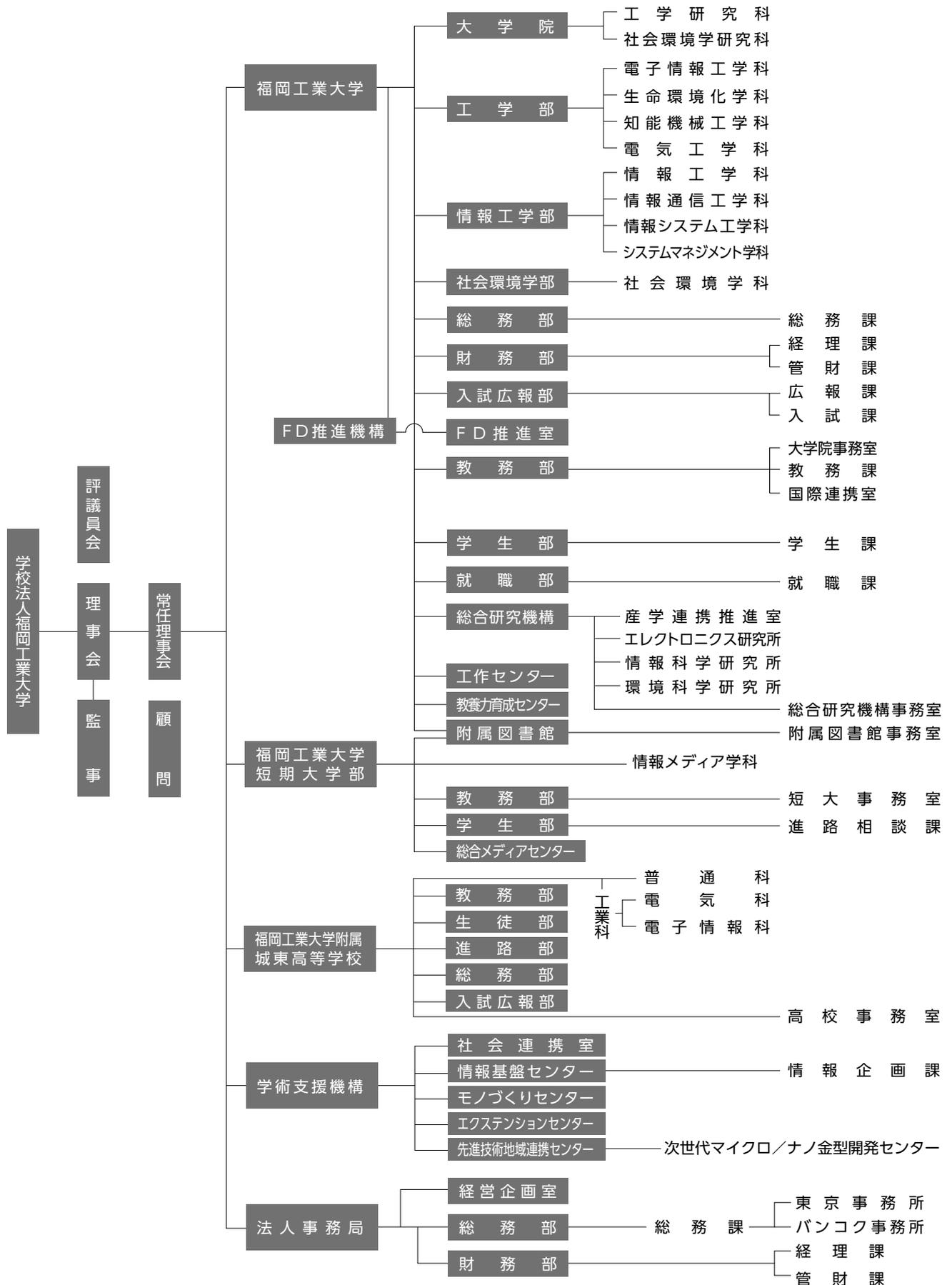
硬式野球部  
第69回九州地区大学体育大会 第2位

軟式野球部  
令和元年度九州学生軟式野球連盟春季リーグ戦 準優勝

吹奏楽団  
第67回全日本吹奏楽コンクール大学の部 銀賞  
第45回九州アンサンブルコンテスト クラリネット四重奏 金賞

タッチラグビー同好会  
タグフットボール全国大会 第4回オニオン杯 準優勝

シスマネ新宮町プロジェクト  
福岡未来創造プラットホーム 学生地域活動大賞 審査員特別賞



# 役員等の状況 令和2年4月1日現在

## ■役員一覧

職名	氏名	兼職名
理事(理事長)	鷗木 洋二	
理事(常務理事)	大谷 忠彦	
理事	下村 輝夫	大学、短期大学部学長
理事	佐伯 道彦	附属城東高等学校長
理事	山下 剛	事務局長
理事	川口 敏弘	財務部長
理事(非常勤)	江頭 公成	
理事(非常勤)	川原 正孝	
理事(非常勤)	園田 勇	
理事(非常勤)	高田 洋征	
理事(非常勤)	森 紀久雄	
理事(非常勤)	小幡 修	
監事(非常勤)	吉戒 孝	
監事(非常勤)	和志武三樹男	

職名	氏名	兼職名
最高顧問	麻生 渡	

役員区分	定数	実数	選任条項別実数※
理事	9~13	12	1号2名、2号2名、3号8名
監事	2~3	2	
評議員	19~27	25	1号4名、2号3名、3号3名、4号15名

※1号理事：学長・校長、同2号：評議員、同3号：学識経験者  
1号評議員：学長・校長、同2号：卒業生、同3号：父母、同4号：学識経験者

## ■部科長一覧

職名	氏名
工学部長	村山 理一
情報工学部長	前田 洋
社会環境学部長	藤井 洋次
工学研究科長	徳安 達士
社会環境学研究科長	松藤 賢二郎
教務部長	藤岡 寛之
学生部長	中川 智治
就職部長	中川 智治
附属図書館長	三田 肇
情報基盤センター長	利光 和彦
モノづくりセンター長	数仲 馬恋典
エクステンションセンター長	利光 和彦
総合研究機構長	朱 世杰
入試広報部長	宋 宇
教養力育成センター長	土屋 麻衣子

職名	氏名
電子情報工学科長	松本 裕二
生命環境化学科長	桑原 順子
知能機械工学科長	廣田 健治
電気工学科長	松尾 敬二
情報工学科長	種田 和正
情報通信工学科長	山元 規靖
情報システム工学科長	森園 哲也
システムマネジメント学科長	田嶋 拓也
社会環境学科長	鄭 雨宗
エレクトロニクス研究所長	田中 秀司
情報科学研究所長	福本 誠
環境科学研究所長	森山 聡之
産学連携推進室長	朱 世杰

# 教職員数 令和2年5月1日現在

## ■教員数

学校名	福岡工業大学												福岡工業大学短期大学部					
	合計			工学部			情報工学部			社会環境学部			合計			情報メディア学科		
学部・学科名	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
男女別	74	3	77	30	1	31	29	1	30	15	1	16	6	1	7	6	1	7
教授	74	3	77	30	1	31	29	1	30	15	1	16	6	1	7	6	1	7
准教授	32	5	37	12	2	14	16	0	16	4	3	7	4	1	5	4	1	5
講師	3	0	3	0	0	0	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
助教	17	7	24	10	3	13	5	2	7	2	2	4	2	0	2	2	0	2
合計	126	15	141	52	6	58	53	3	56	21	6	27	12	2	14	12	2	14

## ■職員数

学校名	福岡工業大学			福岡工業大学短期大学部		
男女別	男	女	計	男	女	計
専任職員	64	13	77	1	2	3
特定・嘱託・契約職員	10	46	56	0	4	4
派遣職員	1	9	10	0	0	0
合計	75	68	143	1	6	7

## ■年齢区分別 教員数

学校名	福岡工業大学												福岡工業大学短期大学部					
	合計			工学部			情報工学部			社会環境学部			合計			情報メディア学科		
学部・学科名	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
男女別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1
29歳以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1
30歳~39歳	25	4	29	10	1	11	10	2	12	5	1	6	2	0	2	2	0	2
40歳~49歳	39	10	49	16	5	21	17	0	17	6	5	11	2	0	2	2	0	2
50歳~59歳	45	1	46	17	0	17	21	1	22	7	0	7	5	2	7	5	2	7
60歳~69歳	16	0	16	8	0	8	5	0	5	3	0	3	2	0	2	2	0	2
70歳以上	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	126	15	141	52	6	58	53	3	56	21	6	27	12	2	14	12	2	14

## ■専任教員・非常勤教員比率

学校名	福岡工業大学												福岡工業大学短期大学部					
	合計			工学部			情報工学部			社会環境学部			合計			情報メディア学科		
学部・学科名	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
専任教員	126	15	141	52	6	58	53	3	56	21	6	27	12	2	14	12	2	14
(比率・%)	52.7%	32.6%	49.5%	45.2%	30.0%	43.0%	59.6%	21.4%	54.4%	60.0%	50.0%	57.4%	50.0%	33.3%	46.7%	50.0%	33.3%	46.7%
非常勤教員	113	31	144	63	14	77	36	11	47	14	6	20	12	4	16	12	4	16
(比率・%)	47.3%	67.4%	50.5%	54.8%	70.0%	57.0%	40.4%	78.6%	45.6%	40.0%	50.0%	42.6%	50.0%	66.7%	53.3%	50.0%	66.7%	53.3%
合計	239	46	285	115	20	135	89	14	103	35	12	47	24	6	30	24	6	30
(比率・%)	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

# 設置学部・学科/専攻概要 令和2年4月1日現在

設置校	学部・研究科名	学科名	設置コース	教育研究上の目的	
大学	工学部	電子情報工学科		現代社会において、科学技術者は、科学技術への貢献はもとより、社会人として自立し、広い視野に立ち柔軟な発想を行えることが求められている。本学科は、電子技術と情報技術が融合した技術分野において、このような要請に応えることができる実践型の人材の養成を目的とする。	
		生命環境化学学科	生命環境化学基盤コース 生命環境化学アドバンスコース	地球の様々な環境問題が深刻化する今日、環境の管理、保全、改善と修復の基本理念を理解し、物理・化学的、及び生物学的アプローチ等の多様な先端技術を用いて、問題を解決する能力を持つ自立した物質系・生物系技術者の人材の養成を目的とする。	
		知能機械工学科		情報技術と生産技術を融合した知能機械が主流となった機械分野において、基礎及び専門技術に関する知識と応用力を身につけるとともに、それらを駆使したデザイン能力とコミュニケーション能力を有し、技術者倫理をもってグローバルな活躍ができる人材の養成を目的とする。	
		電気工学科		日々進歩する電気・電子・情報工学の技術を理解し、習得するための素養と専門知識及び技術を身につけ、国際感覚と倫理観を有するとともに、地域産業のニーズも理解し、地域的また国際的連携の両方を意識して活躍できるグローバルな技術人材の養成を目的とする。	
	情報工学部	情報工学科		コンピュータのソフトウェア・ハードウェアの基礎及び応用を教授研究し、プログラミングに習熟させるとともに、インターネットや人工知能、知能ロボット、自然言語処理、画像処理、データベース、マルチメディア、CG、システムLSIなどの最先端のコンピュータ技術・応用技術を持つ専門的職業人及び教育研究者の人材の養成を目的とする。	
		情報通信工学科		今日の情報通信関連技術は、あらゆる産業分野における基幹技術としての影響力を持つようになり、社会生活の中に深く関係している。このように情報通信工学の裾野が限りなく広がり、技術的な可能性が満ち溢れる世界で、独創性を発揮し、多様化する先端技術を開拓できる技術者及び情報通信関連分野の研究能力を有する人材の養成を目的とする。	
		情報システム工学科		今日まで発展を遂げてきた情報技術が社会的基盤となり、人々の暮らしを支える情報システムのサービス形態は、変化・適用・深化を繰り返しながらこれからも発展し続けていくことが予想される。本学科では、情報技術、ロボット制御、生体システムを柱とする実践的教育を展開し、技術者倫理、コミュニケーション能力、エンジニアリングデザイン能力を身につけることで、社会の持続的発展に不可欠な情報システムの設計・開発・運用に携わる技術者の養成を目的とする。	
		システムマネジメント学科		高度に情報化、国際化が進む現代社会において、企業の生産管理技術と情報管理技術について、経営、生産、メディアの観点から基礎的な素養を身につける教育を行い、それらの知識に裏付けされた人間哲学に基づいてシステムのマネジメントを行える人材の養成を目的とする。	
	社会環境学部	社会環境学科	経営コース 地域コース	環境に関わる諸問題に関して主として社会科学の立場からアプローチし、社会の仕組みを理解した上で、環境調和型の社会実現に貢献することのできる実践型の人材の養成を目的とする。	
	大学院	工学研究科	物質生産システム工学専攻 (博士後期課程)		物質生産システム工学専攻は、電子物性工学、機能材料応用工学、エネルギーシステム工学及び設計生産システム工学分野において研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力及びその基盤となる豊かな学識を養う。
			知能情報システム工学専攻 (博士後期課程)		知能情報システム工学専攻は、知能情報工学、情報伝送工学、知的メディア工学及び情報制御システム工学分野において研究者として自立して研究活動を行い、又はその高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力及びその基盤となる豊かな学識を養う。
電子情報工学専攻				現代社会は、コンピュータを先頭とした電子情報技術が著しく発達し、広く普及している社会である。本専攻では、広い視野に立って、電子情報工学の理論及び応用を教授、研究し、高度な専門知識を背景に、独創的な研究開発能力を身につけた技術者を養成することを目的とする。	
生命環境化学専攻				本学の建学の綱領に基づき、学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥をきわめ、科学技術や社会の進歩向上に寄与する人材を育成することを目的とする。具体的に本専攻では、広い視野に立って精深な学識を授け、物質工学及び生物工学を中心とした専攻分野における研究能力又はこれに加えて高度の専門性が求められる職業を担うための卓越した能力を培うことを目的とする。	
知能機械工学専攻				機械工学は、ナノ・マイクロテクノロジーから巨大システムまで基盤となる技術を開拓していく学問分野です。機械工学はそれ自身の高度化、先進化及び微細化とともに電子情報技術の飛躍的な発達により機械の知能化が進んでいます。本専攻では機械工学の基礎分野の知識を十分修得した上で、さらに発展・進化させるための独創的な研究・開発能力を養成することを目的とする。	
電気工学専攻				本専攻は電気系工学・技術の分野において活躍できる、高度の問題解決能力と研究開発能力を備えた技術者を育成することを教育の目的とする。このため工学部電気系学科修了程度の基礎知識を有する学生を対象に、進歩を続ける技術に長期的に対応して行けるよう電気関連主要分野の深い基礎理論を講究するとともに、並行してこの分野の先端的な研究テーマについての研究に取り組みさせ創造的対応能力を培う。	
情報工学専攻				人工知能や集積回路、マルチメディアや画像処理、データベースやソフトウェア開発などの情報工学分野で高度な専門知識や技術を修得するとともに、さらに発展・進化させるための独創的な研究・開発能力を養成することを目的とする。	
情報通信工学専攻				携帯電話や無線 LAN、光ファイバ伝送などの情報伝送技術やインターネットなどの情報ネットワークの分野で高度な専門知識や技術を修得するとともに、さらに発展・進化させるための独創的な研究・開発能力を養成することを目的とする。	
情報システム工学専攻				情報システム工学専攻は、少子高齢化社会で求められる様々な情報システムの設計・開発・運用に携わる技術者として求められる高度な学識と研究方法を習得し、情報社会の発展に役立つ研究課題を自ら探求して解決する能力を備えた人材の育成を目的とする。	
システムマネジメント専攻				システムマネジメント専攻は、経営、生産、情報メディアシステムに対して調査・分析・設計・評価に必要な工学的な諸手法について教授し、これらのシステムから得られる情報を有効に利用してシステムを構築・解析・最適化する能力を備えた人材の育成を目的に、教育研究を行う。	
社会環境学 研究科		社会環境学専攻		環境に関わる諸問題に関して主として社会科学及び人文科学の立場からアプローチし、個人・企業・社会全体の仕組みを研究する能力を醸成した上で、環境調和型の社会実現に貢献することのできる高度な専門性が求められる職業を担うための能力を培うことを目的とする。	
短期大学部		情報メディア学科		情報メディア学科は、情報教育を中心とした教育プログラムにより、高度にIT化された社会における即戦力となる情報活用能力を身につけた人材の育成に加え、社会の構成員として力強く生きていくためのリテラシーを身につけた人材を養成することを目的とする。	

資格について ●/所定の単位取得により、在学中または卒業と同時に取得できる資格  
 ●/所定の単位取得により、実務経験を経て取得  
 ○/指定科目の単位を取得すると、資格試験の一部が免除  
 □/全学的に支援・支援講座を行っている資格 (エクステンションセンター主催)  
 ■/各学科で支援・支援講座を行っている資格  
 ☆/国家資格

教員構成(人)※	取得可能学位	取得可能な教員免許	取得支援を実施している資格※
教授 9 准教授 1 助教 4	学士 (工学)	高等学校教諭一種免許状(工業)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■/□/☆基本情報技術者試験</li> <li>■/☆第一級陸上特殊無線技士</li> <li>■/☆第一級陸上無線技術士</li> <li>■/☆ITパスポート</li> </ul>
教授 8 准教授 5 助教 1		高等学校教諭一種免許状(工業、理科) 中学校教諭一種免許状(理科)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○/☆食品衛生管理者、食品衛生監視員</li> <li>○/☆毒物劇物取扱責任者</li> <li>■/☆公害防止管理者(水質)</li> <li>■/☆危険物取扱者(甲・乙)</li> <li>■/☆環境計量士</li> <li>■/☆ITパスポート</li> <li>■環境測定分析士</li> <li>■バイオ技術者認定</li> <li>■eco検定(環境社会検定試験)</li> <li>□/☆基本情報技術者試験</li> </ul>
教授 7 准教授 5 助教 4		高等学校教諭一種免許状(工業)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎修習技術者(→技術士補)</li> <li>■/☆機械保全技能検定</li> <li>■/☆ITパスポート</li> <li>■CAD利用技術者</li> <li>■機械設計技術者</li> <li>□/☆基本情報技術者試験</li> <li>□TOEIC L&amp;R</li> <li>□MOS (Microsoft Office Specialist)</li> </ul>
教授 6 准教授 3 助教 3		高等学校教諭一種免許状(工業)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●/■/☆電気主任技術者(第1種、第2種、第3種)</li> <li>■/☆電気工事士</li> <li>■/☆ITパスポート</li> <li>□/☆基本情報技術者試験</li> </ul>
教授 7 准教授 8 講師 1 助教 2	学士 (情報工学)	高等学校教諭一種免許状(数学、情報) 中学校教諭一種免許状(数学)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■/□/☆基本情報技術者試験</li> <li>■/☆ITパスポート</li> <li>■/☆情報セキュリティマネジメント</li> <li>■LPIC (Linux技術者認定試験)</li> <li>■CCNA (Cisco Certified Network Associate)</li> <li>□TOEIC L&amp;R</li> <li>□MOS (Microsoft Office Specialist)</li> <li>□Webクリエイター能力認定試験</li> </ul>
教授 12 准教授 2		高等学校教諭一種免許状(数学、情報) 中学校教諭一種免許状(数学)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○/☆第一級陸上特殊無線技士</li> <li>○/☆海上特殊無線技士(第二級、第三級)</li> <li>○/■/☆第一級陸上無線技術士</li> <li>○/■/☆電気通信主任技術者(伝送交換主任技術者、線路主任技術者)</li> <li>■/□/☆基本情報技術者試験</li> <li>■/□/☆情報セキュリティマネジメント</li> <li>■/☆ITパスポート</li> <li>■LPIC (Linux技術者認定試験)</li> <li>■CCNA (Cisco Certified Network Associate)</li> <li>□TOEIC L&amp;R</li> <li>□MOS (Microsoft Office Specialist)</li> <li>□Webクリエイター能力認定試験</li> </ul>
教授 6 准教授 3 講師 2 助教 3		高等学校教諭一種免許状(数学、情報) 中学校教諭一種免許状(数学)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎修習技術者(→技術士補)</li> <li>■/□/☆基本情報技術者試験</li> <li>■/☆ITパスポート</li> <li>■LPIC (Linux技術者認定試験)</li> <li>■CCNA (Cisco Certified Network Associate)</li> <li>■/□MOS (Microsoft Office Specialist)</li> <li>□TOEIC L&amp;R</li> <li>□Webクリエイター能力認定試験</li> </ul>
教授 5 准教授 3 助教 2		高等学校教諭一種免許状(数学、情報) 中学校教諭一種免許状(数学)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■/□/☆基本情報技術者試験</li> <li>■/☆ITパスポート</li> <li>■LPIC (Linux技術者認定試験)</li> <li>■CCNA (Cisco Certified Network Associate)</li> <li>■CGクリエイター検定</li> <li>■DTPエキスパート</li> <li>□/□MOS (Microsoft Office Specialist)</li> <li>□TOEIC L&amp;R</li> <li>□Webクリエイター能力認定試験</li> <li>□日商簿記検定2級・3級</li> <li>□リテールマーケティング(販売士)検定2級</li> </ul>
教授 16 准教授 7 助教 4	学士 (社会環境学)	高等学校教諭一種免許状(公民) 中学校教諭一種免許状(社会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■/□/☆基本情報技術者試験</li> <li>■eco検定(環境社会検定試験)</li> <li>■環境管理士</li> <li>■ヒートアップ管理士</li> <li>■3R-低炭素社会検定</li> <li>■/□MOS (Microsoft Office Specialist)</li> <li>■/□日商簿記検定2級・3級</li> <li>■/□リテールマーケティング(販売士)検定2級</li> <li>□/☆基本情報技術者試験</li> <li>□TOEIC L&amp;R</li> <li>□Webクリエイター能力認定試験</li> </ul>
教授 19 准教授 3	博士 (工学)		
教授 20 准教授 3			
教授 9 准教授 1 助教 3	修士 (工学)	高等学校教諭専修免許状(工業)	
教授 8 准教授 5 助教 1		高等学校教諭専修免許状(理科) 中学校教諭専修免許状(理科)	
教授 7 准教授 3 助教 4		高等学校教諭専修免許状(工業)	
教授 6 准教授 3 助教 2		高等学校教諭専修免許状(工業)	
教授 6 准教授 7 助教 1		高等学校教諭専修免許状(数学) 中学校教諭専修免許状(数学)	
教授 12 准教授 2		高等学校教諭専修免許状(数学) 中学校教諭専修免許状(数学)	
教授 6 准教授 3 講師 1 助教 3		高等学校教諭専修免許状(情報)	
教授 5 准教授 3 助教 2		高等学校教諭専修免許状(情報)	
教授 8 准教授 3 助教 1	修士 (社会環境学)		
教授 7 准教授 5 助教 2	短期大学士 (情報工学)		<ul style="list-style-type: none"> <li>■/☆基本情報技術者試験</li> <li>■/☆応用情報技術者試験</li> <li>■/☆ITパスポート</li> <li>■秘書技能検定</li> <li>■日商PC検定</li> <li>■建築CAD検定</li> <li>■CAD利用者技術者試験</li> <li>■TOEIC</li> <li>■実用英語技能検定</li> <li>■色彩検定</li> <li>■診療報酬請求事務能力認定試験</li> <li>■CGエンジニア検定</li> <li>■マルチメディア検定</li> <li>■日本漢字能力検定</li> <li>■日商簿記検定</li> <li>■全国経理教育協会簿記検定</li> <li>■福祉住環境コーディネータ</li> <li>■CGクリエイター検定</li> <li>■Webデザイナー検定</li> <li>■リテールマーケティング検定2級</li> </ul>

# 令和元年度学位授与数

## ■学士・短期大学士授与数

学部等名	授与数
工学部	343
情報工学部	366
社会環境学部	164
短期大学部	186

## ■博士・修士授与数

研究科名	修士授与数	博士授与数
工学研究科	43	3
社会環境学研究科	3	-

## ■JABEEコース修了者数

コース名	修了者数
知能機械工学科	84
情報システム技術コース (情報システム工学科)	14

# 学生数 令和2年5月1日現在

## ■大学、短期大学部在籍学生数

学部	学科	令和元年度							令和2年度		
		定員	現員	定員充足率	留年者数	留年率	退学・除籍者数	中退率	定員	現員	定員充足率
工学部	電子情報工学	360	449	1.25	68	15.1%	25	5.6%	360	432	1.20
	生命環境化学	360	416	1.16	37	8.9%	19	4.6%	360	399	1.11
	知能機械工学	440	496	1.13	59	11.9%	19	3.8%	440	512	1.16
	電気工学	360	383	1.06	50	13.1%	17	4.4%	360	396	1.10
	合計	1,520	1,744	1.15	214	12.3%	80	4.6%	1,520	1,739	1.14
情報工学部	情報工学科	520	612	1.18	25	4.1%	9	1.5%	520	627	1.21
	情報通信工学科	360	390	1.08	28	7.2%	15	3.8%	360	403	1.12
	情報システム工学科	360	424	1.18	27	6.4%	16	3.8%	360	414	1.15
	システムマネジメント学科	260	300	1.15	18	6.0%	13	4.3%	260	298	1.15
	合計	1,500	1,726	1.15	98	5.7%	53	3.1%	1,500	1,742	1.16
社会環境学部	社会環境学科	700	750	1.07	40	5.3%	22	2.9%	700	741	1.06
	福岡工業大学合計	3,720	4,220	1.13	352	8.3%	155	3.7%	3,720	4,222	1.13
大学院	工学研究科(修士)	128	128	1.00	5	3.9%	2	1.6%	128	140	1.09
	工学研究科(博士)	12	14	1.17	2	14.3%	0	0.0%	12	14	1.17
	社会環境学研究科	12	9	0.75	2	22.2%	0	0.0%	12	8	0.67
	合計	152	151	0.99	9	6.0%	2	1.3%	152	162	1.07
	福岡工業大学・大学院合計	3,872	4,371	1.13	361	8.3%	157	3.6%	3,872	4,384	1.13
短期大学部	情報メディア学科(H2.4月新設)	-	-	-	-	-	-	-	160	183	1.14
	情報メディア学科	210	265	1.26	13	4.9%	12	4.5%	105	130	1.24
	ビジネス情報学科	110	128	1.16	6	4.7%	5	3.9%	55	60	1.09
	福岡工業大学短期大学部合計	320	393	1.23	19	4.8%	17	4.3%	320	373	1.17

## ■高等学校在籍生徒数

課程	令和元年度			令和2年度		
	定員	現員	定員充足率	定員	現員	定員充足率
普通科	1,050	1,366	1.30	1,050	1,350	1.29
電気科	300	254	0.85	300	237	0.79
電子情報科	300	358	1.19	300	405	1.35
福岡工業大学附属城東高等学校合計	1,650	1,978	1.20	1,650	1,992	1.21

## ■国別留学生数

	令和元年度									令和2年度								
	合計	中国	タイ	韓国	ベトナム	トンガ	アルバニア	ネパール	マレーシア	合計	中国	タイ	韓国	ベトナム	トンガ	アルバニア	ネパール	マレーシア
大学	17	10	1	1	3	2	0	0	0	14	7	1	2	3	1	0	0	0
短期大学部	4	0	0	2	1	0	0	0	1	4	1	0	2	0	0	0	1	0
大学院	52	33	16	1	0	0	2	0	0	54	42	9	1	0	0	2	0	0
研究生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	3	1	1	0	0	0	0	0
科目等履修生	7	1	3	3	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
合計	80	44	20	7	4	2	2	0	1	78	53	12	6	3	1	2	1	0

# 令和2年度入試状況

## ■大学

学部	学科	定員	スペシャルスキル			推薦※1			一般(3教科型)※2			一般(センター試験利用)※3			留学生			合計		
			志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者
工学部	電子情報工学科	90	2	2	2	75	45	40	355	177	43	1,143	289	10	0	0	0	1,575	513	95
	生命環境化学科	90	0	0	0	58	45	42	359	141	28	856	346	27	1	1	0	1,274	533	97
	知能機械工学科	110	0	0	0	96	60	54	428	211	56	1,015	332	15	3	0	0	1,542	603	125
	電気工学科	90	1	1	1	72	57	48	302	155	36	936	345	19	3	3	0	1,314	561	104
	学部合計	380	3	3	3	301	207	184	1,444	684	163	3,950	1,312	71	7	4	0	5,705	2,210	421
情報工学部	情報工学科	130	4	4	4	137	65	62	505	191	66	1,296	273	25	3	0	0	1,945	533	157
	情報通信工学科	90	1	1	1	71	48	41	204	96	56	997	256	6	1	1	1	1,274	402	105
	情報システム工学科	90	1	1	1	73	41	38	400	126	41	1,129	290	12	3	1	1	1,606	459	93
	システムマネジメント学科	65	3	3	3	57	39	34	94	32	9	789	278	25	0	0	0	943	352	71
	学部合計	375	9	9	9	338	193	175	1,203	445	172	4,211	1,097	68	7	2	2	5,768	1,746	426
社会環境学部	社会環境学科	160	38	37	37	97	71	69	224	105	54	750	194	14	3	1	0	1,112	408	174
合計		915	50	49	49	736	471	428	2,871	1,234	389	8,911	2,603	153	17	7	2	12,585	4,364	1,021

※1 専願制(前期・後期)、公募制入試の合計 ※2 追加募集分を含む ※3 前期、中期、後期及びそれらの追加募集分の合計。社会環境学部はセンター併願型入試を含む。

## ■大学(編入学)

学部	学科	定員※	志願者	合格者	入学者
工学部	電子情報工学科	-	0	0	0
	生命環境化学科	-	0	0	0
	知能機械工学科	-	0	0	0
	電気工学科	-	0	0	0
	学部合計	-	0	0	0
情報工学部	情報工学科	-	24	8	6
	情報通信工学科	-	2	0	0
	情報システム工学科	-	4	3	3
	システムマネジメント学科	-	14	4	4
	学部合計	-	44	15	13
社会環境学部	社会環境学科	30	14	7	7
合計		-	58	22	20

※工学部、情報工学部の定員は「若干名」

## ■大学院

研究科	専攻	定員	一般※1			協定校※2			外国人※3			合計		
			志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者
工学研究科	電子情報工学専攻	8	8	8	6	5	5	4	1	0	0	14	13	10
	生命環境科学専攻	8	7	7	6	0	0	0	1	1	1	8	8	7
	知能機械工学専攻	8	8	8	8	3	3	3	0	0	0	11	11	11
	電気工学専攻	8	5	5	5	3	3	3	0	0	0	8	8	8
	情報工学専攻	10	7	7	6	2	2	2	0	0	0	9	9	8
	情報通信工学専攻	8	8	8	8	1	1	1	0	0	0	9	9	9
	情報システム工学専攻	8	7	7	7	0	0	0	0	0	0	7	7	7
	システムマネジメント専攻	6	4	4	4	3	3	3	0	0	0	7	7	7
工学研究科合計		64	54	54	50	17	17	16	2	1	1	73	72	67
社会環境学研究科	社会環境学専攻	6	0	0	0	2	2	2	6	5	3	8	7	5
修士課程合計		70	54	54	50	19	19	18	8	6	4	81	79	72
工学研究科(博士後期課程)	物質生産システム工学専攻	2	1	1	1	0	0	0	1	1	1	2	2	2
	知能情報システム工学専攻	2	0	0	0	0	0	0	2	2	2	2	2	2
博士後期課程合計		4	1	1	1	0	0	0	3	3	3	4	4	4

※1 推薦入試、一次・二次入試の合計 ※2 キングモンクット工科大学(タイ)、南京理工大学(中国)、青島科技大学(中国) ※3 一次・二次入試の合計

## ■短期大学部

学科	定員	推薦※1			自己推薦			一般※2			一般(センター試験利用)※3			留学生			合計		
		志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者
情報メディア学科	160	107	87	84	23	11	10	236	132	70	193	78	17	4	2	2	563	310	183
合計	160	107	87	84	23	11	10	236	132	70	193	78	17	4	2	2	563	310	183

※1 専願制、公募制推薦入試の合計 ※2 一期、二期入試の合計 ※3 前期・後期入試の合計

令和2年度県別・学部・男女別入学者一覧表 令和2年5月1日現在

地区	学部名 都道府県名	大学合計			工学部			情報工学部			社会環境学部			短期大学合計			情報メディア学科		
		男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計
北海道・東北	北海道	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	青森県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	岩手県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	宮城県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	秋田県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	山形県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	福島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北関東・南関東	茨城県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	栃木県	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	1	1	0	1
	群馬県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	埼玉県	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
	千葉県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	東京都	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	神奈川県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北陸・甲信越	新潟県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	富山県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	石川県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	福井県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	山梨県	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
	長野県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東海	岐阜県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	静岡県	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
	愛知県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	三重県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	滋賀県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
近畿	京都府	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	大阪府	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1
	兵庫県	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	奈良県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	和歌山県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1
	鳥取県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中国	島根県	2	1	3	0	0	0	0	1	1	2	0	2	0	0	0	0	0	0
	岡山県	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
	広島県	4	1	5	2	0	2	2	0	2	0	1	1	0	1	1	0	1	1
	山口県	22	6	28	15	3	18	7	1	8	0	2	2	4	3	7	4	3	7
	徳島県	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
四国	香川県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	愛媛県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	高知県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	福岡県	583	93	676	244	29	273	255	40	295	84	24	108	102	23	125	102	23	125
九州	佐賀県	64	7	71	30	5	35	25	2	27	9	0	9	6	4	10	6	4	10
	長崎県	71	5	76	30	1	31	29	4	33	12	0	12	9	3	12	9	3	12
	熊本県	31	1	32	10	1	11	12	0	12	9	0	9	1	1	2	1	1	2
	大分県	39	3	42	18	0	18	13	1	14	8	2	10	3	1	4	3	1	4
	宮崎県	19	1	20	6	1	7	9	0	9	4	0	4	2	1	3	2	1	3
	鹿児島県	40	6	46	17	3	20	13	3	16	10	0	10	7	3	10	7	3	10
	沖縄県	5	3	8	4	0	4	1	2	3	0	1	1	2	0	2	2	0	2
	その他 (外国卒・検定等)	5	0	5	0	0	0	4	0	4	1	0	1	4	0	4	4	0	4
合計	891	130	1,021	377	44	421	370	56	426	144	30	174	142	41	183	142	41	183	

# 令和元年度進路状況 令和2年3月卒業生

## ■大学

		(単位:名)					
学部名	学科名	卒業生数 ※1	就職希望者数	就職内定者数	大学院進学者数	就職率 ※2	実就職率 ※3
工学部	電子情報	86	77	77	8	100%	98.7%
	生命環境	94	85	85	6	100%	96.6%
	知能機械	90	82	82	8	100%	100%
	電気	73	68	68	3	100%	97.1%
	学部合計	343	312	312	25	100%	98.1%
情報工学部	情報	139	130	130	6	100%	97.7%
	情報通信	76	67	67	8	100%	98.5%
	情報システム	89	76	76	9	100%	95.0%
	システムマネジメント	62	58	58	2	100%	96.7%
	学部合計	366	331	331	25	100%	97.1%
社会環境学部	社会環境	164	157	156	0	99.4%	95.1%
大学合計		873	800	799	50	99.9%	97.1%

※1 前期卒業生を除く ※2 就職率=就職内定者数/就職希望者数 ※3 実就職率=就職内定者数/(卒業生数-大学院進学者数)

## ■大学院修士課程

		(単位:名)				
専攻名	修了者数	就職希望者数	就職内定者数	進学者数	就職率	実就職率
電子情報	8	7	7	0	100%	87.5%
生命環境	7	6	6	1	100%	100%
知能機械	5	5	5	0	100%	100%
電気	8	8	8	0	100%	100%
情報	7	7	7	0	100%	100%
情報通信	3	3	3	0	100%	100%
情報システム	4	4	4	0	100%	100%
システムマネジメント	1	1	1	0	100%	100%
社会環境	3	1	1	1	100%	50.0%
大学院合計	46	42	42	2	100%	95.5%

※前期卒業生を除く

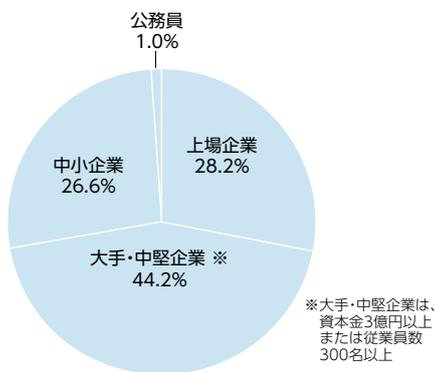
## ■短期大学部

		(単位:名)				
学科名	卒業生数	就職希望者数	就職内定者数	進学者数	就職率	実就職率
情報メディア	125	60	59	55	98.3%	84.3%
ビジネス情報	56	41	41	14	100%	97.6%
短大合計	181	101	100	69	99.0%	89.3%

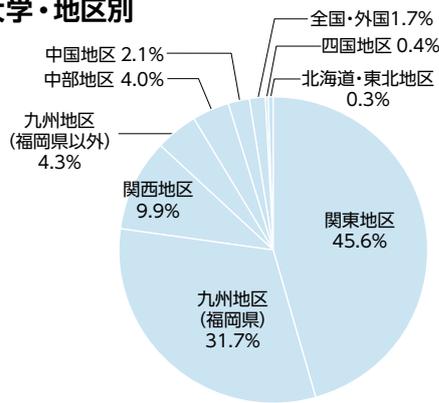
# 主要就職先 令和2年3月卒業生

(企業等名:敬称略・順不同)

## ■大学・企業規模別

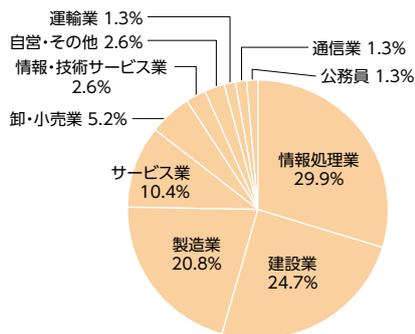


## ■大学・地区別



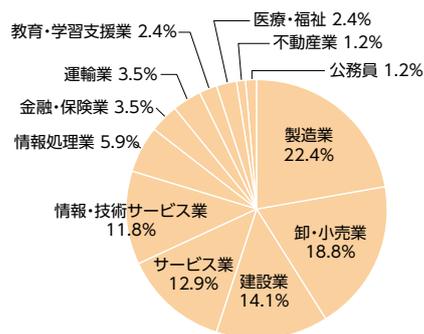
## 電子情報工学科

㈱アイチコーポレーション/共同エンジニアリング㈱/㈱協和エクシオ/日本ケミコン㈱/日本無線㈱/曙ブレーキ工業㈱/リンテック㈱/NECネットエスアイ㈱/日本プロセス㈱/ヤマト運輸㈱/WDB工学㈱/㈱アルファシステムズ/㈱きんでん/マツダ㈱/㈱日立産業制御ソリューションズ/マルゼン工業㈱/㈱SIDインターテック/ロジール/㈱インテックソリューションパワー/セントラルソフト㈱/㈱ソフト開発/㈱ユニバーサルコムコンピューターシステム/㈱日立社会情報サービス/京セラコミュニケーションシステム㈱/新日本レイキ㈱/ヤンマー建機㈱/㈱アットアイパス/㈱エム・ワン/エンタープライズ/西肥情報サービス㈱/サンケンフォーキャスト㈱/Gcomホールディングス㈱/㈱ニシコン/西日本アークシステム㈱/アイティスペース㈱/㈱スリーエー・システム/警察庁九州管区警察局 など



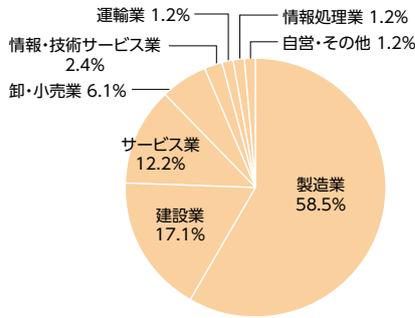
## 生命環境化学科

山九㈱/日鉄テックスエンジ㈱/山崎製パン㈱/㈱ダイショー/㈱エーピーシー・マート/㈱エイブル/㈱メガネトップ/パーソルR&D㈱/新晃工業㈱/くら寿司㈱/五洋食品産業㈱/西日本鉄道㈱/ロイヤルホールディングス㈱/西日本シティ銀行㈱/福岡銀行/㈱ウチヤマホールディングス(㈱さわやか倶楽部)山九プラントテック/日鉄防食㈱/㈱セイシン企業/㈱コガネイ/プリヂストンタイヤジャパン㈱/新日本塾学㈱/千代田計装㈱/日本エコライフ㈱/吉川工業㈱/相光石油㈱/醗酵産業㈱/㈱アステックペイントジャパン/㈱アステム/㈱九州フジパン/富士ゼロックス福岡㈱/室町ケミカル㈱/㈱ミゾタ/楽天銀行/筑後市消防本部/佐賀県公立学校教員(中学) など



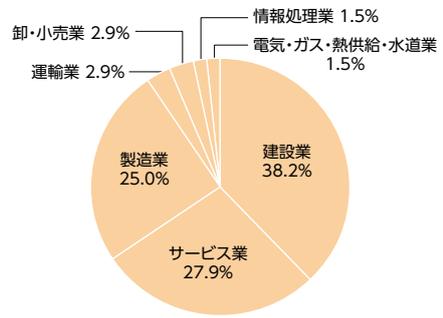
## 知能機械工学科

㈱エフテック/山九㈱/太平電業㈱/㈱明電舎/ユニ・チャーム㈱/文化シャッター㈱/SMC㈱/サクサ㈱/㈱タムラ製作所/山一電機㈱/キヤノン㈱/東プレ㈱/㈱荏原製作所/大王製紙㈱/日産自動車㈱/ミネベアミツミ㈱/新東工業㈱/第一精工㈱/京セラ㈱/㈱きんでん/大和ハウス工業㈱/㈱エッセイ/ファースト住建㈱/㈱ジェイ・エム・エス/㈱九電工/㈱三井ハイテック/九州旅客鉄道㈱/㈱テック/菱和/㈱瑞光/英和㈱/東亜バルブエンジニアリング㈱/㈱高田工業所/日本タンクステン㈱/岡野バルブ製造㈱/ジャパンエレベーターサービスホールディングス㈱ など



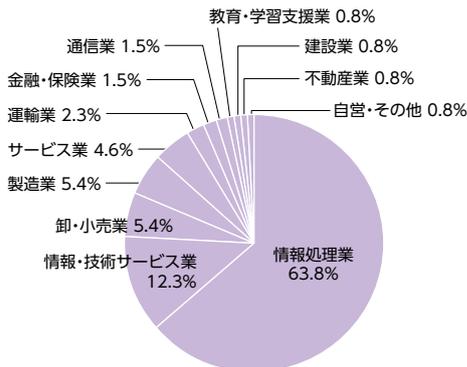
## 電気工学科

山九㈱/㈱大気社/JFEスチール㈱西日本製鉄所/富士電機㈱/㈱ケーシン/THK㈱/東日本旅客鉄道㈱/富士通㈱/日本空調サービス㈱/㈱デンソー/㈱きんでん/住友電設㈱/ダイダン㈱/関西電力㈱/西日本旅客鉄道㈱/㈱九電工/㈱テック/菱和/英和㈱/㈱戸上電機製作所/マルゼン工業㈱/東芝トランスポートエンジニアリング㈱/㈱マキノ/BEMAC㈱/㈱中島田鉄工所/不二精機㈱/㈱フジマックネオ/新生テクノス㈱/㈱大三洋行/㈱太平洋エンジニアリング/㈱HEXELWorks/三菱電機プラントエンジニアリング㈱/三菱マテリアルテクノ/㈱明電エンジニアリング/浅海電気㈱/栗原工業㈱/㈱クリハラント/野里電気工業㈱/千代田計装㈱ など



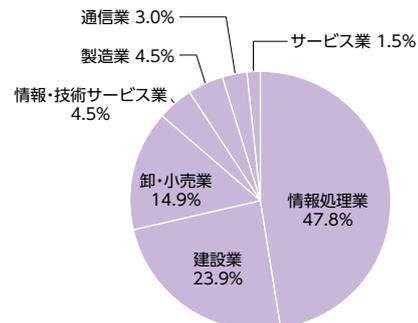
## 情報工学科

山九㈱/東芝テック㈱/THK㈱/NECネットエスアイ㈱/NECフィールディング㈱/㈱NSD/GMOインターネット㈱/㈱システナ/㈱Minorityソリューションズ/WDB工学㈱/富士通㈱/サイバーコム㈱/㈱アルプス技研/㈱ゲオホールディングス/シャープ㈱/㈱ゼンリン/㈱九州丸和ロジスティクス/㈱福岡銀行/㈱クロスキャット/㈱ソルクシズ/アプライド㈱/㈱戸上電機製作所/㈱中央エンジニアリング/㈱テクノプロテクノ/プロ・デザイン社(旧シーテック)/㈱VSN/㈱リクルートR&Dスタッフニング/㈱ワークポート/㈱アイアス/ディーピーティー/トーテックアメニティ/㈱ヒラテ技研/九州小島㈱/学校法人大和学園大和青藍高等学校 など



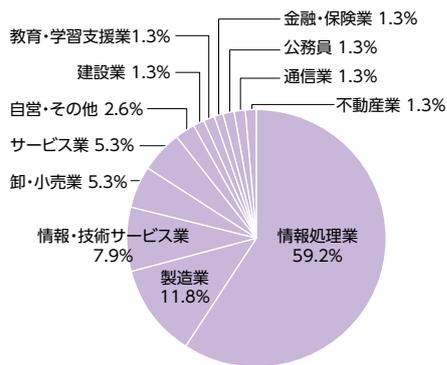
## 情報通信工学科

クラリオン㈱/㈱協和エクシオ/サンコムシステムエンジニアリング㈱/日鉄テックスエンジニア㈱/日本コムシステム㈱/㈱ミライト・テクノロジーズ/NECネットエスアイ㈱/NECフィールディング㈱/GMOインターネット㈱/㈱アルファシステムズ/サイバーコム㈱/三浦工業㈱/㈱九電工/㈱コスモス薬品/㈱SIG/㈱ISTソフトウェア/㈱アクティス/㈱アドバンストラフィックスシステムズ/㈱インテックソリューションパワース/NSWテクノ/サービス/MS&ADシステムズ/CTCテクノロジー/㈱セントラル情報センター/セントラルソフト/日本情報通信/富士インフォックス・ネット/㈱ホープス/ユニテックス/㈱ソフテム/ディーピーティー/ナビオコンピュータ/日本アイ・ビー・エム共同ソリューション・サービス/㈱日立ソリューションズ西日本/FFGコンピューターサービス(旧福岡コンピューターサービス)/九州INSソリューションズ/㈱九州日立システムズ/㈱アスパーク/㈱西日本エグゼック など



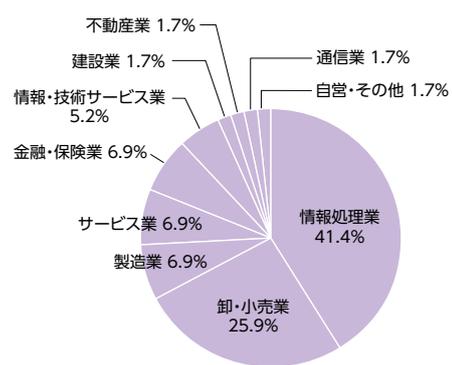
## 情報システム工学科

サクサ㈱/㈱ぐるなび/GMOインターネット/㈱システナ/㈱ジャステック/TDCソフト/㈱アイネット/富士ソフト/㈱アルプス技研/TOWA/タカラスタンダード/㈱ミスターマックス/フクダ電子/㈱Sansan/㈱YEDI GIDL/㈱OKIソフトウェア/㈱ISIDインターテクノ/ロジエ/㈱ISTソフトウェア/㈱アイオス/アクサス/㈱インタラクティブ・コミュニケーション・デザイン/㈱エイエイエス/エヌ・ティ・ティ・システム開発/㈱オネスト/CTCテクノロジエ/㈱システム・サイエンス/㈱スタイル・フリー/セントラルソフト/日本情報通信/マイクロテクノ/ロジエ/デル/㈱第一コンピュータリソース/Sky/自衛隊/逓信信用金庫/自由ヶ丘高等学校 など



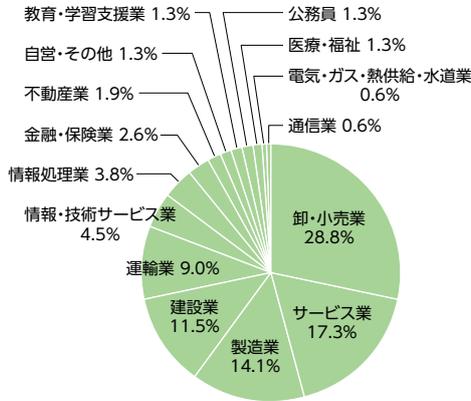
## システムマネジメント学科

NECネットエスアイ/㈱NSD/TDCソフト/テックマトリックス/㈱Minorityソリューションズ/㈱はせがわ/サイバーコム/㈱アルプス技研/日本システム技術/㈱日伝/㈱コスモス薬品/㈱ブレナス/㈱ミスターマックス/㈱鹿児島銀行/ヤマエ久野/㈱福岡中央銀行/㈱アイオス/CTCシステムマネジメント/システムバンク/㈱電響/東京コンピュータサービス/ハイテックシステム/㈱メイテックフィルダース/㈱ワークポート/システムワークスジャパン/㈱アドヴァンスト・インフォーメーション・デザイン/㈱NTTフィールドテクノ/セイワパーク/エムアイエフ/九州INSソリューションズ/㈱九州地区農協オンラインセンター/九電ビジネスソリューションズ/㈱システムプラネット/TIS西日本/西日本オプティメーション/㈱FILOT/㈱リサーチアンドソリューション/ワイジェイカード㈱ など



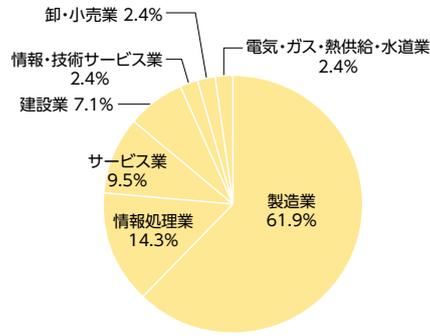
## 社会環境学科

太平電業株式会社/前田道路株式会社/伊藤園株式会社/コーセー株式会社/久光製薬株式会社/キヤノン株式会社/HOYA株式会社/株式会社セラック/株式会社ベルシステム24/東日本旅客鉄道株式会社/株式会社はせがわ/アマノ株式会社/株式会社コナカ(旧株式会社フタタ)/株式会社物語コーポレーション/株式会社ゲオホールディングス/株式会社積水ハウス/株式会社鶴見製作所/センコー株式会社/株式会社タカミヤ/九州電力株式会社/株式会社九州丸和ロジスティクス/リックス株式会社/株式会社コスモス食品/株式会社スターマックス/アイ・ケイ・ケイ株式会社/株式会社ムトウ/株式会社ドームユニテッド/三菱電機住環境システムズ株式会社/渡辺パイプ株式会社/英和株式会社/株式会社渡島/株式会社南出キカイ/ライト電業株式会社/麻生商事株式会社/北九州青果株式会社/九州SSK株式会社/株式会社キューハウ/正見株式会社/福岡大同青果株式会社/株式会社Misumi/株式会社十八銀行/九州労働金庫/福岡ひびき信用金庫/学校法人福岡工業大学/学校法人寛見学園光明幼稚園/福岡県警察/福岡県庁 など



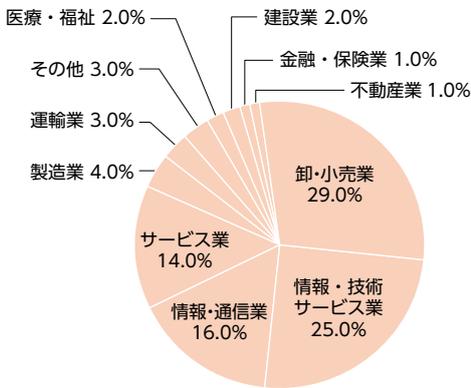
## 大学院

株式会社/日本コムシス株式会社/酒井重工業株式会社/サクサ株式会社/株式会社タムラ製作所/三菱自動車工業株式会社/株式会社ジャステック/総合警備保障株式会社/株式会社ラスト・テック/スズキ株式会社/新東工業株式会社/京セラ株式会社/シャープ株式会社/マツダ株式会社/中国電力株式会社/株式会社クレスト/西川ゴム工業株式会社/株式会社日本デジタル研究所/クアーズ株式会社/宇宙技術開発株式会社/パナソニックITS株式会社/日本電産サンキョー株式会社/デンソー株式会社/トヨタテクノカルディベロップメント株式会社/住友電装株式会社/白光株式会社/株式会社共和/株式会社デンソーテック/ロジ/株式会社キューヘン/株式会社スミリオン/株式会社ライアルカンパニー/株式会社ミゾタ/伊藤ハムウエスト株式会社/エムエイチアイマテック株式会社/ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社/株式会社トヨタ車体研究所/NotionBase/季華実験室/株式会社YEDIGIT/小米科技有限责任公司(Xiaomi) など



## 短期大学部

株式会社丸和運輸機関/山崎製パン株式会社/GMOインターネット株式会社/株式会社平山/株式会社アビスト/株式会社マスターエンジニアリング/京セラ株式会社/株式会社王将フードサービス/株式会社サイ引越センター/株式会社エディオン/株式会社イズミ/マックスバリュ九州株式会社/株式会社プレナス/株式会社ワールドインテック/株式会社アメイズ/エヌテック株式会社/佐川急便株式会社/株式会社ACN/光陽無線株式会社/麻生商事株式会社/岩田産業株式会社/エコー電子工業株式会社/医療法人福和会/株式会社2りんかん/エイエロハット/株式会社オンフォレスト/株式会社ヨシカメラ/株式会社ワールドストアパートナーズ/アイ・ティー・エックス株式会社/株式会社バルコム/トヨタカローラ山口株式会社/九州三菱自動車販売株式会社/株式会社ケーアイプラン/株式会社ジャパンネットワークグループ/株式会社ダイナミックコーポレーション/株式会社ドラッグストアモリ/株式会社ネットヨタ福岡株式会社/株式会社マルキョウ/ダイレックス株式会社/株式会社九十九島グループ/くまなん事業協同組合 など



## 主要進学先 令和2年3月卒業者

(敬称略・順不同)

### ■大学院

- 北九州市立大学大学院 国際環境工学研究科 博士後期課程
- 福岡工業大学大学院 工学研究科 博士後期課程

### ■大学

- 福岡教育大学大学院 教育学研究科 修士課程
- 九州工業大学大学院 生命体工学研究科 修士課程
- 北陸先端科学技術大学院 大学先端科学技術研究科 修士課程
- 福岡工業大学大学院 工学研究科 修士課程

### ■短期大学部

- 福岡工業大学 工学部
- 福岡工業大学 情報工学部
- 福岡工業大学 社会環境学部
- 九州工業大学 情報工学部
- 佐賀大学 理工学部
- 豊橋技術科学大学 工学部
- 香川大学 工学部
- 下関市立大学 経済学部
- 久留米工業大学 工学部
- 九州工業大学 経営学部
- 九州産業大学 芸術学部
- 九州産業大学 商学部

- 九州産業大学 理工学部
- 神戸芸術工科大学 芸術工学部
- 西日本工業大学 デザイン学部
- 大阪電気通信大学 総合情報学部
- 中村学園大学 流通科学部
- 帝京大学 経済学部
- 福岡女学院大学 国際キャリア学部
- 福岡女学院大学 人文学部
- 九州情報大学 経営情報学部
- 横浜美術大学 美術学部

## 研究活動

### ■外部研究資金の取得実績推移

(単位:千円)

		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
共同研究	金額	14,219	6,375	11,083	10,507	10,355	37,472	18,403	26,517	26,933
	件数	14	11	15	14	18	19	21	21	31
受託研究	金額	16,116	6,535	13,113	8,781	14,625	18,106	42,203	35,650	119,094
	件数	8	6	9	6	11	13	13	7	14
奨学寄付金	金額	3,500	5,133	500	7,949	18,635	14,426	17,200	11,222	20,270
	件数	5	5	1	9	20	16	15	10	31
科学研究費補助金	金額	43,030	60,970	53,690	71,310	74,360	92,820	79,820	90,220	73,060
	件数	29	40	39	41	48	53	60	63	61
その他外部助成金	金額	1,566	5,439	23,570	653	540	0	1,620	0	3,850
	件数	2	5	10	4	1	0	2	0	18
合計	金額	78,431	84,452	101,956	99,200	118,515	162,824	159,246	163,609	243,207
	件数	58	67	74	74	98	101	111	101	155

## 教育関係補助金の交付状況

### ■私立大学等経常費補助金の交付実績推移

(単位:千円)

区分	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
一般補助	350,247	531,328	457,753	520,271	551,908	445,929	532,698	533,344	569,140	600,605
特別補助	382,202	99,322	94,815	96,906	137,690	168,196	160,145	241,195	232,182	160,019
合計	732,449	630,650	552,568	617,177	689,598	614,125	692,843	774,539	801,322	760,624

### ■令和年度文部科学省補助金交付実績

(単位:千円)

文科省補助区分	事業名	交付額
大学教育再生加速プログラム	テーマI[アクティブ・ラーニング]	6,667
私立学校施設整備費補助金	新素材の開発と評価システム(物理特性測定装置(PPMS)一式)	33,715
合計		40,382

## 国際交流

(敬称略)

### ■国際交流協定校一覧

国名	大学名	締結年	協定内容						令和元年度交流学生数	平成30年度交流学生数		
			教育研究活動交流	共同研究	学生交流	教育・研究者交流	事務職員交流	留学生募集		本学からの派遣	協定校学生の受入	本学からの派遣
米国	フットヒルカレッジ	1992	◎	-	◎	◎	-	-	-	-	-	-
	カリフォルニア州立大学イーストベイ校	2003	-	-	◎	-	-	-	-	-	-	-
	サンノゼ州立大学	2015	◎	-	◎	◎	-	-	-	-	4	-
	セントメアリーズカレッジカリフォルニア	2018	◎	◎	◎	◎	-	-	-	15	-	14
韓国	慶星大学校	1981	-	-	◎	-	-	-	5	3	4	9
	亜洲大学校	1990	◎	◎	◎	◎	◎	-	-	2	-	-
	啓明大学校工学部	2009	◎	◎	◎	◎	-	-	-	1	-	1
中国	大連理工大学	1988	-	-	-	-	-	◎	10	1	-	6
	南京理工大学	1993	-	-	◎	-	-	◎	7	9	9	6
	青島科技大学	2008	-	-	◎	-	-	◎	-	10	-	7
	北華大学	2007	◎	◎	◎	◎	-	-	-	-	-	-
台湾	高雄科技大学	2017	◎	◎	◎	◎	◎	-	6	-	35	-
タイ	キングモンクット工科大学	2008	◎	◎	◎	◎	◎	◎	21	27	12	64
	チュロンコン大学理学部	2009	◎	◎	◎	◎	◎	-	-	-	-	-
	泰日工科大学	2017	◎	◎	◎	◎	◎	-	-	-	-	-
豪州	フェデレーション大学	2001	◎	◎	◎	◎	-	-	-	-	-	-
アルバニア	ティラナ工科大学	2009	◎	◎	◎	◎	◎	-	-	-	-	-
イタリア	ナポリ・フェデリコ2世大学	2018	◎	◎	◎	◎	◎	-	-	-	-	-
合計	18校	合計							49	68	64	107

# 令和元年度資格取得実績

## ■教員免許取得者数

免許種類	科目	取得者数
高校一種	数学	7
	理科	5
	工業	3
	情報	2
	公民	8

免許種類	科目	取得者数
中学校一種	数学	6
	理科	5
	社会	4

## ■資格取得実績・大学

資格名称	合格者数
第二種電気主任技術者一次試験合格	3
第三種電気主任技術者	3
第三種電気主任技術者(科目合格)	9
電気通信主任技術者(伝送交換)	1
工事担任者(AI・DD総合種)	2
水質関係第一種公害防止管理者	2
公害防止管理者(科目合格)	4
第一種電気工事士	1
第一級陸上無線技術士	12
第一級陸上無線技術士(科目合格)	1
第一級陸上特殊無線技士	25
第三級海上特殊無線技士	24
危険物取扱者(甲)	2
危険物取扱者(乙種4類)	11
パイオ技術者認定試験中級	8
基本情報技術者試験(FE)	26
基本情報技術者試験(FE)午前科目試験免除終了試験	22
応用情報技術者試験(AP)	2
情報処理安全確保支援士試験(SC)	1
情報セキュリティマネジメント試験(SG)	1

資格名称	合格者数
ITパスポート	39
Microsoft Office Specialist Word	96
Microsoft Office Specialist Excel	105
Microsoft Office Specialist PowerPoint	6
CGエンジニア検定ベーシック	1
マルチメディア検定ベーシック	1
Webクリエイター能力認定試験上級	15
CCENT(Cisco Certified Entry Networking Technician)	3
CCNA(Cisco Certified Network Associate)	2
日商簿記検定2級	2
日商簿記検定3級	13
秘書検定2級	6
秘書検定3級	1
リテールマーケティング(販売士)2級	4
3次元CAD利用技術者試験2級	2
環境測定分析士3級	2
eco検定(環境社会検定試験)	3
機械保全技能検定3級	7
日本化粧品検定1級	1
NR(日本臨床栄養協会)・サプリメントアドバイザー	1

## ■資格取得実績・短期大学部

資格名称	合格者数
Microsoft Office Specialist Word	5
Microsoft Office Specialist Excel	1
Microsoft Office Specialist PowerPoint	1
CG エンジニア検定ベーシック	4
マルチメディアベーシック	18
日商簿記検定 3 級	13
建築 CAD 検定 (3 級)	2
秘書検定 2 級	4
秘書検定 3 級	5
医科医療事務検定 3 級	13
簿記能力検定 3 級	17
簿記能力検定基礎 (4 級)	49
日商 PC 検定 (文書作成)3 級	4
日商 PC 検定 (文書作成)Basic	5
日商 PC 検定 (データ活用)3 級	4
その他	1

# 課外活動

## ■令和元年度クラブ・サークル加入者数

クラブ・サークル名	部員数	クラブ・サークル名	部員数	クラブ・サークル名	部員数
硬式野球部(強化部)	123	軟式野球部	68	フォークソング研究部	39
女子柔道部(強化部)	8	アクションサッカー同好会	44	モダンアート部	14
ラグビー部(強化部)	81	硬式テニス同好会	50	ロック部	30
アーチェリー部	3	サバイバルスポーツ同好会	25	茶道部	18
アイスホッケー部	18	男子柔道同好会	9	アカペラ同好会	24
弓道部	33	相撲同好会	6	サブカルチャー同好会	1
剣道部	5	ダンス同好会	38	国際交流同好会(FIT-ICE)	118
硬式テニス部(硬式庭球部)	13	パワーリフティング同好会	24	料理・スイーツ研究同好会	18
サッカー部	22	ハンドボール同好会	27	競技麻雀同好会	18
自動車工学研究部	9	フットサル同好会(ファンアジア)	26	福工大アンブレグド愛好会(アコギ)	31
準硬式野球部	36	シーズンスポーツ愛好会	75	人工知能開発研究愛好会	17
水泳競技部	32	少林寺拳法同好会	29	模型愛好会	28
ソフトテニス部	34	フットサルGALZA	61	テーブルゲーム部	8
ソフトボール部	19	吹奏楽団(強化部)	49	釣愛好会	31
卓球部	17	All Round Music部	65		
テコンドー部	27	音楽研究部	73		
バスケットボール部	32	音響部	65		
バドミントン部	38	環境サークルオアシス部	50		
バレーボール部	33	写真部	70		
陸上競技部	11	情報技術研究部	41		

加入者総計 1,884名

## ■令和元年度モノづくりセンタープロジェクトメンバー数

プロジェクト名	メンバー数
ソーラーカー	10
ロボコン	19
ロボット相撲	11
手作りアクセサリー	11
二足歩行ロボット	23
4輪2輪メンテビット	32
公募(Air Hockey Robotの開発)	3
公募(IoT受信アンテナ)	4
公募(車両整備活動)	7
公募(IoT受信アンテナ)	3
計	123

## 附属施設

### ■図書館蔵書数推移 (H26以降、各年5月1日現在)

図書区分(単位)	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
和書(冊)	229,965	234,178	238,641	241,502	247,603	251,730	254,996
洋書(冊)	65,804	66,060	66,229	66,618	66,773	67,800	67,928
学術雑誌(種類)	1,742	1,749	1,689	1,698	1,706	1,723	1,804
電子書籍(和・洋) (タイトル数)	0	77	97	121	179	278	765
AV資料(点数)	3,341	3,357	3,635	3,733	3,791	3,712	3,775
合計	300,852	305,421	310,291	313,672	320,052	325,243	329,268

### ■図書館利用者数推移

(単位:人)

利用者区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
学内利用者	40,480	39,899	39,632	41,206	70,846	137,662	164,170	167,212	162,640
学外利用者	5,719	2,979	6,118	12,191	29,531	34,007	27,701	28,831	27,811
合計	46,199	42,878	45,750	53,397	100,377	171,669	191,871	196,043	190,451

### ■図書館電子図書化(アクセス数)推移 (H25以降)

(単位:回)

区分	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
ホームページアクセス数	66,604	70,725	180,654	208,533	201,813	194,016	196,615
電子書籍・ジャーナル等アクセス数	80,448	247,689	108,344	165,364	142,258	213,063	207,512
合計	147,052	318,414	288,998	373,897	344,071	407,079	404,127

### ■情報基盤センターPC室利用状況推移

(単位:人・回)

区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
利用者数	33,783	33,202	31,878	33,614	33,044	34,371	35,390	34,475	33,952
ログイン回数(延数)	389,999	391,240	408,066	421,330	414,000	371,624	399,088	330,996	324,720

### ■情報基盤センター高度情報化PC利用状況推移 (H28開設)

(単位:人・時間)

スペース名	区分	H28	H29	H30	R1
クリエイティブ・ラボ	利用者数(延数)	2,747	4,002	3,628	4,728
	利用時間数	3,971	4,390	4,310	5,013
クリエイティブブース	利用者数(延数)	14,999	15,740	12,790	12,513
	利用時間数	21,065	20,735	16,814	15,134
ITコモンズ (3F学修スペース)	利用者数(延数)	11,653	11,456	9,616	12,377
	利用時間数	11,118	11,014	10,916	8,247

### ■エクステンションセンター受講者数推移

(単位:人)

講座名	H29		H30		R1	
	講座数	受講者数	講座数	受講者数	講座数	受講者数
資格取得支援講座	37	761	43	695	38	669
文化教養講座	183	1,505	187	1,546	185	1,409
FIT講座	4	73	6	631	13	888
合計	224	2,339	236	2,872	236	2,966

※資格取得支援講座は、同センター主催講座のみを掲載しています。  
一般対象講座は、学生との共通講座のため講座数に数えていません。受講者数のみ掲載しています。

### ■モノづくりセンター利用者数推移

(単位:人)

利用者区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
学生プロジェクト	11,510	8,559	6,596	5,871	5,892	5,746	6,249	5,620	4,422
研究利用	165	383	375	410	504	485	534	672	624
一般利用	1,788	2,742	3,074	3,191	3,801	4,155	3,167	2,813	2,768
合計	13,463	11,684	10,045	9,472	10,197	10,386	9,950	9,105	7,814

## 校地・校舎

### ■校地・校舎概要 (学園全体の校地面積: 234,269㎡、同校舎面積: 129,172㎡)

建物名	主な設備、用途	延床面積(㎡)	建築年
A棟	クリーンルーム、学生ホール、ラーニングコーナー、売店、講義室27、演習室14、実験室16、研究室79、卒研室34	18,360	平成13年
B棟	情報基盤センター、レストラン、コンビニ、保健室、カウンセリング室、講義室19、演習室11、実験室11、研究室44、卒研室22、インキュベーションスタジオ1	18,842	平成16年
C棟	地下ホール(収容人数300人)、学生ホール、レストラン、売店、書店、講義室8、実験室6、研究室27、卒研室23	10,303	平成3年
D棟	工作センター、講義室13、実験室11、研究室25、卒研室23	8,504	平成16年
E棟	学生サポートセンター、フレッシュマンスクール、アクティブラーニングエリア、研究所、オープンラボ	6,884	平成28年
F棟	インキュベーションスタジオ2、研究スペース4	780	平成29年
α棟	モノづくりセンター、グローバルスチューデントラウンジ、ラーニングスペース、多目的ホール(収容人数200人)	1,750	平成11年
本部棟	FIT Link(図書館)、エクステンションセンター、次世代マイクロ/ナノ金型開発センター、インキュベーションスタジオ3、音とモノづくりの歴史資料館、事務局	12,735	昭和61年
FITアリーナ	シンフォニーホール(収容人数2,400人)、運動施設	5,470	平成12年
FITホール	多目的ホール(収容員数1,000人)、会議室	3,612	平成23年
坦心寮	男子寮(部屋数79、収容人数308人)	6,556	平成15年
コスモス寮	女子寮(部屋数107、収容人数141人)	3,833	平成5年
国際交流会館	留学生寮(部屋数27、収容人数50人)	1,102	平成4年
和白グラウンド	高校部活動用地他	32,297	昭和37年
新宮総合グラウンド	野球場、ラグビー場、アーチェリー場、他運動施設	40,655	昭和62年
塩浜総合グラウンド	野球場、室内練習場、多目的グラウンド	38,188	平成23年
FITアリーナ WESTコート	スポーツコート、相撲場	2,308	平成27年
FITセミナーハウス	課外研修・宿泊施設	1,310	平成24年

## 卒業・修了生累計、同窓会員数

### ■卒業・修了生累計

**55,384**名 (令和2年3月31日現在)

学部 41,827名

大学院 1,526名

修士 1,464名

課程博士 58名

論文博士 4名

短期大学部 12,031名

### ■地域別同窓会会員数 (令和2年2月28日現在)

地域名	会員数	地域名	会員数
北海道・東北	31名	中国	2,997名
関東	850名	四国	1,155名
東海	315名	福岡県	14,794名
関西・北陸	699名	九州・沖縄(福岡県を除く)	7,820名
		合計	28,661名

# 令和2年度学費・徴収金

## ■大学院

(単位:円)

研究科	学年	入学金	授業料	施設・設備費	実験実習費	図書費	学生厚生費	学災保険料※	合計
工学研究科 (修士課程)	1年次	150,000	560,000	170,000	62,000	20,000	-	1,750	963,750
	2年次以降	-	560,000	170,000	62,000	20,000	-	-	812,000
工学研究科 (博士後期課程)	1年次	150,000	560,000	170,000	62,000	20,000	-	2,600	964,600
	2年次以降	-	560,000	170,000	62,000	20,000	-	-	812,000
社会環境学研究科	1年次	150,000	490,000	120,000	-	20,000	-	1,750	781,750
	2年次以降	-	490,000	120,000	-	20,000	-	-	630,000

※秋季入学生の学生教育研究災害傷害保険料：修士課程2,600円、博士後期課程3,300円

部分は前・後期分納 教科書代が別途必要

## ■大学

(単位:円)

学部	学年	入学金	授業料	施設・設備費	実験実習費	図書費	学生厚生費	学生諸費※	合計
工学部・情報工学部	1年次	200,000	895,000	270,000	90,000	10,000	20,000	61,300	1,546,300
	2年次以降	-	895,000	270,000	90,000	10,000	20,000	-	1,285,000
社会環境学部	1年次	200,000	705,000	170,000	-	10,000	20,000	61,300	1,166,300
	2年次以降	-	705,000	170,000	-	10,000	20,000	-	905,000

※学生諸費の内訳：学生自治会費28,000円、教育後援会費20,000円、学生教育研究災害傷害保険料3,300円、アルバム代10,000円

部分は前・後期分納 教科書代が別途必要

## ■短期大学部

(単位:円)

学科	学年	入学金	授業料	施設・設備費	実験実習費	図書費	学生厚生費	学生諸費※	合計
情報メディア学科	1年次	170,000	640,000	160,000	100,000	5,000	15,000	27,750	1,117,750
	2年次以降	-	640,000	160,000	100,000	5,000	15,000	-	920,000

※学生諸費の内訳：学友会費10,000円、教育後援会費6,000円、学生教育研究災害傷害保険料1,750円、アルバム代10,000円

部分は前・後期分納 教科書代が別途必要

## ■高校

(単位:円)

課程	学年	入学申込金	施設・設備費	授業料	施設維持費	実習費	諸会費・積立金※	合計
普通科	1年次	40,000	190,000	396,000	69,600	-	120,000	815,600
	2年次以降	-	-	396,000	69,600	-	120,000	585,600
電気科・電子情報科	1年次	40,000	190,000	396,000	69,600	12,000	120,000	827,600
	2年次以降	-	-	396,000	69,600	12,000	120,000	597,600

※諸会費・積立金の内訳：生徒会費18,000円、同窓会費1,200円、PTA会費16,800円、積立金84,000円

積立金は、1年次4月～2年次11月は修学旅行積立金として、2年次12月～2年次3月は卒業積立金として徴収。3年次は徴収しない。

その他の費用 PTA入会費：10,000円(入学年度のみ)、学年予納金：普通科41,815円、電気科・電子情報科43,315円(各年度)

部分は12か月分納 教科書代が別途必要

# 財務状況

## ■資金収支計算書 (平成31年4月1日から 令和2年3月31日まで)

収入の部 (単位:千円)

科目	決算額
学生生徒等納付金収入	6,446,291
手数料収入	170,197
寄付金収入	60,561
補助金収入	1,440,987
資産売却収入	30,000
付随事業・収益事業収入	319,954
受取利息・配当金収入	138,431
雑収入	380,804
借入金等収入	0
前受金収入	2,429,434
その他の収入	401,451
資金収入調整勘定	△ 2,598,621
前年度繰越支払資金	3,434,982
<b>収入の部合計</b>	<b>12,654,470</b>

支出の部

科目	決算額
人件費支出	5,048,313
教育研究経費支出	1,836,678
管理経費支出	621,816
借入金等利息支出	3,036
借入金等返済支出	200,000
施設関係支出	1,239,700
設備関係支出	563,170
資産運用支出	1,000,000
その他の支出	306,278
資金支出調整勘定	△ 285,462
次年度繰越支払資金	2,120,940
<b>支出の部合計</b>	<b>12,654,470</b>

## ■貸借対照表 (令和2年3月31日現在)

資産の部 (単位:千円)

科目	令和2年度末残高
<b>固定資産</b>	<b>34,021,521</b>
有形固定資産	24,399,981
土地	3,552,751
建物	14,016,618
構築物	1,303,669
教育研究用機器備品	3,026,016
その他の機器備品	162,400
図書	1,184,187
車両	44,054
建設仮勘定	1,110,285
特定資産	6,100,000
第3号基本金引当特定資産	1,500,000
退職給与引当特定資産	1,500,000
施設拡充引当特定資産	2,600,000
教育設備引当特定資産	500,000
その他の固定資産	3,521,541
有価証券	3,449,013
預託金、施設利用権など	72,527
<b>流動資産</b>	<b>2,509,122</b>
現金預金	2,120,940
未収入金	322,689
修学旅行預け金、前払金など	65,493
<b>資産の部合計</b>	<b>36,530,643</b>

## ■事業活動収支計算書 (平成31年4月1日から 令和2年3月31日まで) (単位:千円)

科目	決算額
<b>教育活動収支</b>	
収入	
学生生徒等納付金	6,446,291
手数料	170,197
寄付金	48,611
経常費等補助金	1,404,716
付随事業収入	319,954
雑収入	309,216
<b>教育活動収入計</b>	<b>8,698,984</b>
支出	
人件費	4,949,780
教育研究経費	2,939,072
管理経費	699,954
徴収不能額引当金繰入等	0
<b>教育活動支出計</b>	<b>8,588,806</b>
<b>教育活動収支差額</b>	<b>110,178</b>
<b>教育活動外収支</b>	
収入	
受取利息・配当金	133,482
その他の教育活動外収入	0
<b>教育活動外収入計</b>	<b>133,482</b>
支出	
借入金等利息	3,036
その他の教育活動外支出	0
<b>教育活動外支出計</b>	<b>3,036</b>
<b>教育活動収支差額</b>	<b>130,446</b>
<b>経常収支差額</b>	<b>240,624</b>
<b>特別収支</b>	
収入	
資産売却差額	0
その他の特別収入	76,755
<b>特別収入計</b>	<b>76,755</b>
支出	
資産処分差額	12,090
その他の特別支出	0
<b>特別支出計</b>	<b>12,090</b>
<b>特別収支差額</b>	<b>64,664</b>
<b>基本金組入前当年度収支差額</b>	<b>305,288</b>
<b>基本金組入額合計</b>	<b>△ 1,390,426</b>
<b>当年度収支差額</b>	<b>△ 1,085,138</b>
<b>前年度繰越収支差額</b>	<b>△ 9,434,339</b>
<b>基本金取崩額</b>	<b>134</b>
<b>翌年度繰越収支差額</b>	<b>△ 10,519,343</b>
(参考)	
事業活動収入計	8,909,221
事業活動支出計	8,603,932

負債の部 (単位:千円)

科目	令和2年度末残高
<b>固定負債</b>	<b>2,190,550</b>
長期借入金	600,000
長期未払金	20,874
退職給与引当金	1,569,676
<b>流動負債</b>	<b>3,188,218</b>
短期借入金	200,000
未払金	249,471
前受金	2,429,434
預り金	258,566
仮受金	50,748
<b>負債の部合計</b>	<b>5,378,768</b>

純資産の部 (単位:千円)

科目	令和2年度末残高
<b>基本金</b>	<b>41,671,217</b>
第1号基本金	39,567,217
第3号基本金	1,500,000
第4号基本金	604,000
<b>繰越収支差額</b>	<b>△ 10,519,343</b>
翌年度繰越収支差額	△ 10,519,343
<b>純資産の部合計</b>	<b>31,151,875</b>
<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>36,530,643</b>
減価償却額の累計額の合計額	15,200,036



## 皆さまのご意見・ご感想をお聞かせください

福岡工業大学『令和元年度教育・研究活動報告書』をお読みいただきありがとうございました。  
本学では、ご支援いただいております皆様に広く情報公表を行い、コミュニケーションを重ね、学園の諸活動をいっそう磨き高めたいと考えております。

『教育・研究活動報告書』を通じ、取組実績やそれらの外部評価について皆様にご理解いただけるようこれまでも努めて参りましたが、まだ課題も多く残されていると考えております。

お手数ではございますが、下記のQRコードからアンケート(回答時間5~10分)にお進みいただき、ご回答くだされば幸甚に存じます。



ご回答をいただいた方の中から、抽選で100名様に図書カード(500円分)をプレゼントいたします。

※お預かりした個人情報およびアンケート内容は、ご本人の承諾なしに第三者に開示・提供することはありません。当プロジェクトにて厳重に管理いたします。



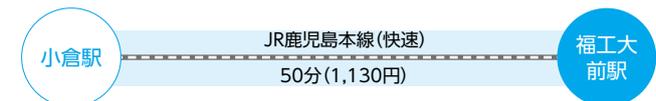
### 地下鉄+JR鹿児島本線



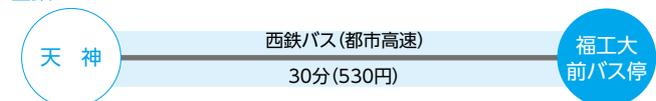
### JR鹿児島本線



### JR鹿児島本線



### 西鉄バス



※乗用車の場合…国道3号線から国道495号線へ進み和白方面へ

## 福岡工業大学

令和元年度

# 教育・研究活動報告書

取組成果のご報告

編集/福岡工業大学 IRプロジェクト

編集協力・印刷/久野印刷(株)....

〒812-0023 福岡市博多区奈良屋町3番1号 TEL: 092-262-5726 FAX: 092-262-5720

発行/令和2年8月

福岡工業大学

〒811-0295 福岡市東区和白東3丁目30番1号 TEL: 092-606-0619 FAX: 092-606-8923



*For all the students*

**FIT** Fukuoka Institute of Technology  
**福岡工業大学**

## 工学部

電子情報工学科  
生命環境化学科  
知能機械工学科  
電気工学科

## 情報工学部

情報工学科  
情報通信工学科  
情報システム工学科  
システムマネジメント学科

## 社会環境学部

社会環境学科(文系)

## 大学院

工学研究科  
社会環境学研究科

## 福岡工業大学短期大学部

情報メディア学科

## 福岡工業大学附属城東高等学校

普通科  
電気科  
電子情報科